

アドミッション・ポリシー
チェックリスト

資料18

アドミッション・ポリシー・ポートフォリオ

資料18

入試制度		前期日程				AO I				AO II			
		センター	教科	面接 グループ ディス カッション	実技試験	総合問題	総合問題	グループ ディス カッション	面接	書類審査	センター	面接	書類審査
アドミッション・ポリシー (AP)	知識	◎	◎	△	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎	△	◎
	思考・判断												
	関心・意欲・態度												
	技能・表現												
	知識												
思考・判断	◎	◎	△	◎	◎	△	◎	◎	◎	◎	△	◎	
関心・意欲・協働	◎	◎	◎	△	◎	◎	△	◎	◎	◎	△	◎	◎
技能・表現	◎	◎	◎	△	◎	◎	△	◎	◎	◎	△	◎	◎
知識	◎	◎	◎	△	◎	◎	△	◎	◎	◎	△	◎	◎
思考・判断	◎	◎	◎	△	◎	◎	△	◎	◎	◎	△	◎	◎
関心・意欲・協働	◎	◎	◎	△	◎	◎	△	◎	◎	◎	△	◎	◎
技能・表現	◎	◎	◎	△	◎	◎	△	◎	◎	◎	△	◎	◎
知識	◎	◎	◎	△	◎	◎	△	◎	◎	◎	△	◎	◎
思考・判断	◎	◎	◎	△	◎	◎	△	◎	◎	◎	△	◎	◎
関心・意欲・協働	◎	◎	◎	△	◎	◎	△	◎	◎	◎	△	◎	◎
技能・表現	◎	◎	◎	△	◎	◎	△	◎	◎	◎	△	◎	◎
知識	◎	◎	◎	△	◎	◎	△	◎	◎	◎	△	◎	◎
思考・判断	◎	◎	◎	△	◎	◎	△	◎	◎	◎	△	◎	◎
関心・意欲・協働	◎	◎	◎	△	◎	◎	△	◎	◎	◎	△	◎	◎
技能・表現	◎	◎	◎	△	◎	◎	△	◎	◎	◎	△	◎	◎

◎:非常に対応している △:やや対応している ○:対応している 空欄:対応していない 斜線:実施しない

**学部共通のフィールドワーク
概要**

資料19

学部共通のフィールドワーク概要

学生が協働し確かな実践力を身に付ける体系的プログラム

教えあい、学びあう チームラーニングの実施

- ✓ 専門分野が異なる学生との交流
- ✓ 年次が異なる学生との交流

資料19

インターンシップ入門(2単位)
ステークホルダーと協働する教育プログラムにより就業力を身に付ける

Q1-Q2

Q3-Q4

4年次

3年次

2年次

1年次

学位認定科目群

地域の課題解決の過程及び成果を公表する

専門深化型～実践

プロジェクト実践演習(2単位)

- 専門性に応じ学科・履修コースごとに実施
- ①課題を踏まえ、調査方法を再設計
 - ②複合的視点からプロジェクトを企画・実践
 - ③課題の本質やメカニズムを考察

プロジェクト応用演習(2単位)

- 専門性に応じ学科・履修コースごとに実施
- ①ステークホルダーと協働し、課題解決のために必要なエビデンスを収集
 - ②実践から生じた課題を踏まえ、課題解決型プロジェクトを実施
 - ③課題解決案を検討

専門深化型～課題解決型実践

- ④2年次や同級生等に対し、アドバイスをを行う
- ⑤課題解決へ向け調整・協働・マネジメントを行う
- ⑥成果プレゼンテーション会を3回(専門領域別、2・3年次合同、全学年)開催

フィールド実習(2単位)

- ステークホルダーとの協働により、プロジェクトの企画提案能力を身に付ける
- ①4フィールド(四国中央市、西条市、松山市、西予市)から1フィールドを選択(1グループ6人、異学科混合グループ)
 - ②現地視察、文献調査
 - ③課題、強みの抽出
 - ④プロジェクト基本コンセプト検討

学部共通パッケージ科目

- ⑤基本コンセプト発表会
- ⑥フィールドワーク(ステークホルダーとの話し合い、プロジェクト企画)
- ⑦プレゼンテーション会(フィールドごとに実施、ステークホルダー参加、他プロジェクトに対する意見書作成)の開催

プレゼンテーション発表を活用した2・3年次の学びあい

プロジェクト基礎演習(2単位)

- 専門性に応じ学科・履修コースごとに実施
- ①地域の課題を認識し、プロジェクトを企画
 - ②ステークホルダーと連携しながら調査研究を進める
 - ③エビデンスを収集し、課題の本質を分析

専門深化型～調査・研究

- ④調査・分析結果を共有し、相互評価を行う
- ⑤成果プレゼンテーション会を3回(専門領域別、2・3年次合同、全学年)開催

フィールドワーク開始

一実践力育成のための事前学習

- 共通教育科目群:新入生セミナーA(スタディスキルを学ぶ)、新入生セミナーB(ステークホルダーとの関わり方を学ぶ)
- 基礎力育成科目群:社会共創学概論(地域の課題解決のあり方社会共創知を学ぶ)、地域調査方法入門(各種調査方法を学ぶ)、経営入門(経営・ビジネスモデルを学ぶ)、サマントリナーシップ入門(リーダーシップの理論と実践を学ぶ)

フィールド基礎実習(1単位)

- フィールド実習のプレ・ステージ。身近な「地域」をフィールドに、主体性を身に付ける
- ①県内フィールドリストからフィールドを訪問(1グループ6人、異学科混合グループ)
 - ②行程・行動計画書作成
 - ③課題解決案を企画(進捗状況は、教員との面談、学修ポートフォリオにより確認)
 - ④中間報告会の開催(教員ごと)に実施

フィールドワーク入門(2単位)

- プロジェクトを進めるための方法・スキルを学ぶ
- ①地域への興味、関心、態度、基本スキルの習得
 - ②フィールドワーク手法の学習

学部共通パッケージ科目

- ⑤行程・行動計画書作成
- ⑥課題解決案を企画(進捗状況は、教員との面談、学修ポートフォリオにより確認)
- ⑦プレゼンテーション会の開催(教員ごと)に実施

専門力育成 科目群

文理双方の専門的理論を展開し、専門知識、学際的思考力を積み上げる

実践力育成の
シナジー効果

知的刺激の
シナジー効果

プログラムの質を保証する3本の矢

「フィールドワーク・インターンシップ支援室」の設置

専任の実務家教員が中心となり、プログラムの企画・調整・実施を支援

「フィールドワーク指導ハンドブック(仮称)」の作成とFDの実施

マニュアルの作成とFDの実施により協働体制による質を保証

ラーニングの活用

学修ポートフォリオ等ラーニングの活用により学びの質を高め、学習過程を評価に活かす

**社会共創学部フィールドワーク・
インターンシップ支援室要項（案）**

資料20

社会共創学部フィールドワーク・ インターンシップ支援室要項

社会共創学部フィールドワーク・インターンシップ支援室要項(案)

平成27年4月 日

社会共創学部設置準備室長制定

(趣旨)

第1条 社会共創学部設置準備室に、フィールドワーク・インターンシップを円滑かつ効果的に推進するため、社会共創学部フィールドワーク・インターンシップ支援室(以下「支援室」という。)を置く。

(実習部門)

第2条 支援室は、その目的を達成するため、次の各号に掲げる実習部門を置く。

(1)フィールドワーク部門

(2)インターンシップ部門

(業務)

第3条 支援室は、社会共創学部設置準備室長(以下「準備室長」という。)の指示に基づき、次の各号に掲げる業務を行う。

(1)フィールドワーク及びインターンシップに係る企画、授業実施体制の構築(危機管理対応を含む。)及びステークホルダーとの連絡・調整に関すること。

(2)フィールドワーク、インターンシップにおける学修ポートフォリオ作成に関すること。

(3)フィールドワーク、インターンシップにおける各授業科目実施に係る教員及びステークホルダー向けマニュアルの策定に関すること。

(4)フィールドワーク、インターンシップの質保証のための教職員及びステークホルダーの能力開発に関すること。

(5)実践力育成科目群の教育課題に係る調査、研究等に関すること。

(6)その他実践力育成科目群に関すること

(組織)

第4条 支援室に次の各号に掲げる職員を置く。

(1)室長

(2)副室長(特定教員を含む。以下同じ。)

(3)室員

ア 兼任教員 若干人

イ 事務職員 若干人

2 室長及び副室長は、準備室長が指名する者をもって充てる。

3 室員のア及びイは、準備室に所属する教職員のうちから準備室長が指名し、任命する。

(雑則)

第5条 この要項に定めるもののほか、支援室の運営に関し必要な事項は、室長が別に定める。

附 則

1 この要項は、平成27年4月 日から施行する。

フィールドワーク学修ポート
フォリオ

資料21

ワールドワーク学修ポートフォリオ

資料21

ワールドワークの授業の最後にそれぞれの学生がワーク・ログを作成し、作業内容をグループの学生同士、担当教員と共有する。学生が作成したワーク・ログに対して、担当教員がコメント・シートを返し、問題があれば、次回までに修正するようにする。また、単位修得後は、学生がラーニング・ログを作成し、ワーク・ログ、コメント・シート、ラーニング・シート、ワーク・ログ、コメント・シート、ラーニング・ログは、オープンソースのeラーニングプラットフォームmoodleを用いて作成する。

①アクティビティ・ログ

【作成者】学生

【作成時期】毎回の授業の最後

【内容】

- (1) あなたのグループで行った今日の学習内容を記述して下さい。また、必要に応じて作業内容の写真などをアップロードして下さい。(学生グループ、教員で共有)
- (2) あなたが行った今日の内容を記述して下さい。また、必要に応じて写真などをアップロードして下さい。(学生グループ、教員で共有)
- (3) あなたのグループが次回行う学習内容を記述して下さい。(学生グループ、教員で共有)
- (4) 次回までにあなたがしておかなければならない作業があれば記述して下さい。(学生グループ、教員で共有)
- (5) 今日のあなたが行ったことを振り返り、よかった点や改善点を記述して下さい。(教員のみ)
- (6) 教員に伝えたいことがあれば記述して下さい。(教員のみ)

②コメント・シート

【作成者】担当教員

【作成時期】学生がラーニング・ログ作成後

【内容】(学生が作成したワーク・ログにそれぞれ対応)

- (1) 1 適切です 2 やや問題あり 3 修正が必要です 2,3の場合はコメントを記入
- (2) 1 適切です 2 やや問題あり 3 修正が必要です 2,3の場合はコメントを記入
- (3) 1 適切です 2 やや問題あり 3 修正が必要です 2,3の場合はコメントを記入
- (4) 1 適切です 2 やや問題あり 3 修正が必要です 2,3の場合はコメントを記入
- (5) コメントを記入
- (6) コメントを記入

③ラーニング・ログ

【作成者】学生

【作成時期】単位修得後

【内容】

- (1) 学習内容を記述して下さい。
シラバスも参考にしながら全体の概要を簡潔に表現して下さい。500～800文字とします。
- (2) 学習成果を自己評価して下さい。
5つの内容について、どの程度修得できたかを3段階で評価して下さい。ただし、5つの内容がそれぞれ授業に含まれているわけではないと判断されるものについて「授業内容と対応しない」を選択して下さい。
 - ① フィールドに出るための準備や行程プランの作成(計画性)について
1 十分修得できた 2 修得できた 3 あまり修得できなかった 授業内容と対応しない
 - ② フィールドの地域との関わり(設立の経緯や役割)に関する知識について
1 十分修得できた 2 修得できた 3 あまり修得できなかった 授業内容と対応しない
 - ③ フィールドでのコミュニケーションのほかりかた(他者と接する力、対人関係力)
1 十分修得できた 2 修得できた 3 あまり修得できなかった 授業内容と対応しない
 - ④ チームで活動する(チーム・ラーニング)方法と工夫について
1 十分修得できた 2 修得できた 3 あまり修得できなかった 授業内容と対応しない
- (3) 「知識・技能」に関する学習成果を具体的に記述して下さい。
授業を通して修得した知識や技能についてシラバスの「授業の目的」「授業の到達目標」を参考にしながら、できるだけ具体的にフィールドでの活動を挙げながら記述して下さい。

(4) 「思考判断」に関する学習成果を具体的に記述して下さい。

(5) 「その他」に関する学習成果を具体的に記述して下さい。

授業に関連し、授業時間外学習として学習したこと、特に知識や考えが深まったことがあれば記述して下さい。

(6) 自己評価・学習課題について記述して下さい。

シラバスの「授業の目的」と「授業の到達目標」にもとづいて(特に到達目標の各項目について)、理解度を自己評価しましょう。そして自己評価に基づき、そしてまた学習成果を社会でどのように活用するかという視点に基づいて、自己の学習課題を記述しましょう。

社会共創学部授業時間割

資料22

社会共創学部時間割

…学部共通科目枠

…共通教育科目・教職科目枠

※…テレビ会議システム使用

曜日/時限/年次		第1クォーター									
		産業マネジメント学科		産業イノベーション学科			環境デザイン学科		地域資源マネジメント学科		
		産業マネジメントコース	事業創造コース	海洋生産科学コース	紙産業コース	ものづくりコース	環境サステナビリティコース	地域デザイン・防災コース	農山漁村マネジメントコース	文化資源マネジメントコース	スポーツ健康マネジメントコース
1	1年次						地域デザイン論		農山漁村生活技術		
							松村		香月 他		
							EL23		法演8		
	2年次	課題解決思考力育成科目		質的データの収集と分析 若林・羽鳥・渡邊・淡野			地域経済学 野澤				
							EL15		法101		
	3年次			養殖環境保全学			環境経済学				生徒指導論
				太田・後藤			入江				
				講義室(西浦)			EL13				
	4年次										
2	1年次	初年次プロジェクト演習							農山漁村生活技術		
		崔・岡本直・山口信・園田・野澤							香月 他		
		法101							法演8		
	2年次	学問分野別									
		民法総論(松本)	民法総論(松本)				地質学概論(堀)EL44				
		法305	法305				生物学序論(村上)EL45				
	3年次	日本経営史	日本経営史	水産生物環境学	製紙技術論	電気機器	応用地球科学				衛生学・公衆衛生学
		山口由	山口由	松原	内村	神野	榎原				小原
		法404	法404	EL13	講義室(四国中央)	EL23	EL21				法203
	4年次				森林資源化学						
				枝重							
				EL24※							
3	1年次					微積分	微積分				
						高橋	高橋				
						EL26	EL26				
	2年次	中小企業論	中小企業論	水産社会学	環境修復学	熱力学	環境修復学		文化資源マネジメント論	生涯スポーツ概論	
		藤川	藤川	若林	榎原	中原	榎原		寺谷 他	藤原・牛山・山中	
		法101	法101	EL15	EL31	EL44	EL31		法303	法304	
	3年次	競争法政策(泉)法305	競争法政策(泉)法305	水産生物学		電気回路			農業構造論	スポーツ健康指導法(陸上競技)	
		会計学原理Ⅱ(西村)法404	会計学原理Ⅱ(西村)法404	松原・太田・後藤		門脇			香月	日野	
				講義室(西浦)		EL45			法302	法402	
	4年次			農業構造論							
			香月								
			講義室(西浦)※								
4	1年次	愛媛学									
		法大									
	2年次					基礎電磁気学					
						山本智					
						EL22					
	3年次									アダブテッド・スポーツ演習	
										牛山	
										法202	
	4年次			産業イノベーションセミナーⅡ			環境デザインゼミナールⅠ				
				松原 他			榎原・大森・佐藤・入江・片岡・松村・二神・羽鳥・ネトラ・渡邊				
			各研究室			各研究室					
5	1年次	経済学概論				地球環境学序論		地域資源融合論			
		川口・曾我				加		村上・牛山・小田			
		法305				EL43		法101			
	2年次	人事労務管理論	人事労務管理論	人事労務管理論	人事労務管理論	人事労務管理論					
		園田	園田	園田	園田	園田					
		法404	法404	法404	法404	法404					
	3年次								地域づくり論Ⅱ		
									大谷		
									法203		
	4年次			産業イノベーションセミナーⅡ			環境デザインゼミナールⅠ			スポーツプロモーション演習Ⅱ	
			松原 他			榎原・大森・佐藤・入江・片岡・松村・二神・羽鳥・ネトラ・渡邊			山中		
			各研究室			各研究室			法演2		

曜日/時限/年次	第1クォーター											
	産業マネジメント学科		産業イノベーション学科			環境デザイン学科		地域資源マネジメント学科				
	産業マネジメントコース	事業創造コース	海洋生産科学コース	紙産業コース	ものづくりコース	環境サステナビリティコース	地域デザイン・防災コース	農山漁村マネジメントコース	文化資源マネジメントコース	スポーツ健康マネジメントコース		
火	1	1年次										
		2年次	主題探究型科目型									
		3年次	農業起業論 山藤 法404	農業起業論 山藤 法404	水産経済論 若林・竹ノ内 講義室(西浦)				自然災害学 ネトラ EL21	農業起業論 山藤 法404		
		4年次			農業起業論 山藤 講義室(西浦)※							
	2	1年次									教職基礎論	
		2年次	マーケティング・リサーチ 広垣 法101	マーケティング・リサーチ 広垣 法101	マーケティング・リサーチ 広垣 法101	マーケティング・リサーチ(広垣)法101 住民参加と合意形成(松村・二神)EL15 環境ガバナンス論(李)EL21	工業力学 八木 EL41	環境ガバナンス論 EL21		都市景観論 寺谷 法304	スポーツ健康指導法(体づくり運動1) 浅井 法303	
		3年次	住民参加と合意形成 松村・二神 EL15	住民参加と合意形成 松村・二神 EL15	養殖学 松原 講義室(西浦)	製紙材料論 I 深堀 講義室(四国中央)	制御工学 山本智 EL42	地理情報システム学 渡邊 EL22	住民参加と合意形成 松村・二神 EL15		特別活動論、 教育方法論	
		4年次					マーケティング・リサーチ 広垣 法101					
	3	1年次	英語I									
		2年次	企業法政策(ファイナンス) 岡田 法305	企業法政策(ファイナンス) 岡田 法305				環境デザイン論 榑原・松村・入江・片岡 EL26		文化資源論 I 寺谷 他 法302	レクリエーション演習 藤原 他 法304	
		3年次	社会共創演習 I 西村・徐・山口由・川口・岡本直・岡本隆・曾我・崔・谷本・折戸・藤川・山口信・広垣・園 各研究室			工場見学 I 内村 他 講義室(四国中央)	ものづくり実験 山本智 他 各実験室				保健体育科教育法 III	
		4年次				工場見学 II 内村 他 講義室(四国中央)						
	4	1年次	スポーツ									
		2年次	地域産業論 岡本隆・山崎 法404	基礎生物化学 岩田 EL33			生物学概論(森)EL26 基礎生物化学(岩田)EL33	公共ガバナンス論 羽鳥 EL16	農山漁村論 小田・笠松・若林 法101			
		3年次				工場見学 I 内村 他 講義室(四国中央)	ものづくり実験 山本智 他 各実験室			文化遺産論 II 村上 法302	スポーツ健康測定評価学 山本 法102	
		4年次				工場見学 II 内村 他 講義室(四国中央)					スポーツ教育学演習 II 牛山 法演2	
5	1年次											
	2年次	数理的思考 川口 法101	数理的思考 川口 法101	数理的思考 川口 法101								
	3年次	意思決定会計 岡本直 法305	意思決定会計 岡本直 法305			技術マネジメント 土居 EL45						
	4年次											

曜日/時限/年次		第1クォーター										
		産業マネジメント学科		産業イノベーション学科			環境デザイン学科		地域資源マネジメント学科			
		産業マネジメントコース	事業創造コース	海洋生産科学コース	紙産業コース	ものづくりコース	環境サステナビリティコース	地域デザイン・防災コース	農山漁村マネジメントコース	文化資源マネジメントコース	スポーツ健康マネジメントコース	
水	1	1年次	ここと健康									
		2年次	地域マネジメント論 大谷・香月・藤原・山中・山藤									
		3年次	水産生物環境学 松原 EL13									
		4年次										
	2	1年次	新入生セミナーA 法大									
		2年次	地域マネジメント論 大谷・香月・藤原・山中・山藤									
		3年次	法404									
		4年次	木材化学 伊藤 EL24※									
	3	1年次										
		2年次	CAD製図 八木 EL14									
		3年次	農山漁村 情報処理入門 小田 法演1									
		4年次										
	4	1年次	生物学 大森 EL13									
		2年次	CAD製図 八木 EL14									
		3年次	農山漁村 情報処理入門 小田 法演1									
		4年次										
5	1年次	スポーツ(リハビリ)										
	2年次											
	3年次											
	4年次											

曜日/時限/年次	第1クォーター										
	産業マネジメント学科		産業イノベーション学科			環境デザイン学科		地域資源マネジメント学科			
	産業マネジメントコース	事業創造コース	海洋生産科学コース	紙産業コース	ものづくりコース	環境サステナビリティコース	地域デザイン・防災コース	農山漁村マネジメントコース	文化資源マネジメントコース	スポーツ健康マネジメントコース	
1	1年次				微積分 高橋 EL26	微積分 高橋 EL26					
	2年次	学問分野別									
	3年次		養殖環境保全学 太田・後藤 講義室(西浦)	科学英語 I 藪谷 講義室(四国中央)		環境経済学 入江 EL13					
	4年次										
2	1年次	新入生セミナーB 西村・松原・後藤・大森・二神・浅井・山中 法大									
	2年次	民法総論 松本 法305	民法総論 松本 法305				地質学概論(帰)EL44 生物学序論(村上)EL45			教育本質論	
	3年次	日本経営史 山口由 法404	日本経営史 山口由 法404		デジタル電子回路 都築 EL26	応用地球科学 榎原 EL21			アダプテッド・スポーツ演習 牛山 法202		
	4年次			科学英語Ⅲ 藪谷 講義室(四国中央)	船舶工学入門 柳原・土岐 EL43						
3	1年次	情報リテラシー入門 I									
	2年次	中小企業論 藤川 法101	中小企業論 藤川 法101	水産社会学 若林 EL15	環境修復学 榎原 EL31	基礎電磁気学 山本智 EL22	環境修復学 榎原 EL31		文化資源マネジメント論 寺谷 他 法303	生涯スポーツ概論 藤原・牛山・山中 法304	
	3年次	競争法政策(泉)法305 会計学原理Ⅱ(西村)法404	競争法政策(泉)法305 会計学原理Ⅱ(西村)法404	水産生物学 松原・太田・後藤 講義室(西浦)					農業構造論 香月 法302		
	4年次			農業構造論 香月 講義室(西浦)※							
4	1年次					地域デザイン論 松村 EL23					
	2年次	課題解決思考力育成科目 実的データの収集と分析 若林・羽鳥・渡邊・淡野 EL15 地域経済学 野澤 法101									
	3年次										
	4年次					環境デザインゼミナール I 榎原・大森・佐藤・入江・片岡・松村・二神・羽鳥・ネトラ・渡邊 各研究室					
5	1年次	経済学概論 川口・曾我 法305				地球環境学序論 加 EL43		地域資源融合論 村上・牛山・小田 法101			
	2年次	人事労務管理論 園田 法404	人事労務管理論 園田 法404	人事労務管理論 園田 法404	人事労務管理論 園田 法404	人事労務管理論 園田 法404					
	3年次							地域づくり論Ⅱ 大谷 法203			
	4年次					環境デザインゼミナール I 榎原・大森・佐藤・入江・片岡・松村・二神・羽鳥・ネトラ・渡邊 各研究室					

曜日/時限/年次	第1クォーター											
	産業マネジメント学科		産業イノベーション学科			環境デザイン学科		地域資源マネジメント学科				
	産業マネジメントコース	事業創造コース	海洋生産科学コース	紙産業コース	ものづくりコース	環境サステナビリティコース	環境デザイン・防災コース	農山漁村マネジメントコース	文化資源マネジメントコース	スポーツ健康マネジメントコース		
1	サーバントリーダーシップ入門											
	若林・笠松・小林修・島上											
	法大											
	1年次											
	2年次	農山漁村論										
		小田・笠松・若林										
		法101										
	3年次	農業起業論	農業起業論	水産経済論				自然災害学	農業起業論		地域スポーツ演習Ⅰ	
		山藤	山藤	若林・竹ノ内				ネトラ	山藤		山中	
		法404	法404	講義室(西浦)				EL21	法404		法304	
	4年次			農業起業論							地域スポーツ演習Ⅱ	
				山藤							牛山	
			講義室(西浦)※							法403		
2	サーバントリーダーシップ入門											
	若林・笠松・小林修・島上											
	法大											
	1年次											
	2年次	マーケティング・リサーチ	マーケティング・リサーチ	マーケティング・リサーチ	マーケティング・リサーチ(広垣)法101	工業力学	環境ガバナンス論			都市景観論		
		広垣	広垣	広垣	住民参加と合意形成(松村・二神)EL15	八木				寺谷	保健体育科教育法Ⅰ	
		法101	法101	法101	環境ガバナンス論(季)EL21	EL41	EL21		法304			
	3年次	住民参加と合意形成	住民参加と合意形成	養殖学	製紙材料論Ⅰ	制御工学	地理情報システム学	住民参加と合意形成				
		松村・二神	松村・二神	松原	深堀	山本智	渡邊	松村・二神				
		EL15	EL15	講義室(西浦)	講義室(四国中央)	EL42	EL22	EL15				
	4年次					マーケティング・リサーチ					健康運動疫学演習Ⅱ	
						広垣					山本	
					法101					法演4		
3	学問分野別											
	1年次											
	2年次	企業法政策(ファイナンス)	企業法政策(ファイナンス)			産業イノベーションセミナーⅠ	環境デザイン論		農山漁村生活技術	文化資源論Ⅰ	レクリエーション演習	
		岡田	岡田			高橋・八木・山本智	榊原・松村・入江・片岡		香月 他	寺谷 他	藤原 他	
		法305	法305			各研究室	EL26		法演8	法302	法304	
	3年次			海洋生産科学Ⅰ	製紙技術論	ものづくりセミナーⅠ					衛生学・公衆衛生学	
				松原 他	内村	高橋・八木・山本智					小原	
				講義室(西浦)	講義室(四国中央)	各研究室					法203	
	4年次	卒業研究		海洋生産科学Ⅱ							スポーツ健康情報マネジメント演習Ⅱ	
		西村・徐・山口由・川口・岡本直・岡本隆・曾我・崔・谷本・折戸・藤川・山口信・広垣・園		松原 他							野口	
		各研究室		講義室(西浦)							法演5	
	4	1年次	英語Ⅰ									
2年次		社会調査Ⅰ		基礎生物化学	産業イノベーションセミナーⅠ	鉱物学概論(森)EL26	公共ガバナンス論	農山漁村生活技術			スポーツ健康指導法(体づくり運動Ⅰ)	
		岡本隆・徐・山口信・橋・谷本・藤川・広垣・山口由・野澤	岩田	高橋・八木・山本智	基礎生物化学(岩田)EL33	羽鳥	香月 他			浅井		
		法101	EL33	各研究室	EL16	法演8				法303		
3年次			海洋生産科学セミナーⅠ	紙産業セミナーⅠ	ものづくりセミナーⅠ				文化遺産論Ⅱ	スポーツ健康測定評価学		
			松原 他	内村 他	高橋・八木・山本智				村上	山本		
			各研究室	各研究室	各研究室				法302	法102		
4年次			海洋生産科学セミナーⅡ	産業イノベーションセミナーⅡ						スポーツ健康生理学演習Ⅱ		
			松原 他	内村 他						浅井		
			各研究室	各研究室						法演3		
5		1年次										
		2年次	数理的思考	数理的思考	数理的思考							
		川口	川口	川口								
		法101	法101	法101								
	3年次	意思決定会計	意思決定会計									
		岡本直	岡本直									
		法305	法305									
	4年次			産業イノベーションセミナーⅡ							健康医学演習Ⅱ	
				内村 他							小原	
				各研究室							法演3	
	集中講義等	1年次	基礎データ処理	基礎データ処理						都市農村交流論Ⅰ		
		2年次	インターンシップ入門	インターンシップ入門	インターンシップ入門	インターンシップ入門	インターンシップ入門	インターンシップ入門	インターンシップ入門	インターンシップ入門	インターンシップ入門	
3年次		管理会計論	管理会計論	次世代水産イノベーション論	紙産業基礎演習	技術・環境倫理学	技術・環境倫理学	技術・環境倫理学	自由課題研究	自由課題研究	青年期スポーツ健康実践	
		ビジネスプランニング	ビジネスプランニング	水族発生物学	技術・環境倫理学	社会共創演習Ⅰ	社会共創演習Ⅰ	社会共創演習Ⅰ	自由課題研究	自由課題研究	自由課題研究	
4年次	意思決定会計	意思決定会計	社会共創演習Ⅰ	社会共創演習Ⅰ	社会共創演習Ⅱ	卒業研究	卒業研究	農山漁村課題研究	卒業研究	卒業研究		
	自由課題研究	自由課題研究	自由課題研究	自由課題研究	自由課題研究	自由課題研究	自由課題研究	自由課題研究	自由課題研究	自由課題研究		
	自由課題研究	自由課題研究	自由課題研究	自由課題研究	自由課題研究	自由課題研究	自由課題研究	自由課題研究	自由課題研究	自由課題研究		
	自由課題研究	自由課題研究	自由課題研究	自由課題研究	自由課題研究	自由課題研究	自由課題研究	自由課題研究	自由課題研究	自由課題研究		
	自由課題研究	自由課題研究	自由課題研究	自由課題研究	自由課題研究	自由課題研究	自由課題研究	自由課題研究	自由課題研究	自由課題研究		

社会共創学部時間割

…学部共通科目枠

…共通教育科目・教職科目枠

※…テレビ会議システム使用

曜日/時限/年次	第2クォーター											
	産業マネジメント学科		産業イノベーション学科			環境デザイン学科		地域資源マネジメント学科				
	産業マネジメントコース	事業創造コース	海洋生産科学コース	紙産業コース	ものづくりコース	環境サステナビリティコース	地域デザイン・防災コース	農山漁村マネジメントコース	文化資源マネジメントコース	スポーツ健康マネジメントコース		
1	1年次				線形代数	線形代数		農山漁村生活技術				
					八木	八木		香月 他				
					EL26	EL26		法演8				
	2年次							農林漁家実習				
								香月 他				
								—				
	3年次	知的財産法	知的財産法			知的財産法	水域環境保全		国際比較観光論			
		泉 法101	泉 法101			泉 法101	大森 EL13		寺谷 法102	生徒指導論		
	4年次											
	2	1年次	初年次プロジェクト演習						農山漁村生活技術			
			崔・岡本直・山口信・岡田・野澤						香月 他			
法101						法演8						
2年次		学問分野別					固体地球物理学概論					
							井上・山本 EL44					
3年次		情報経済論	情報経済論		分析化学 I	電気機器		インターンシップ応用/農山漁村団体実習/法人実習/自治体実習	ソフトツーリズム論	学校保健		
		岡本隆 法201	岡本隆 法201		藪谷	神野 EL23		香月 他	大谷 法304	小原 法203		
4年次		ソフトツーリズム論	ソフトツーリズム論		森林資源化学				地域構想論演習 II			
		大谷 法304	大谷 法304		枝重 EL24※				淡野 法演5			
3		1年次	経営入門									
			崔・折戸									
			法大									
	2年次	金融論	金融論	生物多様性保全学	生物多様性保全学	熱力学	生物多様性保全学		農林漁家実習	地域づくり論 I	スポーツ健康生理学	
		近廣 法101	近廣 法101	大森 EL13	大森 EL13	中原 EL44	大森 EL13		香月 他	淡野 法302	浅井 法303	
	3年次					電気回路	環境マネジメント論		インターンシップ応用/農山漁村団体実習/法人実習/自治体実習		スポーツ健康指導法(陸上競技)	
						門脇 EL45	EL21		香月 他		日野 法402	
	4年次				製紙化学 II					地域コンテンツ論演習 II		
					内村 講義室(四国中央)					大谷 法演6		
	4	1年次	学問分野別科目									
2年次		流通論	流通論	流通論	流通論(山口信)法305	材料と強度	環境統計学	防災マネジメント学	農林漁家実習			
		山口信 法305	山口信 法305	山口信 法305	山口信 環境統計学(入江)EL41	高橋 EL31	入江 EL41	二神 EL42	香月 他			
3年次						メカトロニクス学			インターンシップ応用/農山漁村団体実習/法人実習/自治体実習	地域構想論演習 I	スポーツ健康ICT活用演習	
						山本智 EL32			香月 他	淡野 法演5	野口 法203	
4年次				産業イノベーションセミナー II		流通論	環境デザインゼミナール II					
				松原 他 各研究室		山口信 法305	榎原・大森・佐藤・入江・片岡・松村・二神・羽鳥・ネトラ・渡邊 各研究室					
5		1年次										
	2年次	生産管理論	生産管理論	生産管理論	生産管理論	生産管理論			農林漁家実習			
		徐 法404	徐 法404	徐 法404	徐 法404	徐 法404			香月 他			
	3年次								インターンシップ応用/農山漁村団体実習/法人実習/自治体実習		スポーツ健康指導法(ダンス)	
									香月 他		牛山 法203	
	4年次			産業イノベーションセミナー II			環境デザインゼミナール II			都市景観論演習 II	スポーツプロモーション演習 II	
				松原 他 各研究室			榎原・大森・佐藤・入江・片岡・松村・二神・羽鳥・ネトラ・渡邊 各研究室			寺谷 法演6	山中 法演2	

曜日/時限/年次	第2クォーター										
	産業マネジメント学科		産業イノベーション学科			環境デザイン学科		地域資源マネジメント学科			
	産業マネジメントコース	事業創造コース	海洋生産科学コース	紙産業コース	ものづくりコース	環境サステナビリティコース	地域デザイン・防災コース	農山漁村マネジメントコース	文化資源マネジメントコース	スポーツ健康マネジメントコース	
1	1年次										
	2年次	主題探究型科目型									
	3年次	地域防災実践学 二神 EL15	地域防災実践学 二神 EL15				自然社会環境学 渡邊 EL13	地域防災実践学 二神 EL15	インターンシップ応用/農山漁村団体実習/法人実習/自治体実習 香山 他		
	4年次								文化遺産論演習Ⅱ 村上・楨林 法演2		
	1年次	ミクロ経済学Ⅰ 曾我 法101	ミクロ経済学Ⅰ 曾我 法101				統計学 入江 EL23			教職基礎論	
2	2年次	産業イノベーション論 統計学 課題解決思考力育成科目 若林・深堀・高橋 入江 EL24 EL23									
	3年次	キャリアデザイン論 園田 法305	キャリアデザイン論 園田 法305				国際プレゼンテーション演習 ネトラ EL41			特別活動論、 教育方法論	
	4年次								観光文化論演習Ⅱ 井口 法演2		
	1年次	英語Ⅱ									
3	2年次	企業法政策(ガバナンス) 岡田 法404	企業法政策(ガバナンス) 岡田 法404				発生学 小南 EL26	農林漁家実習 香山 他	地域文化論 淡野 法102	マルチスポーツⅡ 浅井・山本 法302	
	3年次			工場見学Ⅰ 内村 他 講義室(四国中央)	ものづくり実験 山本智 他 各実験室		交通計画 吉井・倉内 EL43	インターンシップ応用/農山漁村団体実習/法人実習/自治体実習 香山 他		保健体育科教育法Ⅲ	
	4年次			工場見学Ⅱ 内村 他 講義室(四国中央)							
	1年次	スポーツ									
4	2年次	地域産業論 岡本隆・山崎(寄附講座) 法404					岩石学概論 齊藤 EL44	社会資本の整備と運用 羽鳥 EL15	農林漁家実習 香山 他	文化遺産論Ⅰ 楨林 法302	
	3年次	社会資本の整備と運用 羽鳥 EL15	社会資本の整備と運用 羽鳥 EL15	工場見学Ⅰ 内村 他 講義室(四国中央)	ものづくり実験 山本智 他 各実験室			インターンシップ応用/農山漁村団体実習/法人実習/自治体実習 香山 他		スポーツ健康指導法(水泳) 山本 法102	
	4年次			工場見学Ⅱ 内村 他 講義室(四国中央)						スポーツ教育学演習Ⅱ 牛山 法演2	
	1年次						地球科学 榑原 EL13				
5	2年次	会計学原理Ⅰ 西村 法101	会計学原理Ⅰ 西村 法101	会計学原理Ⅰ 西村 法101							
	3年次				技術マネジメント 土居 EL45			インターンシップ応用/農山漁村団体実習/法人実習/自治体実習 香山 他	地域コンテンツ論演習Ⅰ 大谷 法演5		
	4年次										
	1年次										

曜日/時限/年次	第2クォーター											
	産業マネジメント学科		産業イノベーション学科			環境デザイン学科		地域資源マネジメント学科				
	産業マネジメントコース	事業創造コース	海洋生産科学コース	紙産業コース	ものづくりコース	環境サステナビリティコース	地域デザイン・防災コース	農山漁村マネジメントコース	文化資源マネジメントコース	スポーツ健康マネジメントコース		
水	1	1年次	こころと健康									
		2年次	フィールド実習 松村・笠松・福垣内・深堀・秀野・山口由・崔・岡本隆・谷本・山本智・片岡・寺谷 法201									
		3年次										
		4年次										
		1年次	新入生セミナーA 法大									
	2	2年次	フィールド実習 松村・笠松・福垣内・深堀・秀野・山口由・崔・岡本隆・谷本・山本智・片岡・寺谷 法201									
		3年次										
		4年次										
		1年次										
		2年次	フィールド実習 松村・笠松・福垣内・深堀・秀野・山口由・崔・岡本隆・谷本・山本智・片岡・寺谷 法201									
3	3年次	プロジェクト実践演習										
	4年次											
	1年次											
	2年次	フィールド実習 松村・笠松・福垣内・深堀・秀野・山口由・崔・岡本隆・谷本・山本智・片岡・寺谷 法201										
	3年次	プロジェクト実践演習										
4	4年次											
	1年次											
	2年次	フィールド実習 松村・笠松・福垣内・深堀・秀野・山口由・崔・岡本隆・谷本・山本智・片岡・寺谷 法201										
	3年次	プロジェクト実践演習										
	4年次											
5	1年次	スポーツ(リハビリ)										
	2年次	フィールド実習 松村・笠松・福垣内・深堀・秀野・山口由・崔・岡本隆・谷本・山本智・片岡・寺谷 法201										
	3年次	プロジェクト実践演習										
	4年次											
	1年次											

曜日/時限/年次	第2クォーター										
	産業マネジメント学科		産業イノベーション学科			環境デザイン学科		地域資源マネジメント学科			
	産業マネジメントコース	事業創造コース	海洋生産科学コース	紙産業コース	ものづくりコース	環境サステナビリティコース	地域デザイン・防災コース	農山漁村マネジメントコース	文化資源マネジメントコース	スポーツ健康マネジメントコース	
1	1年次				線形代数		線形代数				
					八木		八木				
					EL26		EL26				
	2年次	学問分野別									
	3年次	知的財産法	知的財産法		科学英語 I	知的財産法	水域環境保全		インターンシップ応用/農山漁村団体実習/法人実習/自治体実習	国際比較観光論	
	泉	泉		藪谷	泉	大森		香月 他	寺谷		
	法101	法101		講義室(四国中央)	法101	EL13		香月 他	法102		
4年次											
2	1年次	新入生セミナーB 西村・松原・後藤・大森・二神・浅井・山中 法大									
	2年次				材料と強度	固体地球物理学概論					
					高橋	井上・山本				教育本質論	
					EL31	EL44					
	3年次	情報経済論	情報経済論			デジタル電子回路			インターンシップ応用/農山漁村団体実習/法人実習/自治体実習	ソフトウェア論	
	岡本隆	岡本隆			都築			香月 他	大谷		
	法201	法201			EL26			香月 他	法304		
4年次	ソフトウェア論	ソフトウェア論		科学英語Ⅲ	船舶工学入門				地域構想論演習Ⅱ		
	大谷	大谷		藪谷	柳原・土岐				淡野		
	法304	法304		講義室(四国中央)	EL43				法演5		
3	1年次	情報リテラシー入門Ⅱ									
	2年次	金融論	金融論	生物多様性保全学	生物多様性保全学	CAD製図	生物多様性保全学		農林漁家実習	地域づくり論Ⅰ	スポーツ健康生理学
		近廣	近廣	大森	大森	八木	大森		香月 他	淡野	浅井
		法101	法101	EL13	EL13	EL14	EL13		—	法302	法303
	3年次				分析化学Ⅰ		環境マネジメント論		インターンシップ応用/農山漁村団体実習/法人実習/自治体実習		スポーツ健康IoT活用演習
				藪谷				香月 他		野口	
				講義室(四国中央)		EL21		香月 他		法203	
4年次									地域コンテンツ論演習Ⅱ		
									大谷		
									法演6		
4	1年次	経営入門 崔・折戸 法大									
	2年次	流通論	流通論	流通論	流通論(山口信)法305 環境統計学(入江)EL41	CAD製図	環境統計学	防災マネジメント学			
		山口信	山口信	山口信		八木	入江	二神			
		法305	法305	法305		EL14	EL41	EL42			
	3年次					メカトロニクス学				地域構想論演習Ⅰ	スポーツ健康指導法(ダンス)
					山本智				淡野	牛山	
					EL32				法演5	法203	
4年次				製紙化学Ⅱ	流通論	環境デザインゼミナールⅡ					
				内村	山口信	柳原・大森・佐藤・入江・片岡・松村・二神・羽鳥・ネトラ・渡邊					
				講義室(四国中央)	法305	各研究室					
5	1年次										
	2年次	生産管理論	生産管理論	生産管理論	生産管理論	生産管理論			農林漁家実習		
		徐	徐	徐	徐	徐			香月 他		
		法404	法404	法404	法404	法404			—		
	3年次								インターンシップ応用/農山漁村団体実習/法人実習/自治体実習		
								香月 他			
4年次						環境デザインゼミナールⅡ			都市景観論演習Ⅱ		
						柳原・大森・佐藤・入江・片岡・松村・二神・羽鳥・ネトラ・渡邊			寺谷		
						各研究室			法演6		

曜日/時限/年次	第2クォーター									
	産業マネジメント学科		産業イノベーション学科			環境デザイン学科		地域資源マネジメント学科		
	産業マネジメントコース	事業創造コース	海洋生産科学コース	紙産業コース	ものづくりコース	環境サステナビリティコース	地域デザイン・防災コース	農山漁村マネジメントコース	文化遺産マネジメントコース	スポーツ健康マネジメントコース
1	1年次						統計学			
	2年次	産業イノベーション論 統計学					入江			
		課題解決思考力育成科目		若林・深堀・高橋	入江					
		EL24		EL23						
2	3年次	地域防災実践学	地域防災実践学				自然社会環境学	地域防災実践学	インターンシップ応用/農山漁村団体実習/法人実習/自治体実習	地域スポーツ演習Ⅰ
		二神	二神				渡邊	二神	香山 他	山中
		EL15	EL15				EL13	EL15	香山 他	法304
	4年次								文化遺産論演習Ⅱ	地域スポーツ演習Ⅱ
								村上・楨林	牛山	
								法演2	法403	
3	1年次	ミクロ経済学Ⅰ	ミクロ経済学Ⅰ							
		曾我	曾我							
		法101	法101							
	2年次								農林漁家実習	
								香山 他	保健体育科教育法Ⅰ	
								—		
3年次	キャリアデザイン論	キャリアデザイン論				国際プレゼンテーション演習	インターンシップ応用/農山漁村団体実習/法人実習/自治体実習			
	園田	園田				ネトラ				
	法305	法305				EL41	香山 他			
4年次								観光文化論演習Ⅱ	健康運動疫学演習Ⅱ	
								井口	山本	
								法演2	法演4	
4	1年次	学問分野別、 初修外国語入門								
	2年次	企業法政策 (ガバナンス)	企業法政策 (ガバナンス)		産業イノベーション セミナーⅠ	発生学	農林漁家実習	地域文化論	マルチスポーツⅡ	
		岡田	岡田		高橋・八木・山本智	小南	香山 他	淡野	浅井・山本	
		法404	法404		各研究室	EL26	—	法102	法302	
3年次			海洋生産科学Ⅰ		ものづくり セミナーⅠ	交通計画	インターンシップ応用/農山漁村団体実習/法人実習/自治体実習		学校保健	
			松原 他		高橋・八木・山本智	吉井・倉内	香山 他		小原	
			講義室(西浦)		各研究室	EL43	香山 他		法203	
4年次	卒業研究	卒業研究	海洋生産科学Ⅱ						スポーツ健康情報 マネジメント演習Ⅱ	
	西村・徐・山口由・川口・岡本直・岡本隆・ 曾我・桂・谷本・折戸・藤川・山口信・広垣・園 各研究室	西村・徐・山口由・川口・岡本直・岡本隆・ 曾我・桂・谷本・折戸・藤川・山口信・広垣・園 各研究室	松原 他						野口	
			講義室(西浦)						法演5	
5	1年次	英語Ⅱ								
	2年次	社会調査Ⅰ	社会調査Ⅰ		産業イノベーション セミナーⅠ	岩石学概論	社会資本の整備と運用	農林漁家実習	文化遺産論Ⅰ	
		岡本隆・徐・山口信・橋・谷本・ 藤川・広垣・山口由・野澤	岡本隆・徐・山口信・橋・谷本・ 藤川・広垣・山口由・野澤		高橋・八木・山本智	齊藤	羽鳥	香山 他	楨林	
		法101	法101		各研究室	EL44	EL15	—	法302	
3年次	社会資本の整備と運用	社会資本の整備と運用	海洋生産科学 セミナーⅠ	紙産業セミナーⅠ	ものづくり セミナーⅠ	インターンシップ応用/農山漁村団体実習/法人実習/自治体実習			スポーツ健康指導 法(水泳)	
	羽鳥	羽鳥	松原 他	内村 他	高橋・八木・山本智	香山 他			山本	
	EL15	EL15	各研究室	各研究室	各研究室	香山 他			法102	
4年次			海洋生産科学 セミナーⅡ	産業イノベーション セミナーⅡ					スポーツ健康 生理学演習Ⅱ	
			松原 他	内村 他					浅井	
			各研究室	各研究室					法演3	
集中講義等	1年次	基礎データ処理	基礎データ処理	産業技術調査	産業技術調査	産業技術調査				
	2年次	インターンシップ入門 海外インターンシップ 地域活性化論	インターンシップ入門 海外インターンシップ 地域活性化論	インターンシップ入門 海外インターンシップ 地域活性化論	インターンシップ入門 海外インターンシップ 地域活性化論	インターンシップ入門 海外インターンシップ 地域活性化論	インターンシップ入門 海外インターンシップ 地域活性化論	インターンシップ入門 海外インターンシップ 地域活性化論	インターンシップ入門 海外インターンシップ 地域活性化論	インターンシップ入門 海外インターンシップ 地域活性化論
	3年次	海外フィールド実習 海外インターンシップ インターンシップ実践 管理会計論 ビジネスプランニング 自由課題研究	海外フィールド実習 海外インターンシップ インターンシップ実践 管理会計論 ビジネスプランニング 自由課題研究	海外フィールド実習 海外インターンシップ インターンシップ実践 産業経済論 紙産業基礎演習 水族発生学 社会共創演習Ⅰ 自由課題研究	海外フィールド実習 海外インターンシップ インターンシップ実践 産業経済論 紙産業基礎演習 社会共創演習Ⅰ 自由課題研究	海外フィールド実習 海外インターンシップ インターンシップ実践 産業経済論 紙産業基礎演習 社会共創演習Ⅰ 自由課題研究	海外フィールド実習 海外インターンシップ インターンシップ実践 環境デザインフィールド 実習Ⅰ 自由課題研究	海外フィールド実習 海外インターンシップ インターンシップ実践 環境デザインフィールド 実習Ⅰ 自由課題研究	海外フィールド実習 海外インターンシップ インターンシップ実践 自由課題研究	海外フィールド実習 海外インターンシップ インターンシップ実践 自由課題研究
	4年次			インターンシップ応用 社会共創演習Ⅱ 卒業研究	インターンシップ応用 社会共創演習Ⅱ 卒業研究	社会共創演習Ⅱ 卒業研究	卒業研究	卒業研究	農山漁村課題研究 卒業研究	卒業研究

社会共創学部時間割

…学部共通科目枠

…共通教育科目・教職科目枠

※…テレビ会議システム使用

曜日/時限/年次		第3クォーター										
		産業マネジメント学科		産業イノベーション学科			環境デザイン学科		地域資源マネジメント学科			
		産業マネジメントコース	事業創造コース	海洋生産科学コース	紙産業コース	ものづくりコース	環境サステナビリティコース	地域デザイン・防災コース	農山漁村マネジメントコース	文化資源マネジメントコース	スポーツ健康マネジメントコース	
月	1	1年次	学問分野別科目 (日本国憲法含む)									
		2年次	農林漁業団体論 香月 法203	農林漁業団体論 香月 法203	産業文化論 若林 EL12				土木計画学 及び同演習 倉内 EL43	農林漁業団体論 香月 法203		
		3年次		農林漁業団体論 香月 講義室(西浦)※	木質高分子化学 伊藤	流体力学 保田	環境デザイン課題研究Ⅰ 榊原・大森・佐藤・入江・片岡・松村・二神・羽鳥・ネトラ・渡邊				スポーツプロモーション演習Ⅰ 山中	
		4年次				EL26	各研究室				法演2	
		フィールドワーク入門										
		1年次	山口由・藤川・山本智・大森・小田・淡野									
		法大										
		2年次	戦略的経営 崔 法101	戦略的経営 崔 法101	地域農林漁業論 小田・笠松・竹ノ内 法203			分類学 村上 EL44	土木計画学 及び同演習 倉内 EL43	地域農林漁業論 小田・笠松・竹ノ内 法203	地域コンテンツ論 大谷 法302	健康医学 小原 法102
		3年次	数理経済学 法305	数理経済学 法305		有機化学 藪谷	OAE基礎 および演習 高橋	環境デザイン課題研究Ⅰ 榊原・大森・佐藤・入江・片岡・松村・二神・羽鳥・ネトラ・渡邊				運動学・ バイオメカニクス 浅井 法403
		4年次									観光文化論演習Ⅱ 井口	法演2
		社会共創学概論										
		1年次	榊原・若林・片岡・井口・笠松									
法大												
2年次	経営情報システム論Ⅰ 折戸 法404	経営情報システム論Ⅰ 折戸 法404	水族生理学 太田・後藤 EL31		工業材料 高橋 EL32		防災情報社会学 二神 EL41			生涯スポーツ演習 浅井・牛山・山本 法102		
3年次				紙加工技術論 内村	アナログ電子回路 岡本 EL33					スポーツ健康指導法(球技1) 山中 法403		
4年次									地域コンテンツ論演習Ⅱ 大谷 法演6			
月	4	1年次	情報処理論 橋 法302	情報処理論 橋 法302	社会心理学 課題解決思考力育成科目 羽鳥		地域社会論 淡野 法404					
		2年次	労働法 笹沼 法101	労働法 笹沼 法101			ものづくり設計 八木 EL13			地域健康づくり論 浅井・山本直 法304		
		3年次	地域商業論 山口信 法305	地域商業論 山口信 法305						観光文化論演習Ⅰ 井口	スポーツ健康生理学演習Ⅰ 浅井 法演3	
		4年次						環境デザインゼミナールⅢ 榊原・大森・佐藤・入江・片岡・松村・二神・羽鳥・ネトラ・渡邊				
		各研究室										
		1年次	企業システム論 藤川 法404	企業システム論 藤川 法404				現代生物学序論 佐久間・佐藤 EL26				
		2年次	情報産業論 岡本隆 法101	情報産業論 岡本隆 法101		情報産業論 岡本隆 法101						
		3年次									健康医学演習Ⅰ 小原 法演3	
		4年次						環境デザインゼミナールⅢ 榊原・大森・佐藤・入江・片岡・松村・二神・羽鳥・ネトラ・渡邊		都市景観論演習Ⅱ 寺谷	法演6	
		各研究室										

曜日/時限/年次	第3クォーター										
	産業マネジメント学科		産業イノベーション学科			環境デザイン学科		地域資源マネジメント学科			
	産業マネジメントコース	事業創造コース	海洋生産科学コース	紙産業コース	ものづくりコース	環境サステナビリティコース	地域デザイン・防災コース	農山漁村マネジメントコース	文化資源マネジメントコース	スポーツ健康マネジメントコース	
1	1年次			海洋生産科学概論 若林・松原・太田・後藤・高木・竹ノ内 EL13		地球環境学 佐藤 EL16		都市農村交流論Ⅱ 小田 法102			
	2年次	観光まちづくり論 佐藤亮 法101	観光まちづくり論 佐藤亮 法101						観光地形成論 井口 法302		
	3年次	観光地形成論 井口 法302	観光地形成論 井口 法302							健康運動 疫学演習Ⅰ 山本 法演4	
	4年次								文化遺産論演習Ⅱ 村上・楨林 法演2		
	1年次	地域調査方法入門 若林・深堀・羽鳥・笠松・井口・曾我・広垣 法大									
	2年次	サービス・マーケティング論 谷本 法305	サービス・マーケティング論 谷本 法305			機械力学 曾我部 EL15					保健体育科教育法Ⅱ
	3年次	産業立地論 野澤 法101	産業立地論 野澤 法101				防災工学 森・竹田・日向 EL33				スポーツ健康指導 法(球技2) 福田 法203
	4年次					設計工学 八木 EL41			地域構想論演習Ⅱ 淡野 法演5		
	1年次	英語Ⅲ									
	2年次	財政学Ⅰ 三宅 法404	財政学Ⅰ 三宅 法404			ものづくり実習 高橋・八木・山本智 EL14			文化資源論Ⅱ 寺谷 他 法302	スポーツ社会学 藤原・山中 法203	
3年次			工場見学Ⅰ 内村 他 講義室(四国中央)			環境毒性学 岩田 EL35		自給地域形成論 笠松 法202			
4年次			工場見学Ⅱ 内村 他 講義室(四国中央)								
4	1年次	主題探究型科目型									
	2年次	地域・中小企業家論 曾我・鎌田 法101	地域・中小企業家論 曾我・鎌田 法101	地域・中小企業家論 曾我・鎌田 法101	地域・中小企業家論 曾我・鎌田 法101	ものづくり実習 高橋・八木・山本智 EL14					スポーツ健康指導 法(武道) 橋本 法403
	3年次			工場見学Ⅰ 内村 他 講義室(四国中央)	地域・中小企業家論 曾我・鎌田 法101		都市・地域計画 吉井 EL43	自給地域形成論 笠松 法202	都市景観論演習Ⅰ 寺谷 法演7	保健体育科教育法 Ⅳ	
	4年次			工場見学Ⅱ 内村 他 講義室(四国中央)							
	1年次	簿記原理 西村 法305	簿記原理 西村 法305	簿記原理 西村 法305	簿記原理 西村 法305	簿記原理 西村 法305					
2年次	原価計算論 岡本直 法404	原価計算論 岡本直 法404	原価計算論 岡本直 法404	原価計算論 岡本直 法404	原価計算論 岡本直 法404						
3年次										教育相談論	
4年次										教職実践演習	

曜日/時限/年次	第3クォーター										
	産業マネジメント学科		産業イノベーション学科			環境デザイン学科		地域資源マネジメント学科			
	産業マネジメントコース	事業創造コース	海洋生産科学コース	紙産業コース	ものづくりコース	環境サステナビリティコース	地域デザイン・防災コース	農山漁村マネジメントコース	文化資源マネジメントコース	スポーツ健康マネジメントコース	
水	1	フィールド基礎実習									
		1年次 岡本隆・谷本・野澤・山本智・松村・入江・牛山・野口									
		法大									
		プロジェクト基礎演習									
	2年次										
		プロジェクト応用演習									
	3年次										
	4年次						環境化学				
							国本				
	EL15										
	2	フィールド基礎実習									
		1年次 岡本隆・谷本・野澤・山本智・松村・入江・牛山・野口									
		法大									
		プロジェクト基礎演習									
2年次											
	プロジェクト応用演習										
3年次											
4年次											
3	1年次 学問分野別科目										
	プロジェクト基礎演習										
	2年次										
プロジェクト応用演習											
3年次											
4年次				木質バイオマス 変換利用学 枝重							
				講義室(四国中央)※							
4	1年次										
						物理学	農山漁村生活技術				
						ネトラ	香月 他				
						EL13	法演8				
2年次	プロジェクト基礎演習										
3年次	プロジェクト応用演習										
4年次				木質バイオマス 変換利用学 枝重							
				講義室(四国中央)※							
5	1年次										
							農山漁村生活技術				
							香月 他				
							法演8				
2年次	プロジェクト基礎演習										
3年次	プロジェクト応用演習										
4年次											

曜日/時限/年次	第3クォーター											
	産業マネジメント学科		産業イノベーション学科			環境デザイン学科		地域資源マネジメント学科				
	産業マネジメントコース	事業創造コース	海洋生産科学コース	紙産業コース	ものづくりコース	環境サステナビリティコース	地域デザイン・防災コース	農山漁村マネジメントコース	文化資源マネジメントコース	スポーツ健康マネジメントコース		
木	フィールドワーク入門											
	1年次	山口由・藤川・山本智・大森・小田・淡野										
	法大											
	2年次	農林漁業団体論	農林漁業団体論	産業文化論				土木計画学及び同演習	農林漁業団体論			
		香月	香月	若林				倉内	香月			
		法203	法203	EL12				EL43	法203			
	3年次			農林漁業団体論	科学英語Ⅱ	CAE基礎および演習	環境デザイン課題研究Ⅰ					
				香月	深堀	高橋	榊原・大森・佐藤・入江・片岡・松村・二神・羽鳥・ネトラ・渡邊					
			講義室(西浦)※	講義室(四国中央)	EL21		各研究室					
	4年次											
	2	1年次	科学技術 リテラシー入門									
		2年次	戦略的経営	戦略的経営	地域農林漁業論(小田他)法203	環境化学	産業イノベーションセミナーⅡ	分類学	土木計画学及び同演習	地域農林漁業論	地域コンテンツ論	
崔			崔	環境化学(高橋)Ei33	高橋	高橋・八木・山本智	村上	倉内	小田・笠松・竹ノ内	大谷	道徳教育指導論	
		法101	法101		EL33	各研究室	EL44	EL43	法203	法302		
3年次		数理経済学	数理経済学			ものづくりセミナーⅡ	環境デザイン課題研究Ⅰ				スポーツ健康情報マネジメント演習Ⅰ	
					高橋・八木・山本智	榊原・大森・佐藤・入江・片岡・松村・二神・羽鳥・ネトラ・渡邊				野口		
	法305	法305			各研究室	各研究室				法演5		
4年次				科学英語Ⅳ					観光文化論演習Ⅱ			
				深堀					井口			
				講義室(四国中央)					法演2			
3	1年次	社会共創学概論 榊原・若林・片岡・井口・笠松										
	法大											
	2年次	経営情報システム論Ⅰ	経営情報システム論Ⅰ	水族生理学		産業イノベーションセミナーⅡ		防災情報社会学				
		折戸	折戸	太田・後藤		高橋・八木・山本智		二神			スポーツと教育	
		法404	法404	EL31		各研究室		EL41				
3年次				紙加工技術論	ものづくりセミナーⅡ					スポーツ健康指導法(球技1)		
					内村	高橋・八木・山本智				山中		
				講義室(四国中央)	各研究室					法403		
4年次									地域コンテンツ論演習Ⅱ			
									大谷			
									法演6			
4	1年次	情報処理論	情報処理論	社会心理学		地域社会論						
		橋	橋	課題解決思考力育成科目		羽鳥	淡野					
		法302	法302	EL16		法404						
	2年次	労働法	労働法			ものづくり設計				地域健康づくり論		
		笹沼	笹沼			八木				浅井・山本直		
		法101	法101			EL13				法304		
	3年次	地域商業論	地域商業論	産業イノベーションセミナーⅠ	有機化学				観光文化論演習Ⅰ			
		山口信	山口信	松原 他	藪谷				井口			
	法305	法305	各研究室	講義室(四国中央)					法演2			
4年次						環境デザインゼミナールⅢ						
						榊原・大森・佐藤・入江・片岡・松村・二神・羽鳥・ネトラ・渡邊						
						各研究室						
5	1年次	企業システム論	企業システム論			現代生物学序論						
		藤川	藤川			佐久間・佐藤						
		法404	法404			EL26						
	2年次	情報産業論	情報産業論		情報産業論						リハビリ	
		岡本隆	岡本隆		岡本隆						(スポーツと教育)	
	法101	法101		法101								
3年次			産業イノベーションセミナーⅠ									
			松原 他									
			各研究室									
4年次						環境デザインゼミナールⅢ			都市景観論演習Ⅱ			
						榊原・大森・佐藤・入江・片岡・松村・二神・羽鳥・ネトラ・渡邊			寺谷			
						各研究室			法演6			

曜日/時限/年次	第3クォーター										
	産業マネジメント学科		産業イノベーション学科			環境デザイン学科		地域資源マネジメント学科			
	産業マネジメントコース	事業創造コース	海洋生産科学コース	紙産業コース	ものづくりコース	環境サステナビリティコース	地域デザイン・防災コース	農山漁村マネジメントコース	文化資源マネジメントコース	スポーツ健康マネジメントコース	
1	1年次			海洋生産科学概論 若林・松原・太田・後藤・高木・竹ノ内 EL13			地球環境学 佐藤 EL16				
	2年次	観光まちづくり論 佐藤亮 法101	観光まちづくり論 佐藤亮 法101	環境化学 高橋 EL33	環境化学 高橋 EL33		景観デザイン 片岡 EL21		観光地形成論 井口 法302		
	3年次	観光地形成論 井口 法302	観光地形成論 井口 法302								地域スポーツ 演習Ⅰ 山中 法304
	4年次								文化遺産論演習Ⅱ 村上・楨林 法演2	地域スポーツ 演習Ⅱ 牛山 法403	
	1年次	地域調査方法入門 若林・深堀・羽鳥・笠松・井口・曾我・広垣 法大									
	2年次	サービス・マーケティング論 谷本 法305	サービス・マーケティング論 谷本 法305			工業材料 高橋 EL32		景観デザイン 片岡 EL21			生涯スポーツ演習 浅井・牛山・山本 法102
	3年次	産業立地論 野澤 法101	産業立地論 野澤 法101		製紙材料論Ⅱ 福垣内 講義室(四国中央)			防災工学 森・竹田・日向 EL33			
	4年次					設計工学 八木 EL41				地域構想論演習Ⅱ 淡野 法演5	
	2	1年次									
	2年次	財政学Ⅰ 三宅 法404	財政学Ⅰ 三宅 法404							文化資源論Ⅱ 寺谷 他 法302	スポーツ社会学 藤原・山中 法203
3年次				製紙材料論Ⅱ 福垣内 講義室(四国中央)	電気電子計測 神野 EL45	環境毒性学 岩田 EL35					
4年次	卒業研究 西村・徐・山口由・川口・岡本直・岡本隆・曾我・星・谷本・折戸・藤川・山口信・広垣・園 各研究室										
3	1年次	英語Ⅲ									
2年次	社会調査Ⅱ 岡本隆・徐・山口信・野澤・橋 法101										
3年次				産業イノベーション セミナーⅠ 内村 他 各研究室		都市・地域計画 吉井 EL43		都市景観論演習Ⅰ 寺谷 法演7	スポーツ健康指導 法(器械運動) 糸岡(教育) 法203		
4年次				紙産業セミナーⅡ 内村 他 各研究室							
4	1年次	簿記原理 西村 法305	簿記原理 西村 法305	簿記原理 西村 法305	簿記原理 西村 法305	簿記原理 西村 法305					
2年次	原価計算論 岡本直 法404										
3年次				産業イノベーション セミナーⅠ 内村 他 各研究室					スポーツ教育学 演習Ⅰ 牛山 法演2		
4年次											
5	1年次	簿記原理 西村 法305	簿記原理 西村 法305	簿記原理 西村 法305	簿記原理 西村 法305	簿記原理 西村 法305					
2年次	原価計算論 岡本直 法404										
3年次				産業イノベーション セミナーⅠ 内村 他 各研究室					スポーツ教育学 演習Ⅰ 牛山 法演2		
4年次											
集中講義等	1年次	基礎データ処理	基礎データ処理								
	2年次					地球科学野外実習Ⅱ	地球科学野外実習Ⅱ	地域資源融合実習Ⅰ 地域資源融合実習Ⅱ	地域資源融合実習Ⅰ 地域資源融合実習Ⅱ	インターンシップ実践 地域資源融合実習Ⅰ 地域資源融合実習Ⅱ 少年期スポーツ健康 実践	
	3年次	管理会計論 ビジネスプランニング インターンシップ実践 自由課題研究	管理会計論 ビジネスプランニング インターンシップ実践 自由課題研究	インターンシップ実践 水産発生学 社会共創演習Ⅰ 自由課題研究	紙産業基礎演習 インターンシップ実践 インターンシップ応用 社会共創演習Ⅰ 自由課題研究	社会共創演習Ⅰ 自由課題研究	環境デザインフィールド 実習Ⅱ 自由課題研究	環境デザインフィールド 実習Ⅱ 自由課題研究	自由課題研究	自由課題研究	中高年齢スポーツ健康 実践 自由課題研究
	4年次			インターンシップ応用 社会共創演習Ⅱ 卒業研究	社会共創演習Ⅱ 卒業研究	社会共創演習Ⅱ 卒業研究	卒業研究	卒業研究	農山漁村課題研究 卒業研究	卒業研究	卒業研究

社会共創学部時間割

…学部共通科目枠

…共通教育科目・教職科目枠

※…テレビ会議システム使用

曜日/時限/年次	第4クォーター											
	産業マネジメント学科		産業イノベーション学科			環境デザイン学科		地域資源マネジメント学科				
	産業マネジメントコース	事業創造コース	海洋生産科学コース	紙産業コース	ものづくりコース	環境サステナビリティコース	地域デザイン・防災コース	農山漁村マネジメントコース	文化資源マネジメントコース	スポーツ健康マネジメントコース		
月	1	持続可能性科学										
		課題解決思考力育成科目 佐藤										
		EL16										
		2年次								インターンシップ実践/農山漁村団体実習/法人実習/自治体実習 香月 他		
		3年次			木質高分子化学	流体力学		環境デザイン課題研究Ⅱ				スポーツプロモーション演習Ⅰ 山中
		4年次			伊藤	保田		榊原・大森・佐藤・入江・片岡・松村・二神・羽鳥・ネトラ・渡邊				法演2
	2	1年次										マルチスポーツⅠ 牛山・山中 法303
		2年次	観光経済論 米田 法101	観光経済論 米田 法101		加工学 八木 EL12			インターンシップ実践/農山漁村団体実習/法人実習/自治体実習 香月 他	地域構想論 淡野 法203	健康医学 小原 法102	
		3年次	経営工学 徐 法305	経営工学 徐 法305		経営工学 徐 法305		環境デザイン課題研究Ⅱ	榊原・大森・佐藤・入江・片岡・松村・二神・羽鳥・ネトラ・渡邊		運動学・バイオメカニクス 浅井 法403	
		4年次						各研究室				
		1年次	ミクロ経済学Ⅱ 曾我 法404	ミクロ経済学Ⅱ 曾我 法404				地域産業概論				課題解決思考力育成科目 松原 他 EL23
		2年次								インターンシップ実践/農山漁村団体実習/法人実習/自治体実習 香月 他	環境文化論 榎林 法203	身体運動論 山本直 法302
3年次	経営情報システム論Ⅱ 折戸 法101	経営情報システム論Ⅱ 折戸 法101		アナログ電子回路 岡本 EL33						スポーツ・リーダーシップ論 山中 法303		
4年次												
4	1年次	日本経済史 山口由 法305	日本経済史 山口由 法305				紙産業概論 内村・深堀・榎垣内 EL12					
	2年次	消費者行動論 広垣 法404	消費者行動論 広垣 法404					インターンシップ実践/農山漁村団体実習/法人実習/自治体実習 香月 他	観光文化論 井口 法302	スポーツ健康指導法(体づくり運動2) 牛山 法102		
	3年次	観光文化論 井口 法302	観光文化論 井口 法302							スポーツ健康生理学演習Ⅰ 浅井 法演3		
	4年次						環境デザインゼミナールⅣ 榊原・大森・佐藤・入江・片岡・松村・二神・羽鳥・ネトラ・渡邊					
	1年次	マーケティング概論 谷本 法101	マーケティング概論 谷本 法101									
	2年次								インターンシップ実践/農山漁村団体実習/法人実習/自治体実習 香月 他			
5	3年次									健康医学演習Ⅰ 小原 法演3		
	4年次						環境デザインゼミナールⅣ 榊原・大森・佐藤・入江・片岡・松村・二神・羽鳥・ネトラ・渡邊					

曜日/時限/年次	第4クォーター									
	産業マネジメント学科		産業イノベーション学科			環境デザイン学科		地域資源マネジメント学科		
	産業マネジメントコース	事業創造コース	海洋生産科学コース	紙産業コース	ものづくりコース	環境サステナビリティコース	地域デザイン・防災コース	農山漁村マネジメントコース	文化資源マネジメントコース	スポーツ健康マネジメントコース
1	1年次	プログラミング 橋 法101	プログラミング 橋 法101				環境デザイン概論 小田 EL16	都市農村交流論Ⅱ 小田 法102		
	2年次	ビジネスファイナンス 山崎 法305	ビジネスファイナンス 山崎 法305	ビジネスファイナンス 山崎 法305				インターンシップ実践/農山漁村団体実習/法人実習/自治体実習 香月 他		
	3年次									健康運動実学演習Ⅰ 山本 法演4
	4年次									
	1年次	組織デザイン論 崔 法101	組織デザイン論 崔 法101	ものづくり概論 高橋・山本智・八木 EL12		現代地球科学序論 西原・亀山 EL35	国土形成史 羽鳥・松村 EL41			
	2年次	財政学Ⅱ 三宅 法305	財政学Ⅱ 三宅 法305	組織デザイン論 崔 法101	組織デザイン論 崔 法101	機械力学 曾我部 EL15	確率・統計 畑田 EL43	インターンシップ実践/農山漁村団体実習/法人実習/自治体実習 香月 他		保健体育科教育法Ⅱ
	3年次				分析化学Ⅱ 秀野 講義室(四国中央)	組織デザイン論 崔 法101		都市の環境問題 森脇 EL45	文化遺産論演習Ⅰ 村上・楨林 法演4	スポーツ健康指導法(球技2) 福田 法203
	4年次									
	1年次	英語Ⅳ								
	2年次	観光コミュニケーション論 井口 法404	観光コミュニケーション論 井口 法404			ものづくり実習 高橋・八木・山本智 EL14	環境情報処理演習 ネトラ EL16	インターンシップ実践/農山漁村団体実習/法人実習/自治体実習 香月 他	観光コミュニケーション論 井口 法404	スポーツ健康情報処理演習 野口 法202
	3年次				工場見学Ⅰ 内村 他 講義室(四国中央)			国土整備と関連法 治多 EL23		コミュニティ・イベント演習 牛山 法402
	4年次	社会共創演習Ⅱ 西村・徐・山口由・川口・岡本直・岡本隆・曾我・ 各研究室			工場見学Ⅱ 内村 他 講義室(四国中央)					
1年次	主題探究型科目型									
2年次	地域・中小企業家論 曾我・鎌田 法101	地域・中小企業家論 曾我・鎌田 法101	地域・中小企業家論 曾我・鎌田 法101	地域・中小企業家論 曾我・鎌田 法101	ものづくり実習 高橋・八木・山本智 EL14		インターンシップ実践/農山漁村団体実習/法人実習/自治体実習 香月 他		スポーツ健康指導法(武道) 橋本 法403	
3年次				工場見学Ⅰ 内村 他 講義室(四国中央)	地域・中小企業家論 曾我・鎌田 法101				保健体育科教育法Ⅳ	
4年次				工場見学Ⅱ 内村 他 講義室(四国中央)						
1年次	簿記原理 西村 法305	簿記原理 西村 法305	簿記原理 西村 法305	簿記原理 西村 法305	簿記原理 西村 法305					
2年次	原価計算論 岡本直 法404	原価計算論 岡本直 法404	原価計算論 岡本直 法404	原価計算論 岡本直 法404	原価計算論 岡本直 法404					
3年次									教育相談論	
4年次									教職実践演習	

曜日/時限/年次	第4クォーター										
	産業マネジメント学科		産業イノベーション学科			環境デザイン学科		地域資源マネジメント学科			
	産業マネジメントコース	事業創造コース	海洋生産科学コース	紙産業コース	ものづくりコース	環境サステナビリティコース	地域デザイン・防災コース	農山漁村マネジメントコース	文化資源マネジメントコース	スポーツ健康マネジメントコース	
1	フィールド基礎実習										
	1年次 岡本隆・谷本・野澤・山本智・松村・入江・牛山・野口										
	法大										
	2年次									インターンシップ実践/農山漁村団体実習/法人実習/自治体実習 香月 他	
	4年次						環境化学 國本 EL15				
2	フィールド基礎実習										
	1年次 岡本隆・谷本・野澤・山本智・松村・入江・牛山・野口										
	法大										
	2年次									インターンシップ実践/農山漁村団体実習/法人実習/自治体実習 香月 他	保健体育科教育法II
	3年次				製紙化学 I 深堀 講義室(四国中央)		社会共創演習 I 榊原・大森・佐藤・入江・片岡・松村・二神・羽鳥・ネトラ・渡邊				
3	学問分野別科目										
	2年次					産業イノベーションセミナー II 高橋・八木・山本智			インターンシップ実践/農山漁村団体実習/法人実習/自治体実習 香月 他		
	3年次				製紙化学 I 深堀 講義室(四国中央)	ものづくりセミナー II 高橋・八木・山本智	社会共創演習 II 榊原・大森・佐藤・入江・片岡・松村・二神・羽鳥・ネトラ・渡邊				
	4年次						各研究室				
	4	1年次						化学 榊原 EL13			
2年次						産業イノベーションセミナー II 高橋・八木・山本智				教職科目	
3年次						ものづくりセミナー II 高橋・八木・山本智					
4年次							各研究室				
5		1年次									
	2年次									スポーツと教育 (リハビリ)	
	3年次										
	4年次										

曜日/時限/年次	第4クォーター										
	産業マネジメント学科		産業イノベーション学科			環境デザイン学科		地域資源マネジメント学科			
	産業マネジメントコース	事業創造コース	海洋生産科学コース	紙産業コース	ものづくりコース	環境サステナビリティコース	地域デザイン・防災コース	農山漁村マネジメントコース	文化資源マネジメントコース	スポーツ健康マネジメントコース	
1	持続可能性科学										
	課題解決思考力育成科目 佐藤										
	EL16										
	2年次								インターンシップ実践/農山漁村団体実習/法人実習/自治体実習	身体運動論	山本直
	3年次				科学英語Ⅱ			環境デザイン課題研究Ⅱ			法302
2	1年次	社会力入門									
	2年次	観光経済論	観光経済論			加工学			インターンシップ実践/農山漁村団体実習/法人実習/自治体実習	地域構想論	道徳教育指導論
		米田	米田			八木			香月 他	法203	
		法101	法101			EL12					
	3年次	経営工学	経営工学			経営工学		環境デザイン課題研究Ⅱ			スポーツ健康情報マネジメント演習Ⅰ
	徐	徐			徐		榊原・大森・佐藤・入江・片岡・松村・二神・羽鳥・ネトラ・渡邊			野口	
	法305	法305			法305		各研究室			法演5	
4年次				科学英語Ⅳ							
				深堀							
				講義室(四国中央)							
3	1年次	ミクロ経済学Ⅱ	ミクロ経済学Ⅱ	地域産業概論							
		曾我	曾我	課題解決思考力育成科目 松原 他							
		法404	法404	EL23							
	2年次									環境文化論	スポーツと教育
										榎林	法203
3年次	経営情報システム論Ⅱ	経営情報システム論Ⅱ								スポーツ・リーダーシップ論	
	折戸	折戸								山中	
	法101	法101								法303	
4年次											
4	1年次	日本経済史	日本経済史	紙産業概論							マルチスポーツⅠ
		山口由	山口由	内村・深堀・榎垣内							牛山・山中
		法305	法305	EL12							法303
	2年次	消費者行動論	消費者行動論							インターンシップ実践/農山漁村団体実習/法人実習/自治体実習	観光文化論
		広垣	広垣							香月 他	井口
	法404	法404								法302	
3年次	観光文化論	観光文化論	産業イノベーションセミナーⅠ								
	井口	井口	松原 他								
	法302	法302	各研究室								
4年次							環境デザインゼミナールⅣ				
							榊原・大森・佐藤・入江・片岡・松村・二神・羽鳥・ネトラ・渡邊				
							各研究室				
5	1年次	マーケティング概論	マーケティング概論								
		谷本	谷本								
		法101	法101								
	2年次									リハビリ	
										(スポーツと教育)	
3年次			産業イノベーションセミナーⅠ								
			松原 他								
			各研究室								
4年次							環境デザインゼミナールⅣ				
							榊原・大森・佐藤・入江・片岡・松村・二神・羽鳥・ネトラ・渡邊				
							各研究室				

曜日/時限/年次	第4クォーター										
	産業マネジメント学科		産業イノベーション学科			環境デザイン学科		地域資源マネジメント学科			
	産業マネジメントコース	事業創造コース	海洋生産科学コース	紙産業コース	ものづくりコース	環境サステナビリティコース	地域デザイン・防災コース	農山漁村マネジメントコース	文化資源マネジメントコース	スポーツ健康マネジメントコース	
1	1年次	プログラミング 橋 法101	プログラミング 橋 法101				環境デザイン概論 EL16	農山漁村生活技術 香月 他			
	2年次	ビジネスファイナンス 山崎 法305	ビジネスファイナンス 山崎 法305	ビジネスファイナンス 山崎 法305				インターンシップ実践/農山漁村団体実習/法人実習/自治体実習 香月 他			
	3年次			水圏動物生理学 三浦 猛 講義室(西浦)	製紙化学工学 藪谷 講義室(四国中央)					地域スポーツ演習 I 山中 法304	
	4年次									地域スポーツ演習 II 牛山 法403	
	1年次	組織デザイン論 崔 法101	組織デザイン論 崔 法101	ものづくり概論 高橋・山本智・八木 EL12			現代地球科学序論 西原・亀山 EL35	国土形成史 羽鳥・松村 EL41	農山漁村生活技術 香月 他 法演8		
	2年次	財政学II 三宅 法305	財政学II 三宅 法305	組織デザイン論 崔 法101	組織デザイン論 崔 法101			確率・統計 畑田 EL43	インターンシップ実践/農山漁村団体実習/法人実習/自治体実習 香月 他 法演4	文化遺産論演習 I 村上・楳林	スポーツ健康指導法(体づくり運動2) 牛山 法102
	3年次			水圏動物生理学 三浦 講義室(西浦)	製紙化学工学 藪谷 講義室(四国中央)	組織デザイン論 崔 法101		都市の環境問題 森脇 EL45			
	4年次										
	2年次	観光コミュニケーション論 井口 法404	観光コミュニケーション論 井口 法404				環境情報処理演習 ネトラ EL16	インターンシップ実践/農山漁村団体実習/法人実習/自治体実習 香月 他	観光コミュニケーション論 井口 法404	スポーツ健康情報処理演習 野口 法202	
	3年次				分析化学II 秀野 講義室(四国中央)	電気電子計測 神野 EL45		国土整備と関連法 治多 EL23		コミュニティ・イベント演習 牛山 法402	
	4年次	卒業研究 西村・徐・山口由・川口・岡本直・岡本隆・曾我・崔・谷本・折戸・藤川・山口信・広垣・園各研究室									
	4	1年次	英語IV								
2年次		社会調査II 岡本隆・徐・山口信・野澤・橋 法101								教職科目	
3年次				産業イノベーションセミナーI 内村 他 各研究室						スポーツ健康指導法(器械運動) 糸岡 法203	
4年次				紙産業セミナーII 内村 他 各研究室							
5	1年次	簿記原理 西村 法305	簿記原理 西村 法305	簿記原理 西村 法305	簿記原理 西村 法305	簿記原理 西村 法305					
	2年次	原価計算論 岡本直 法404	原価計算論 岡本直 法404	原価計算論 岡本直 法404	原価計算論 岡本直 法404	原価計算論 岡本直 法404					
	3年次			産業イノベーションセミナーI 内村 他 各研究						スポーツ教育学演習 I 牛山 法演2	
	4年次										
集中講義等	1年次	基礎データ処理	基礎データ処理								
	2年次							地域資源融合実習 I 地域資源融合実習 II	地域資源融合実習 I 地域資源融合実習 II	インターンシップ実践 地域資源融合実習 I 地域資源融合実習 II	
	3年次	管理会計論 ビジネスプランニング インターンシップ実践 自由課題研究	管理会計論 ビジネスプランニング インターンシップ実践 自由課題研究	インターンシップ実践 水産農生学 社会共創演習 I 自由課題研究	紙産業基礎演習 インターンシップ実践 インターンシップ応用 社会共創演習 I 自由課題研究	社会共創演習 I 自由課題研究	自由課題研究	自由課題研究	社会共創演習 I 自由課題研究	社会共創演習 I 自由課題研究	社会共創演習 I 自由課題研究
	4年次			インターンシップ応用 社会共創演習 II 卒業研究	社会共創演習 II 卒業研究	インターンシップ応用 社会共創演習 II 卒業研究	卒業研究	卒業研究	農山漁村課題研究 社会共創演習 II 卒業研究	社会共創演習 II 卒業研究	社会共創演習 II 卒業研究

フィールド基礎実習フィールド
ドリスト

資料23

フィードバック基礎実習フェイールドリスト

産業	
東予	アサヒビール四国工場 繊維産業技術センター 紙産業技術センター 日本食研 食文化博物館 タオル美術館ICHIIHIRO 四国タオル工業組合 四国コカ・コーラボトリング株式会社 小松第2工場 マインピリア別子 伯方塩業株式会社 アテックス ヒカリ いうら シブヤ精機 窯業技術センター 農業指導センター 愛媛県産業技術研究所 ヤマキ株式会社 砥部焼観光センター 炎の里(えんのさと) 砥部焼陶芸館 井関農機株式会社 民芸伊予かすり会館 アイテムえひめ 愛媛県農林水産研究所水産研究センター 伊方ビクターズハウス 株式会社 あわしま堂 株式会社 谷本鉢店 製造体験工場「できるん」 森の国ガラス工房「風音(かざね)」
中予	
南予	

自然環境	
東予	愛媛県総合科学博物館 さいさいきて屋 周ちやん広場 かわら館 面河山岳博物館 石手川ダム管理所 松山総合公園都市環境学習センター とべ動物園 松山市防災センター 松山市下水浄化センター 松山市水道資料館
中予	
南予	八幡浜みなと フレッシュパークからり 道の駅 みなとオアシスうわじまきさいや広場 松野おさかな館

資料23

文化・歴史	
中予	松山市立子規記念博物館 松山市埋蔵文化センター・考古館 愛媛県美術館 坂の上の雲ミュージアム 萬翠荘 野球歴史資料館の・ボールミュージアム 伊丹十三記念館 一草庵 庚申庵史跡庭園 町立久万美術館 興居島 高島華胄大正ロマン館 四国八十八カ所 松山空港 JR松山駅 内子座
南予	

観光・スポーツ	
中予	道後温泉 松山城 三津の渡し 石手寺 ニンジニアスタジアム 坊っちゃんスタジアム 松山市コミュニティセンター(体育館、プール) 松山市中央公園プール・アクアパレット松山 イヨテツスポーツセンター レインボーハイランド(松山市野外活動センター) JA愛媛厚生連 枝ノ淵公園
南予	

**フィールド基礎実習行程・
行動計画書**

資料24

フィールド基礎実習行程・行動計画書

資料24

	前半		後半	
	第1訪問領域	第2訪問領域	第3訪問領域	第4訪問領域
I 訪問区分	文化・歴史	自然環境	産業	観光スポーツ
II 訪問方法	移動方法等	所要時間	訪問手続き	チームの役割
①子規博物館 (〇月〇日)	市内電車・徒歩	片道 20分	入場料(有・無)	担当者①:
	集合時間:	視察 60分	開館時間 ~	担当者②:
	集合方法:		注意事項	担当者③:
				担当者④:
②とべ動物園 (〇月〇日)	市内バス	片道 50分	確認予約(有・無)	担当者⑤:
	集合時間:	視察 120分	入場料(有・無)	担当者⑥:
	集合方法:		開館時間 ~	担当者①:
			注意事項	担当者②:
③民芸伊予かすり会館 (〇月〇日)	市内バス・徒歩	片道 40分	確認予約(有・無)	担当者③:
	集合時間:	視察 90分	入場料(有・無)	担当者④:
	集合方法:		開館時間 ~	担当者⑤:
			注意事項	担当者⑥:
④松山市コミュニティセンター (〇月〇日)	市内電車	片道 30分	確認予約(有・無)	担当者①:
	集合時間:	視察 60分	入場料(有・無)	担当者②:
	集合方法:		開館時間 ~	担当者③:
			注意事項	担当者④:
				担当者⑤:
				担当者⑥:
Ⅲ計画についての教員からのアドバイスと視察訪問への改善点				

※学習計画、活動記録等は、学修ポートフォリオにより作成する。

フィールド基礎実習実施要領

資料25

フィールド基礎実習実施要領

資料25

授業科目名	フィールド基礎実習	受講定員	180人
授業担当者	専任教員6人	各自	
実習先	愛媛県下の一般公開、開放されている施設	移動方法	
		移動時間	—

開講回	授業計画	場所 (学内・学外)	授業支援者	食事・宿泊先等 に係る事項
第1回	<ul style="list-style-type: none"> 「人・地域社会・自然環境」とふれあうためのアクティブ・ラーニングの説明を行う。 行程計画書、行動計画書の作成方法を説明する。 チーム分けをする(1チーム6人とし、他学科の学生同士の組み合わせるように配慮する。教員一人当たり5チームを担当する)。 	学内		
第2回	<ul style="list-style-type: none"> 「産業」「自然環境」「文化・歴史」「観光・スポーツ」の分野の各フィールドについて説明を行う。 チームでフィールドを選択する(4分野から1フィールドずつ計4フィールド)。 文献やインターネットなどを用いて前半のフィールドの情報を収集する。 フィールド(前半2箇所)の行程計画書、行動計画書の作成を行う。教員はアドバイザーとして各チームへの支援を行い、行程・行動計画書の安全性、実効性を精査する。 	学内		
第3～4回	<ul style="list-style-type: none"> 前半のフィールドの訪問日程をチーム間で調整する。 同一のフィールドを訪問するチームで行程を学生が調整し、訪問日程が分散しないように配慮する。 チームで、行程・行動計画書にもとづいてフィールドワークを行い、データを収集する。 アクティビティはe-Learning (Moodle) 及びアクティビティ・ログにより担当教員がチェックする。 	学内 学外	各施設担当者	旅費: 学生が自己負担 訪問日程は必ずしも所定の授業時間ではなく、時間外も使う。
第5～6回	<ul style="list-style-type: none"> 収集した記録にもとづいて、フィールドの現状、課題を定量的、定性的に理解し、フィールド報告の発表資料を作成する。 	学内		
第7回	<ul style="list-style-type: none"> 前半のフィールドワークを振り返り、反省点や改善点をチームでディスカッションする。 	学内		
第8回	<ul style="list-style-type: none"> 文献やインターネットなどを用いて後半のフィールドの情報を収集する。 フィールド(後半2箇所)の行程計画書、行動計画書の作成を行う。教員はアドバイザーとして各チームへの支援を行い、行程・行動計画書の安全性、実効性を精査する。 	学内		
第9～10回	<ul style="list-style-type: none"> 後半のフィールドの訪問日程をチーム間で調整する。 チームで、行程・行動計画書にもとづいてフィールドワークを行い、データを収集する。 アクティビティはe-Learning (Moodle) 及びアクティビティ・ログにより担当教員がチェックする。 	学内 学外	各施設担当者	旅費: 学生が自己負担 訪問日程は必ずしも所定の授業時間ではなく、時間外も使う。
第11～12回	<ul style="list-style-type: none"> 収集した記録にもとづいて、フィールドの現状、課題を定量的、定性的に理解し、フィールド報告の発表資料を作成する。 	学内		
第13回		学内		
第14回	<ul style="list-style-type: none"> アクティブ・ラーニングから得た課題に関して解決に向けた方策ついてディスカッションし、課題の在り処を明確化する。教員はディスカッションをアドバイザーとして支援する。 学修ポートフォリオを完成させ、チームで振り返りと総括を行う。 	学内		

フィールド実習実施要領

資料26

フイールド実習実施要領（道後）

資料26

授業科目名	フイールド実習	認定定員	48人
授業担当	専任教員2人、松山市職員1人(実習時等)	松山市役所道後温泉旅協同組合、道後温泉旅協同組合、道後温泉旅協同組合、道後温泉旅協同組合(実習時)	
実習先	松山市道後地区	移動方法	徒歩・自転車
		移動時間	30分

開講回	授業計画	場所 (学内・学外)	授業支援者	食事・宿泊先等 に係る事項
第1回	<p>授業の概要を説明する。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> チーム分けをする(1チーム6人とする)。 ブレーストーミングにてメンバーの地区に対する問題意識や疑問など意見を出し合い、KJ法を用いて構造化する。(1) 昼食 愛媛大学から道後地区へ移動(0.5) 道後地区にてチームでまちあるきを行う(写真撮影や気づいたことなどをメモする)。(1.5) 道後地区から愛媛大学へ移動(0.5) まちあるきで撮影した写真やメモなどをチーム内で共有する。(1.5) 	学内 学外	-	
第2回	<ul style="list-style-type: none"> 愛媛大学から道後地区へ移動(0.5) 道後地区にて道後温泉誇れるまちづくり推進協議会、道後温泉旅協同組合にこれまでの取り組みや問題意識をヒアリング(1.5) 昼食 道後公民館にて松山市役所道後温泉事務所、道後商店街振興組合にこれまでの取り組みや問題意識をヒアリング(1.5) 道後地区から愛媛大学へ移動(0.5) ヒアリングをしながらとったメモをもとにチーム内で問題意識や課題を共有する。(1) 	学外 学内	道後温泉誇れるまちづくり推進協議会 道後商店街振興組合 道後温泉旅協同組合 松山市役所道後温泉事務所	
第3回	<ul style="list-style-type: none"> ブレーストーミングで当初の問題意識、現地のまちあるき、まちづくり団体のヒアリングなどを踏まえて、地域の課題や強みをチーム内で共有し、興味の対象を絞り込む(たとえば、観光客のバリアフリーなど)。(2) チームで調査対象や項目、方法について検討する(たとえば、観光客について入り込み客数の変化、属性を松山市統計書や実測調査にて計測。道後地区の全旅館について外国人向け対応をヒアリング調査や観察調査など)。(3) 昼食 	学内		
第4回	<ul style="list-style-type: none"> 愛媛大学から道後地区へ移動。(0.5) チームの調査対象、項目に応じて、道後地区にて観測調査、ヒアリング調査等を行う。(3) 道後地区から愛媛大学へ移動。(0.5) 昼食 調査結果をまとめる。(1) 	学外 学内	道後温泉誇れるまちづくり推進協議会 道後商店街振興組合 道後温泉旅協同組合 松山市役所道後温泉事務所など	
第5回	<ul style="list-style-type: none"> 調査結果を持ち寄って、調査から明らかになったこと、追加的な調査について話し合う(たとえば、先進的な観光地のバリアフリーの取り組み事例調査など)。(2) 昼食 追加調査の調査対象や項目、方法について検討する。(2) 	学内		
第6回	<ul style="list-style-type: none"> 愛媛大学から道後地区へ移動。(0.5) チームの調査対象、項目に応じて、道後地区にて観測調査、ヒアリング調査等を行う。(3) 昼食 道後地区から愛媛大学へ移動。(0.5) 調査結果をまとめる。(1) 	学外 学内	道後温泉誇れるまちづくり推進協議会 道後商店街振興組合 道後温泉旅協同組合 松山市役所道後温泉事務所など	
第7回	<ul style="list-style-type: none"> 道後地区での発表会のための発表資料を作成する。(5) 	学内		
第8回	<ul style="list-style-type: none"> 愛媛大学から道後地区へ移動。(0.5) 道後地区で地区のステークホルダーを招いて発表、ディスカッションを行う。発表の際には、学生相互に発表内容を評価し合うとともにコメントをつける。(2) 昼食をとりながら地域のステークホルダーと懇談(1)。 道後地区から愛媛大学へ移動。(0.5) チームで発表会の振り返りを行う。チームで報告書のとりまとめ方針を議論し、作業を分担する。(1) 	学内 学外 学内	道後温泉誇れるまちづくり推進協議会 道後商店街振興組合 道後温泉旅協同組合 松山市役所道後温泉事務所 道後地区住民自治会など	発表場所：道後公民館(無料) 昼食(学生負担弁当手配)
第9回	<ul style="list-style-type: none"> 報告書のとりまとめ作業を行う。(5)(たとえば、文書の報告書とともに「人によさしい、人がやさしい道後温泉～バリアフリーマップ～」の作成など) 	学内		

フィールドワーク受入れ先 一覧

資料27

フィールドワーク受入れ先一覧

資料27

No.	実習先	住所	授業科目および受入人数(人)					担当学科(コース)
			フィールド実習	プロジェクト基礎演習	プロジェクト実践演習	プロジェクト応用演習	課題学習/フィールド実習/上級課題学習/フィールド実習	
1	四国中央市	愛媛県四国中央市三島宮川4丁目6番55号	50					学部共通
2	西条市	愛媛県西条市明屋敷164番地	45	20	20	20	20	学部共通 産業マネジメント
3	株式会社いよぎん地域経済研究センター	愛媛県松山市三番町5丁目10番地1		20	20	20	20	産業マネジメント
4	松山商工会議所	愛媛県松山市大手町2丁目5番地7		20	20	20	20	産業マネジメント
5	一般社団法人えひめ若年人材育成推進機構	愛媛県松山市湊町三丁目4番地6		20	20	20	20	産業マネジメント
6	一般社団法人愛媛ニュービジネス協議会	愛媛県松山市一番町1丁目1-1		20	20	20	20	産業マネジメント
7	愛媛県農林水産研究所水産研究センター	愛媛県宇和島市下波5-5-16		10	5	5	5	海洋生産科学
8	愛南町	愛媛県南宇和郡愛南町新中2420番地		10	5	5	5	海洋生産科学
9	愛媛県産業技術研究所紙産業技術センター	愛媛県南宇和郡愛南町家串1268-2		5	5	5	5	紙産業
10	サンタ株式会社	愛媛県伊予郡松前町大字北川原字塩屋西12050-1	6	3	3	3	3	ものづくり
11	(株)新来島どつく 大西工場	愛媛県今治市大西町新町945番地		1	1	1	1	ものづくり
12	摂陽明正(株)	愛媛県伊予郡砥部町八倉108-1	6	2	2	2	2	ものづくり
13	マルマストリグ(株)松山本社	愛媛県松山市間屋町3-6	6	2	2	2	2	ものづくり
14	浅川造船株式会社	愛媛県今治市小淵町2丁目4番39号	6	2	2	2	2	ものづくり
15	(株)ユタカ	愛媛県松山市西垣生町822-2		1	1	1	1	ものづくり
16	株式会社松山機工工業	愛媛県松山市堀江町163番地		1	1	1	1	ものづくり
17	西予市企画調整課 ジオパーク推進室	愛媛県西予市和町卯之町三丁目434番地1		15	15	15	15	環境サステナビリティ
18	室戸市・室戸ジオパーク推進協議会	高知県室戸市浮津25番地1					35	環境サステナビリティ
19	西予市・室戸ジオパーク推進協議会	愛媛県西条市中真1号25番地1		15	15	15	15	環境サステナビリティ
20	松山市総合政策部企画政策課	愛媛県松山市湊町3丁目7番地12	50	15	15	15	15	学部共通 環境サステナビリティ 地域デザイン・防災(各15)
	松山市総合政策部坂の上の雲まちづくりチーム	愛媛県松山市二番町4丁目7-2		15	15	15	15	文化資源マネジメント
	松山市産業経済部文化・スポーツ振興課	愛媛県松山市湊町3丁目7番地12		2	2	2	2	スポーツ健康マネジメント
	松山市産業経済部総務課	愛媛県松山市市坪西796-6		3	3	3	3	スポーツ健康マネジメント
21	西予市企画調整課	愛媛県西予市和町卯之町三丁目434番地1	45	15	15	15	15	学部共通 鹿山漁村マネジメント
	(高川地味づくり会) (かりとりもさくの会)							
22	内子町教育委員会	愛媛県喜多郡内子町内子1515番地	45	20	10	10	10	学部共通 文化資源マネジメント
23	上島町教育委員会	愛媛県越智郡上島町弓削内子島583番地	45	20	15	15	15	学部共通 文化資源マネジメント
24	社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団	愛媛県松山市道後町2-12-11		6	6	6	6	文化資源マネジメント
25	ほほえみ工房ぱれっと道後	愛媛県松山市道後町2-12-10		6	6	6	6	スポーツ健康マネジメント
26	愛媛県企画振興部地域振興局文化・スポーツ振興課	愛媛県松山市一番町4-4-2		6	6	6	6	スポーツ健康マネジメント
27	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団	愛媛県松山市湊町7丁目5番地		20	20	20	20	スポーツ健康マネジメント
28	愛媛大学総合型地域スポーツクラブ	愛媛県松山市文京町3番		20	20	20	20	スポーツ健康マネジメント
29	NP0法人今治しまなみスポーツクラブ	愛媛県今治市松本町1丁目1番地9 MIビル3E		6	6	6	6	スポーツ健康マネジメント
30	公益財団法人松山市シルバニア人材センター	愛媛県松山市若草町8番地3		20	20	20	20	スポーツ健康マネジメント
31	NP0法人おおすスポーツクラブ	愛媛県大洲市常盤町70番地		6	6	6	6	スポーツ健康マネジメント
32	(株)愛媛FC	愛媛県松山市稲荷寺町230		6	6	6	6	スポーツ健康マネジメント
33	愛媛県民球団株式会社(愛媛マンダリンパイレーツ)	愛媛県松山市石井6-12-36		6	6	6	6	スポーツ健康マネジメント
			310	100	100	100	100	産業マネジメント
				20	10	10	10	海洋生産科学
				5	5	5	5	紙産業
				10	10	10	10	ものづくり
				30	30	30	30	35環境サステナビリティ
				15	15	15	15	地域デザイン・防災
				55	40	40	40	鹿山漁村マネジメント
				20	107	107	107	文化資源マネジメント
				210	332	332	332	スポーツ健康マネジメント
	合計		310	210	332	332	332	35

履修コース別合計

プロジェクト演習実施要領

資料28

プロジェクト演習実施要領

(産業マネジメント学科：産業マネジメントコース、事業創造コース)

授業科目名	プロジェクト基礎演習	受講定員	70人		
授業担当者	専任教員14人	開講時期	2年次・第3Q		
実習先	松山市	移動方法	徒歩・自転車・公共交通機関	移動時間	30分

開講回	授業計画	場所	授業支援者	食事・宿泊先に係わる事項
1	ガイダンス 授業の概要を説明する(1) 過去のプロジェクトを概観する(1)	学内		
2	指導教員の専門領域に基づいた事前学習 1 各教員の専門領域についての講義や文献輪読を行う(2)	学内		
3	指導教員の専門領域に基づいた事前学習 2 各教員の専門領域についての講義や文献輪読を行う(2)	学内		
4	指導教員の専門領域に基づいた事前学習 3 各教員が過去に携わったプロジェクトや調査について学ぶ(2)	学内		
5	地域の現状の把握 1 地域ステークホルダーを訪問，あるいは関係者をゲストスピーカーとして招き，地域の現状を把握する(2) (所定の授業時間以外にも地域ステークホルダーの主催するセミナーなどに参加し，地域の抱える課題などの理解に努める．参加時のメモをもとにチーム内で情報共有を行う)	学外・学内	いよぎん地域経済研究センター，松山商工会議所，えひめ若年人材育成推進機構，愛媛ニュービジネス協議会	交通費：自己負担
6	地域の現状の把握 2 地域ステークホルダーを訪問，あるいは関係者をゲストスピーカーとして招き，地域の現状を把握する(2) (所定の授業時間以外にも地域ステークホルダーの主催するセミナーなどに参加し，地域の抱える課題などの理解に努める．参加時のメモをもとにチーム内で情報共有を行う)	学外・学内	いよぎん地域経済研究センター，松山商工会議所，えひめ若年人材育成推進機構，愛媛ニュービジネス協議会	交通費：自己負担
7	プロジェクト企画案の内部プレゼンテーション これまでの事前学習を元に，各自でプロジェクト企画案を作成し，チーム内でプレゼンテーションを行う(2)	学内		
8	プロジェクト企画の選定 各企画案に関する資料分析を行った上で各企画案を比較し，プロジェクト企画を決定する	学内		
9	プロジェクト企画についての事前調査の設計 プロジェクト企画の意義や実現可能性を検討するための事前調査を設計する(2)	学内		
10	プロジェクト企画についての事前調査の実施 1 プロジェクト企画に関するステークホルダーや関係者を訪問し，意義や実現可能性についての調査を行う．また，プロジェクト企画の性質によっては学内外で質問票調査を実施する(2) (必要に応じて所定の時間外にも調査を行う)	学外・学内	いよぎん地域経済研究センター，松山商工会議所，えひめ若年人材育成推進機構，愛媛ニュービジネス協議会	交通費：自己負担

11	プロジェクト企画についての事前調査の実施② プロジェクト企画に関するステークホルダーや関係者を訪問し、意義や実現可能性についての調査を行う。また、プロジェクト企画の性質によっては学内外で質問票調査を実施する(2) (必要に応じて所定の時間外にも調査を行う)	学外 ・学内	いよぎん地域経済研究センター、松山商工会議所、えひめ若年人材育成推進機構、愛媛ニュービジネス協議会	交通費:自己負担
12	プロジェクト企画についての事前調査の分析 事前調査の結果を元に、プロジェクト企画の意義や実現可能性について分析する(2)	学内		
13	プロジェクト企画についての検討 分析結果に基づいて、プロジェクト企画の修正・精緻化を行う(2)	学内		
14	プレゼンテーション資料の作成 プレゼンテーション会で用いる資料および企画書を作成する(2)	学内		
15	地域ステークホルダーに対するプレゼンテーション会(企画提案) 地域ステークホルダーの前でプロジェクト企画について発表し、ステークホルダーからフィードバックを受ける。また、学生相互に発表内容を評価し合うと共にコメントを付ける(4)	学内	いよぎん地域経済研究センター、松山商工会議所、えひめ若年人材育成推進機構、愛媛ニュービジネス協議会	発表場所:学内
16	・学内にて他のフィールドでのプロジェクト企画案の発表をポスターセッションで行う。ポスターセッションには3年次生も参加し、3年次生の実践事例を次年度の参考とする。	学内		

※なお、関係するステークホルダーとの調整の結果、これらのスケジュールおよび内容は変更されることがある。また、プロジェクトの実施や調査は正規の授業時間外にも随時行う。

プロジェクト演習実施要領

(産業マネジメント学科：産業マネジメントコース、事業創造コース)

授業科目名	プロジェクト実践演習		受講定員	70人	
授業担当者	専任教員14人		開講時期	3年次・第2Q	
実習先	松山市	移動方法	徒歩・自転車・公共交通機関	移動時間	30分

開講回	授業計画	場所	授業支援者	食事・宿泊先に係わる事項
1	ガイダンス 授業の概要を説明する(1) マッチング結果に基づいて各プロジェクトを確定する(1)	学内		
2	プロジェクトについての事前調査1 確定したプロジェクト内容についての資料分析などを行う(2)	学内		
3	プロジェクトについての事前調査2 資料分析などの結果に基づいて、プロジェクト協力者への質問内容を検討する(2)	学内		
4	地域ステークホルダー（プロジェクト協力者）の訪問・調査1 プロジェクト協力者を訪問し、プロジェクトに関する質問・視察などを行う(2) (必要に応じて所定の時間外にも調査を行う)	学外	いよぎん地域経済研究センター，松山商工会議所，えひめ若年人材育成推進機構，愛媛ニュービジネス協議会	交通費：自己負担
5	地域ステークホルダー（プロジェクト協力者）の訪問・調査2 プロジェクト協力者を訪問し、プロジェクトに関する質問・視察などを行う(2) (必要に応じて所定の時間外にも調査を行う)	学外	いよぎん地域経済研究センター，松山商工会議所，えひめ若年人材育成推進機構，愛媛ニュービジネス協議会	交通費：自己負担
6	課題の把握と問題構造の分析1 訪問調査の結果に基づき、プロジェクト協力者の直面している課題を明確化する(2)	学内		
7	課題の把握と問題構造の分析2 課題の背後にある問題構造についてのディスカッションを行い、課題解決のための仮説を構築する(2)	学内		
8	プロジェクトについての計画とスケジュールの策定 プロジェクトのゴール（最終目標および段階的な目標）を設定し、そのために必要な計画とスケジュールについて検討する(2)	学内		
9	プロジェクトについての調査の設計 プロジェクトのゴールを達成するために必要となるエビデンスを仮定し、それらを得るための方法を設計する(2)	学内		
10	プロジェクトについての調査の実施1 必要なエビデンスを得るために各種の調査（ヒアリング，質問票，視察など）を行う(2) (必要に応じて所定の時間外にも調査を行う)	学外	いよぎん地域経済研究センター，松山商工会議所，えひめ若年人材育成推進機構，愛媛ニュービジネス協議会	交通費：自己負担

11	プロジェクトについての調査の実施 2 必要なエビデンスを得るために各種の調査（ヒアリング，質問票，視察など）を行う(2) (必要に応じて所定の時間外にも調査を行う)	学外・学内	いよぎん地域経済研究センター，松山商工会議所，えひめ若年人材育成推進機構，愛媛ニュービジネス協議会	交通費：自己負担
12	プロジェクトについての調査の分析 1 課題解決のための仮説に基づいて調査結果を分析する(2)	学内		
13	プロジェクトについての調査の分析 2 調査の分析結果に基づいて課題解決のための仮説を再検討する(2)	学内		
14	プレゼンテーション資料の作成 プレゼンテーション会で用いる資料および中間報告書を作成する(2)	学内		
15	地域ステークホルダーに対するプレゼンテーション会（中間報告） 地域ステークホルダーの前でプロジェクトについての中間報告を行い，ステークホルダーおよびプロジェクト協力者からフィードバックを受ける。また，学生相互に発表内容を評価し合うと共にコメントを付ける(4)	学内	いよぎん地域経済研究センター，松山商工会議所，えひめ若年人材育成推進機構，愛媛ニュービジネス協議会	発表場所：学内

※なお，関係するステークホルダーとの調整の結果，これらのスケジュールおよび内容は変更されることがある。また，プロジェクトの実施や調査は正規の授業時間外にも随時行う。

プロジェクト演習実施要領

(産業マネジメント学科：産業マネジメントコース、事業創造コース)

授業科目名	プロジェクト応用演習	受講定員	70人
授業担当者	専任教員 14人	開講時期	3年次・第3Q
実習先	松山市	移動方法	徒歩・自転車・公共交通機関
		移動時間	30分

開講回	授業計画	場所	授業支援者	食事・宿泊先に係わる事項
1	ガイダンス 授業の概要を説明する(1) 中間報告のフィードバックについての振り返りを行う(1)	学内		
2	課題の問題構造の再検討1 前期の活動成果および中間報告のフィードバックに基づいて課題の問題構造を再検討する(2)	学内		
3	課題の問題構造の再検討2 問題構造の再検討結果に基づいて、課題解決のための仮説を修正・拡張する(2)	学内		
4	プロジェクトについての計画とスケジュールの修正 プロジェクトのゴール(最終目標および段階的な目標)を再設定し、計画とスケジュールの再検討を行う(2)	学内		
5	プロジェクトについての追加調査の設計1 修正・拡張した仮説に基づいて、ゴール達成のために必要なエビデンスを得るための方法を設計する(2)	学内		
6	プロジェクトについての追加調査の設計2 調査計画の詳細を決定すると共に、計画通りの結果が得られない場合の予備計画についても検討する(2)	学内		
7	プロジェクトについての追加調査の実施1 必要なエビデンスを得るために各種の調査(ヒアリング、質問票、視察、資料分析など)を行う(2) (必要に応じて所定の時間外にも調査を行う)	学外・学内	いよぎん地域経済研究センター、松山商工会議所、えひめ若年人材育成推進機構、愛媛ニュービジネス協議会	交通費：自己負担
8	プロジェクトについての追加調査の実施2 必要なエビデンスを得るために各種の調査(ヒアリング、質問票、視察、資料分析など)を行う(2) (必要に応じて所定の時間外にも調査を行う)	学外・学内	いよぎん地域経済研究センター、松山商工会議所、えひめ若年人材育成推進機構、愛媛ニュービジネス協議会	交通費：自己負担
9	プロジェクトについての追加調査の実施3 必要なエビデンスを得るために各種の調査(ヒアリング、質問票、視察、資料分析など)を行う(2) (必要に応じて所定の時間外にも調査を行う)	学外・学内	いよぎん地域経済研究センター、松山商工会議所、えひめ若年人材育成推進機構、愛媛ニュービジネス協議会	交通費：自己負担
10	プロジェクトについての追加調査の分析1 課題解決のための仮説に基づいて調査結果を分析する(2)	学内		

11	プロジェクトについての追加調査の分析 2 課題解決のための仮説に基づいて調査結果を分析する(2)	学内		
12	プロジェクト成果としての提案の検討 1 これまでの活動結果に基づいて、プロジェクトの最終的な成果となる提案について検討する(2)	学内		
13	プロジェクト成果としての提案の検討 2 これまでの活動結果に基づいて、プロジェクトの最終的な成果となる提案について検討する(2)	学内		
14	プレゼンテーション資料の作成 プレゼンテーション会で用いる資料および最終報告書を作成する(2)	学内		
15	地域ステークホルダーに対するプレゼンテーション会（最終報告） 地域ステークホルダーの前でプロジェクトについての最終報告を行い、ステークホルダーおよびプロジェクト協力者からフィードバックを受ける。また、学生相互に発表内容を評価し合うと共にコメントを付ける(4)	学内	いよぎん地域経済研究センター、松山商工会議所、えひめ若年人材育成推進機構、愛媛ニュービジネス協議会	発表場所：学内
16	・学内にて他のフィールドでのプロジェクト成果の発表をポスターセッションで行う。	学内		

※なお、関係するステークホルダーとの調整の結果、これらのスケジュールおよび内容は変更されることがある。また、プロジェクトの実施や調査は正規の授業時間外にも随時行う。

プロジェクト演習実施要領
 (産業イノベーション学科：海洋生産科学コース)

授業科目名	プロジェクト基礎演習		受講定員	10人	
授業担当者	専任教員2人		開講時期	2年次・第3Q	
実習先	南予地区	移動方法	共用車	移動時間	2時間

開講回	授業計画	場所	授業支援者	食事・宿泊先に係わる事項
1	<p>プロジェクト実習の概要と事前調査 (4コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> プロジェクト演習の概要説明 高年次学生のプロジェクト演習報告 グループワーク 受入予定企業の事前調査 調査内容の発表 	学内 (松山)	高年次学生	昼食(学生自己負担)
2	<p>南予フィールドの見学と情報収集1 (4コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 松山から宇和島・愛南へ移動(バス・南予水産研究センター保有の共用車などで移動) 愛媛県水産研究センターまたは愛南町海洋資源開発センターの概要説明、施設見学 昼食 受入企業の説明および見学を通して課題探索 宇和島・愛南から松山へ移動(バス・南予水産研究センター保有の共用車などで移動) 	学内・学外 (愛南)	愛媛県農林水産研究所水産研究センター、 愛南町海洋資源開発センター 高年次学生	昼食(学生自己負担)
3	<p>情報収集2 (4コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 松山から宇和島・愛南へ移動(バス・南予水産研究センター保有の共用車などで移動) 3年生の取組み事例の紹介、質疑応答 昼食 対象とする課題の分野を仮決定、必要な情報を抽出する 宇和島・愛南から松山へ移動(バス・南予水産研究センター保有の共用車などで移動) 	学内・学外 (愛南)	高年次学生 愛媛県農林水産研究所水産研究センター、 愛南町海洋資源開発センター	昼食(学生自己負担)
4	<p>情報収集3、課題の仮設定 (3コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 松山から宇和島・愛南へ移動(バス・南予水産研究センター保有の共用車などで移動) 課題の背景・目的および現状把握を明確にするために、詳細な情報収集・分析を実施するために調査方法(ヒアリング、アンケート等)および調査項目を設定する。 昼食 課題に関して、漁業関係者や公設試験場研究員、高年次学生に対するヒアリングや、文献などによる情報収集を行う。 宇和島・愛南から松山へ移動(バス・南予水産研究センター保有の共用車などで移動) 	学内・学外 (愛南)	高年次学生	昼食(学生自己負担)

5	<p>現場での情報収集 (4 コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松山から宇和島・愛南へ移動 (バス・南予水産研究センター保有の共用車などで移動) ・課題に関する調査方法に基づき調査を行う ・昼食 ・調査を継続する。 ・宇和島・愛南から松山へ移動 (バス・南予水産研究センター保有の共用車などで移動) 	学内・ 学外 (愛南)	高年次学生	昼食(学生自己負担)
6	<p>計画立案 (3 コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に関する調査結果を整理し、不足する情報やデータを補完する。 ・昼食 ・調査結果を取り纏め、分析する。 ・「プロジェクト実践演習」へと展開するために実施スケジュールを計画する。 	学内・ 学外 (愛南)	高年次学生	昼食(学生自己負担)
7	<p>プレゼンテーション準備 (4 コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション資料を作成する (終日) ・プレゼンテーションのバックグラウンドとして必要な情報を収集する 	学内	高年次学生	昼食(学生自己負担)
8	<p>学科合同プレゼンテーション (4 コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場設営、受付、司会等の運営業務を行う。 ・各コースのプロジェクト基礎演習の成果について受入先関係者を交えて発表を行う。 ・高年次学生も参加し、質問、コメントを行い、成果およびプレゼンについて評価を行う。 ・受入先関係者の参加に関して、業務や移動の負担を考慮して、テレビ会議システム等の利用も検討する。 	学内	愛媛県農林水産研究所水産研究センター、 愛南町海洋資源開発センター 高年次学生	昼食(学生自己負担)
9	<ul style="list-style-type: none"> ・学内にて他のフィールドでのプロジェクト企画案の発表をポスターセッションで行う。ポスターセッションには3年次生も参加し、3年次生の実践事例を次年度の参考とする。 	学内		

プロジェクト演習実施要領
(産業イノベーション学科：海洋生産科学コース)

授業科目名	プロジェクト実践演習		受講定員	10人	
授業担当者	専任教員2人		開講時期	3年次・第2Q	
実習先	南予地区	移動方法	—	移動時間	—

開講回	授業計画	場所	授業支援者	食事・宿泊先に係わる事項
1	<p>スケジュールの確認、演習準備 (4コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「プロジェクト基礎演習」で立案した計画に基づき、実習のスケジュールを立てる。 ・実習に必要な生命・環境・社会科学的な方法論・技術・調査方法を確認する。 	学内 (愛南)	高年次学生	昼食(学生自己負担)
2 ～ 4	<p>実験・調査 (4コマ×2回、3コマ×1回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自実習先へ移動する。 うみらいく愛南(徒歩、1分)、愛南町海洋資源開発センター(自家用車・公用車、40分)、愛媛県水産研究センター(自家用車・公用車、90分) ・課題に関する実験・調査を行う。 	学内・学外 (南予)	高年次学生 愛媛県農林水産研究所水産研究センター、 愛南町海洋資源開発センター	昼食(学生自己負担)
5	<p>実験・調査結果の解析 (3コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて各自実習先へ移動する。学内で解析を行う場合には愛媛大学南予水産研究センター西浦ステーション・うみらいく愛南で行う。 愛媛大学南予水産研究センター西浦ステーション・うみらいく愛南(徒歩、1分)、愛南町海洋資源開発センター(自家用車・公用車、40分)、愛媛県水産研究センター(自家用車・公用車、90分) ・実験・調査の結果について統計学的手法などを用いて科学的に解析する。 	学内・学外 (南予)	高年次学生	昼食(学生自己負担)
6	<p>実習結果に関する考察 (4コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛大学南予水産研究センター西浦ステーション・うみらいく愛南で行う。 ・解析結果を取り纏め、取り組みの妥当性や結果の有効性を検証・考察する。 ・「プロジェクト応用演習」へと展開するために実施スケジュールを計画する。 	学内 (南予)	高年次学生	昼食(学生自己負担)
7	<p>プレゼンテーション準備 (4コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛大学南予水産研究センター西浦ステーション・うみらいく愛南で行う。 ・プレゼンテーション資料を作成する(終日) ・プレゼンテーションのバックグラウンドとして必要な情報を収集する 	学内 (南予)	高年次学生	昼食(学生自己負担)

8	<p>学科合同プレゼンテーション (4コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場設営、受付、司会等の運営業務を行う。 ・各コースのプロジェクト実践演習の成果について受入先関係者を交えて発表を行う。 ・高年次学生も参加し、質問、コメントを行い、成果およびプレゼンについて評価を行う。 ・受入先関係者の参加に関して、業務や移動の負担を考慮して、テレビ会議システム等の利用も検討する。 	学内	愛媛県農林水産研究所水産研究センター、愛南町海洋資源開発センター 高年次学生	昼食(学生自己負担)
---	--	----	---	------------

プロジェクト演習実施要領
(産業イノベーション学科：海洋生産科学コース)

授業科目名	プロジェクト応用演習		受講定員	10人	
授業担当者	専任教員2人		開講時期	3年次・第3Q	
実習先	南予地区	移動方法	—	移動時間	—

開講回	授業計画	場所	授業支援者	食事・宿泊先に係わる事項
1	<p>スケジュールの確認、演習準備 (4コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「プロジェクト実践演習」で立案した計画に基づき、実習スケジュールを立てる。 ・実習に必要な生命・環境・社会科学的な方法論・技術・調査方法を確認する。 	学内 (愛南)	高年次学生	昼食(学生自己負担)
2 ～ 4	<p>実験・調査 (4コマ×2回、3コマ×1回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自実習先へ移動する。 うみらいく愛南(徒歩、1分)、愛南町海洋資源開発センター(自家用車・公用車、40分)、愛媛県水産研究センター(自家用車・公用車、90分) ・課題に関する実験・調査を行う。 	学内・ 学外 (南予)	高年次学生 愛媛県農林水産研究所水産研究センター、 愛南町海洋資源開発センター	昼食(学生自己負担)
5	<p>実験・調査結果の解析 (3コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて各自実習先へ移動する。学内で解析を行う場合には愛媛大学南予水産研究センター西浦ステーション・うみらいく愛南で行う。 愛媛大学南予水産研究センター西浦ステーション・うみらいく愛南(徒歩、1分)、愛南町海洋資源開発センター(自家用車・公用車、40分)、愛媛県水産研究センター(自家用車・公用車、90分) ・実験・調査の結果について統計学的手法などを用いて科学的に解析する。 	学内・ 学外 (南予)	高年次学生	昼食(学生自己負担)
6	<p>実習結果に関する考察 (4コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛大学南予水産研究センター西浦ステーション・うみらいく愛南で行う。 ・解析結果を取り纏め、取り組みの妥当性や結果の有効性を検証・考察する。 	学内 (南予)	高年次学生	昼食(学生自己負担)
7	<p>プレゼンテーション準備 (4コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛大学南予水産研究センター西浦ステーション・うみらいく愛南で行う。 ・プレゼンテーション資料を作成する(終日) ・プレゼンテーションのバックグラウンドとして必要な情報を収集する 	学内 (南予)	高年次学生	昼食(学生自己負担)

8	<p>学科合同プレゼンテーション (4コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場設営、受付、司会等の運営業務を行う。 ・各コースのプロジェクト応用演習の成果について受入先関係者を交えて発表を行う。 ・高年次学生も参加し、質問、コメントを行い、成果およびプレゼンについて評価を行う。 ・受入先関係者の参加に関して、業務や移動の負担を考慮して、テレビ会議システム等の利用も検討する。 	学内	高年次学生 愛媛県農林水産研究所水産研究センター, 愛南町海洋資源開発センター	昼食(学生自己負担)
9	<ul style="list-style-type: none"> ・学内にて他のフィールドでのプロジェクト成果の発表をポスターセッションで行う。 	学内		

プロジェクト演習実施要領
(産業イノベーション学科：紙産業コース)

授業科目名	プロジェクト基礎演習		受講定員	5人	
授業担当者	専任教員2人		開講時期	2年次・第3Q	
実習先	東予地区	移動方法	共用車	移動時間	1時間

開講回	授業計画	場所	授業支援者	食事・宿泊先に係わる事項
1	<p>プロジェクト実習の概要と事前調査 (4コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> プロジェクト演習の概要説明 グループワーク <p>紙質評価項目および評価方法を調査する 紙質に影響する因子を調査する 調査内容をまとめる</p>	学内 (松山)		昼食(学生自己負担)
2	<p>紙研究機関の見学と情報収集1 (4コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 松山から四国中央へ移動(紙産業イノベーションセンター保有の共用車で移動) 愛媛県紙産業技術センターの概要説明、施設見学 昼食 抄紙、紙質評価の実演 四国中央から松山へ移動(紙産業イノベーションセンター保有の共用車で移動) 	学内・学外 (四国中央)	紙産業技術センター 高年次学生	昼食(学生自己負担)
3	<p>情報収集2 (4コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 松山から四国中央へ移動(紙産業イノベーションセンター保有の共用車で移動) 3年生の取組み事例の紹介、質疑応答 昼食 対象とする紙製品を仮決定、求められる性質を抽出する 四国中央から松山へ移動(紙産業イノベーションセンター保有の共用車で移動) 	学内・学外 (四国中央)	紙産業技術センター 高年次学生	昼食(学生自己負担)
4	<p>情報収集3、課題の仮設定 (3コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 松山から四国中央へ移動(紙産業イノベーションセンター保有の共用車で移動) 製紙メーカー、公設試験場研究員、高年次学生に対して、当該紙製品に関するヒアリングを行う 昼食 対象紙製品に求められる品質と品質評価項目を抽出し、整理する 四国中央から松山へ移動(紙産業イノベーションセンター保有の共用車で移動) 	学内・学外 (四国中央)	紙産業技術センター 高年次学生	昼食(学生自己負担)

プロジェクト演習実施要領
 (産業イノベーション学科：紙産業コース)

5	<p>現場での情報収集 (4コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松山から四国中央へ移動（紙産業イノベーションセンター保有の共用車で移動） ・対象紙製品に求められる品質と品質評価項目を抽出し、整理する ・昼食 ・当該紙製品の品質評価方法および使用機器を調査する ・四国中央から松山へ移動（紙産業イノベーションセンター保有の共用車で移動） 	学内・学外 (四国中央)	紙産業技術センター 高年次学生	昼食(学生自己負担)
6	<p>計画立案 (3コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該紙製品の品質評価方法および使用機器を調査、整理する ・昼食 ・当該紙製品の品質評価手順を整理する 	学内・学外 (四国中央)	高年次学生	昼食(学生自己負担)
7	<p>プレゼンテーション準備 (4コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション資料を作成する（終日） 	学内	高年次学生	昼食(学生自己負担)
8	<p>学科合同プレゼンテーション (4コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場設営、受付、司会等の運営業務を行う。 ・各コースのプロジェクト基礎演習の成果について受入先関係者を交えて発表を行う。 ・高年次学生も参加し、質問、コメントを行い、成果およびプレゼンについて評価を行う。 ・受入先関係者の参加に関して、業務や移動の負担を考慮して、テレビ会議システム等の利用も検討する。 	学内	紙産業技術センター 高年次学生	昼食(学生自己負担)
9	<ul style="list-style-type: none"> ・学内にて他のフィールドでのプロジェクト企画案の発表をポスターセッションで行う。ポスターセッションには3年次生も参加し、3年次生の実践事例を次年度の参考とする。 	学内		

プロジェクト演習実施要領
(産業イノベーション学科：紙産業コース)

授業科目名	プロジェクト実践実習		受講定員	5人	
授業担当者	専任教員2人		開講時期	3年次・第2Q	
実習先	東予地区	移動方法	—	移動時間	—

開講回	授業計画	場所	授業支援者	食事・宿泊先に係わる事項
1	スケジュールの確認、演習準備 (4コマ) ・「プロジェクト基礎演習」で立案した計画に基づき、紙製品分析のスケジュールを立てる。 ・分析サンプルを用意するとともに、分析手順および機器の使用方法を確認する。	学内・学外 (四国中央)	紙産業技術センター 高年次学生	昼食(学生自己負担)
2 ～ 4	紙製品分析 (4コマ×2回、3コマ×1回) ・用意した紙製品について、紙質を評価する。複数の製品について分析を行い、品質の幅をチェックする。 ・測定結果をまとめる。	学内・学外 (四国中央)	紙産業技術センター 高年次学生	昼食(学生自己負担)
5	データ整理と目標値の設定 (3コマ) ・品質分析の結果を基に、プロジェクト応用演習で試作する紙の品質を決定する。	学内・学外 (四国中央)	紙産業技術センター 高年次学生	昼食(学生自己負担)
6	試作条件の決定 (4コマ) ・第5回で決定した製品品質を達成するための条件、使用する材料種、配合比率、抄紙条件等を協議し、決定する。	学内・学外 (四国中央)	紙産業技術センター 高年次学生	昼食(学生自己負担)
7	プレゼンテーション準備 (4コマ) ・プレゼンテーション資料を作成する(終日)	学内・学外 (四国中央)	高年次学生	昼食(学生自己負担)
8	学科合同プレゼンテーション (4コマ) ・会場設営、受付、司会等の運営業務を行う。 ・各コースのプロジェクト実践演習の成果について受入先関係者を交えて発表を行う。 ・高年次学生も参加し、質問、コメントを行い、成果およびプレゼンについて評価を行う。 ・受入先関係者の参加に関して、業務や移動の負担を考慮して、テレビ会議システム等の利用も検討する。	学内	紙産業技術センター 高年次学生	昼食(学生自己負担)

プロジェクト演習実施要領
(産業イノベーション学科：紙産業コース)

授業科目名	プロジェクト応用実習		受講定員	5人	
授業担当者	専任教員2人		開講時期	3年次・第3Q	
実習先	東予地区	移動方法	—	移動時間	—

開講回	授業計画	場所	授業支援者	食事・宿泊先に係わる事項
1	スケジュールの確認、演習準備 (4コマ) ・「プロジェクト実践演習」で立案した計画に基づき、抄紙のスケジュールを立てる。 ・材料を用意するとともに、抄紙手順および機器の使用方法を確認する。	学内・学外 (四国中央)	紙産業技術センター 高年次学生	昼食(学生自己負担)
2 ～ 3	繊維処理、抄紙、後加工 (4コマ×2回) ・計画に基づき、繊維の前処理および抄紙を行う。 必要に応じて紙の後加工も行う。 ・測定結果をまとめる。	学内・学外 (四国中央)	紙産業技術センター 高年次学生	昼食(学生自己負担)
4 ～ 5	紙質分析とデータ整理 (4コマ×2回) ・試作した紙の紙質を分析する。 ・得られた紙質データをまとめる	学内・学外 (四国中央)	紙産業技術センター 高年次学生	昼食(学生自己負担)
6	試作結果の考察 (3コマ) ・第4～5回で測定した紙質を、目標値と比較する。 目標値からずれていた場合、その原因を考察した上で改善策を提案する。	学内・学外 (四国中央)	紙産業技術センター 高年次学生	昼食(学生自己負担)
7	プレゼンテーション準備 (3コマ) ・プレゼンテーション資料を作成する(終日)	学内・学外 (四国中央)	高年次学生	昼食(学生自己負担)
8	学科合同プレゼンテーション (4コマ) ・会場設営、受付、司会等の運営業務を行う。 ・各コースのプロジェクト応用演習の成果について受入先関係者を交えて発表を行う。 ・高年次学生も参加し、質問、コメントを行い、成果およびプレゼンについて評価を行う。 ・受入先関係者の参加に関して、業務や移動の負担を考慮して、テレビ会議システム等の利用も検討する。	学内	紙産業技術センター 高年次学生	昼食(学生自己負担)
9	・学内にて他のフィールドでのプロジェクト成果の発表をポスターセッションで行う。	学内		

プロジェクト演習実施要領
(産業イノベーション学科：ものづくりコース)

	プロジェクト基礎演習	受講定員	10人		
授業担当者	専任教員3人	開講時期	2年次・第3Q		
実習先	中・東予地区	移動方法	学内バス	移動時間	1時間

開講回	授業計画	場所	授業支援者	食事・宿泊先に係わる事項
1	プロジェクト実習の概要と事前調査 (5コマ) ・プロジェクト演習の概要説明 ・高年次学生のプロジェクト演習報告 ・グループワーク 受入予定企業の事前調査 調査内容の発表	学内	高年次学生	
2	ものづくり，地場産業の見学と情報収集1 (5コマ) ・愛媛大学から受入予定企業堀江地区へ移動（学内バスで移動） ・受入企業の説明および見学を通してものづくり現場の課題探索 ・昼食 ・受入予定企業垣生地区へ移動（学内バスで移動） ・受入企業の説明および見学を通してものづくり現場の課題探索 ・受入予定企業松前地区へ移動（学内バスで移動） ・受入企業の説明および見学を通してものづくり現場の課題探索	学外	サンタ株式会社， (株)新来島どっく大西工場，摂陽明正(株)，マルマストリグ(株)松山本店，浅川造船株式会社，(株)ユタカ，株式会社松山機型工業	弁当(学生自己負担)
3	ものづくり，地場産業の見学と情報収集3 (5コマ) ・愛媛大学から受入予定企業今治地区へ移動（学内バスで移動） ・各受入企業の説明および見学を通してものづくり現場の課題探索 ・昼食 ・同地区の各受入企業の説明および見学を通してものづくり現場の課題探索	学外	サンタ株式会社， (株)新来島どっく大西工場，摂陽明正(株)，マルマストリグ(株)松山本店，浅川造船株式会社，(株)ユタカ，株式会社松山機型工業	弁当(学生自己負担)
4	課題の設定と調査設計 (5コマ) ・課題選択（1グループ1～2人とする。課題の選択は、個人またはグループワークによって決定する。） ・種々の課題を整理し，本演習の課題を仮設定する。 ・課題の背景・目的および現状把握を明確にするために，詳細な情報収集・分析を実施するために調査方法（ヒアリング、アンケート等）および調査	学内	高年次学生	

プロジェクト演習実施要領
(産業イノベーション学科：ものづくりコース)

	<p>項目を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> あらかじめ図書、資料、インターネット等を駆使して、類似情報の収集を行い、現場情報収集のイマジネーションを高める。 <p>異年次交流(内1コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 仮設定した課題を紹介し、高年次学生からスケジュールや情報収集での注意点などのアドバイス交流を行う。 			
5	<p>現場での情報収集 (5コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 調査方法に基づき、ものづくり企業や地場産業の現場を再度訪問し、調査情報を的確に得る。 (学内バスまたは公共機関で移動) 	学外	<p>サンタ株式会社, (株)新来島どっく大西工場, 摂陽明正(株), マルマストリグ(株)松山本店, 浅川造船株式会社, (株)ユタカ, 株式会社松山機型工業</p>	
6	<p>調査分析と解決方策 (5コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 得られた調査結果を整理、分析し、課題の目的、調査結果を照らし合わせて、解決するための具体的な方策を考える。仮説とその論理的裏付けを考える。 	学内		
7	<p>スケジュール設定 (2コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2期「プロジェクト実践演習」へと展開するために実施スケジュールを計画する。 <p>プレゼンテーション準備(3コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題、解決方法、スケジュールのプレゼンを作成する。 	学内		
8	<p>学科合同プレゼンテーション (5コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 会場設営、受付、司会等の運営業務を行う。 各コースのプロジェクト基礎実習の成果について受入先関係者を交えて発表を行う。 高年次学生も参加し、質問、コメントを行い、成果およびプレゼンについて評価を行う。 	学内	<p>サンタ株式会社, (株)新来島どっく大西工場, 摂陽明正(株), マルマストリグ(株)松山本店, 浅川造船株式会社, (株)ユタカ, 株式会社松山機型工業 高年次学生</p>	<p>弁当(学生自己負担)</p>
9	<ul style="list-style-type: none"> 学内にて他のフィールドでのプロジェクト企画案の発表をポスターセッションで行う。ポスターセッションには3年次生も参加し、3年次生の実践事例を次年度の参考とする。 	学内		

プロジェクト演習実施要領
(産業イノベーション学科：ものづくりコース)

授業科目名	プロジェクト実践実習	受講定員	10人		
授業担当者	専任教員3人	開講時期	3年次・第2Q		
実習先	中・東予地区	移動方法	共用車	移動時間	1時間

開講回	授業計画	場所	授業支援者	食事・宿泊先に係わる事項
1	<p>解決方法およびスケジュールの確認・修正 (2コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「プロジェクト基礎演習」での報告の際に指摘された点についてスケジュールが妥当であるか確認し、修正を行う。 <p>概念(構想)設計 (3コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 解決するための具体的な方策に基づいてアイデアを具現化する概念設計を行う。場合によっては機能実験を実施する。 	学内	-	
2 ～ 6	<p>詳細設計・製図・加工作業 (5コマ×5回)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学問知識および3D-CADを利用して、設計書の作成および製図を行う。企業関係者との図面の遣り取りを行い、現場に対応可能な図面を完成させる。 材料費、加工費等のコスト計算を行い、課題内容に適合した費用であるかを検討する。 詳細確認のために受入先との連絡、見学、打ち合わせを教員を通して随時実施する。 材料や要素部品の発注を行う。 学内加工施設を利用し、製図図面に基づき試作品を製作する。 <p>異年次交流(内1コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 受入先への問い合わせ方法などについての注意点に関して高年次学生とのアドバイス交流を行う。 	学内 ・学外	<p>サンタ株式会社, (株)新来島どつく大西工場, 摂陽明正(株), マルマストリグ(株)松山本店, 浅川造船株式会社, (株)ユタカ, 株式会社松山機型工業 高年次学生</p>	
7	<p>スケジュール設定(2コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 第3期「プロジェクト応用演習」へと展開するために実施スケジュールを計画する。 <p>プレゼンテーション準備(3コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題, 解決方法, スケジュールのプレゼンを作成する。 	学内		
8	<p>学科合同プレゼンテーション (5コマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 会場設営, 受付, 司会等の運営業務を行う。 各コースのプロジェクト基礎実習の成果について受入先関係者を交えて発表を行う。 高年次学生も参加し, 質問, コメントを行い, 成果およびプレゼンについて評価を行う。 	学内	<p>サンタ株式会社, (株)新来島どつく大西工場, 摂陽明正(株), マルマストリグ(株)松山本店, 浅川造船株式会社, (株)ユタカ, 株式会社松山機型工業 高年次学生</p>	

プロジェクト演習実施要領
(産業イノベーション学科：ものづくりコース)

授業科目名	プロジェクト応用実習		受講定員	10人	
授業担当者	専任教員3人		開講時期	3年次・第3Q	
実習先	中・東予地区	移動方法	共用車	移動時間	1時間

開講回	授業計画	場所	授業支援者	食事・宿泊先に係わる事項
1	プロジェクト実践演習のふりかえりと改善点の整理 (5コマ) ・プロジェクト実践演習の進め方についてふりかえりを行い、改善点を整理する。 ・整理した内容について簡単なプレゼン資料を作成し、発表を行う。	学内		
2 ～ 6	試作品に対する評価と調整 (5コマ×5回) ・「プロジェクト実践演習」で制作した試作品の運用評価よりフィードバックし、より良い試作品に仕上げるための修正・改良を行う。 ・詳細確認のために受入先との連絡、見学、打ち合わせを教員を通して随時実施する。 異年次交流(内1コマ) ・改善点について高年次学生とのアドバイス交流を行う。	学内 ・学外	サンタ株式会社, (株)新来島どっく大西工場, 摂陽明正(株), マルマストリグ(株)松山本店, 浅川造船株式会社, (株)ユタカ, 株式会社松山機型工業 高年次学生	
7	プロジェクト演習のふりかえりと発表 (5コマ) ・次年度以降のプロジェクト演習に対する取り組み改善や低学年へのノウハウ伝授, アドバイス指導方法のあり方について検討する。 ・簡単なプレゼン資料を作成し, ふりかえりについて発表を行う。	学内		
8	学科合同プレゼンテーション (5コマ) ・会場設営, 受付, 司会等の運営業務を行う。 ・各コースのプロジェクト応用演習の成果について受入先関係者を交えて発表を行う。 ・高年次学生も参加し, 質問, コメントを行い, 成果およびプレゼンについて評価を行う。	学内	サンタ株式会社, (株)新来島どっく大西工場, 摂陽明正(株), マルマストリグ(株)松山本店, 浅川造船株式会社, (株)ユタカ, 株式会社松山機型工業 高年次学生	
9	・学内にて他のフィールドでのプロジェクト成果の発表をポスターセッションで行う。	学内		

プロジェクト演習実施要領
(環境デザイン学科：環境サステナビリティコース)

授業科目名	プロジェクト基礎演習		受講定員	20人	
授業担当者	専任教員2人		開講時期	2年次・第3Q	
実習先	西条市, 西予市	移動方法	借上げバス	移動時間	西条市: 1時間 西予市: 1.5時間

開講回	授業計画 (西予市を例とする)	場所	授業支援者	食事・宿泊先に係わる事項
1	<ul style="list-style-type: none"> ・授業のガイダンス(0.5コマ) ・地域の現状に関する解説(1コマ) ・グループメンバーの決定(1グループ3~4人とする。課題の選択は、グループワークによって決定し、重複しても可とする。)(0.5コマ) 	学内	-	
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ステークホルダーによる西予市の自然環境・歴史・文化・住民の生業等に関する情報要素の提供(0.5コマ)。 ・地域の自然環境・歴史・文化・住民の生業等の情報を文献や情報検索を用いて収集し、提供された要素から演習において解決すべき課題の決定(2コマ) ・ステークホルダーとの話し合いで西予市内のフィールドを決定(0.5コマ) 	学内	西予市企画調整課 ジオパーク推進室	
3	<p>(1泊2日) (1日目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛大学から西予市へ移動(借上げバスで移動、フィールド調査では大学・西予市公用車使用) ・グループごとに各調査フィールドにおいてステークホルダー職員と合同で地域課題の確認(1コマ) ・昼食(各自持参) ・調査地区におけるフィールドワーク(地域の自然環境調査、歴史・文化・住民の生業等に関する情報を収集、住民に適宜インタビュー)(3コマ) ・夕食(宿泊先に依頼) ・参加グループ合同で地域住民とのワークショップ(2コマ) <p>(2日目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝食(宿泊先に依頼) ・調査地区におけるフィールドワーク(地域の自然環境調査、歴史・文化・住民の生業等に関する情報を収集、住民に適宜インタビュー)(2コマ) ・昼食(宿泊先に依頼) ・調査地区におけるフィールドワーク(地域の自然環境調査、歴史・文化・住民の生業等に関する情報を収集、住民に適宜インタビュー)(2コマ) ・西予市から愛媛大学へ移動(借上げバスで移動) 	学外	西予市企画調整課 ジオパーク推進室	宿泊先: 西予市城川町宝泉坊ロッジ: 1泊 3食(夕食、朝食、2日目昼食; 5000円)

プロジェクト演習実施要領

(環境デザイン学科：環境サステナビリティコース)

4	<p><データの整理と解析></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに第3回のフィールド実習で得たインタビュー結果やデータを整理・解析する(3コマ)。 ・コミュニティーや地域ごとにどのように課題に適応しているか、またはどのような要因で地域のそれらの課題に対するレジリエンスが低下しているかを考察する(2コマ)。 	学内		
5	<p><解決策案の作成および改善></p> <ul style="list-style-type: none"> ・解決策の方向性をグループ内ディスカッションを通じて明らかにする(1コマ)。 ・類似した地域の事例を参考にしつつ、地域をよりよくするためにチームとして何ができるのか、解決策を作成する(2コマ)。 ・解決策案をステークホルダーと議論しながら、解決策をより効果的で実現可能性が高い案に改善する。場合によっては、追加調査や方向性の再検討も行う(2コマ)。 	学内	西予市企画調整課 ジオパーク推進室	
6	<p><学科内発表></p> <ul style="list-style-type: none"> ・この発表会は、地域デザイン・防災コースと共同で行う。 ・他グループのプレゼンテーションの内容に関する妥当性およびその解決策案の実現可能性や効果等、多様な観点から評価する。 ・地域の課題発見から解決策の協働企画に至る報告書を作成する。 	学内		
—	<p>課外学習 <ポスター作成></p>	学内		
7	<p>学内ポスター発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他学科の各グループのプレゼンテーションを評価するために、学内において公開ポスターセッションを行う。ポスターセッションには学部3年生も参加し、3年生の実践事例を次年度の参考とする。 	学内		
—	レポート作成(2週間後提出)			

プロジェクト演習実施要領
(環境デザイン学科：環境サステナビリティコース)

授業科目名	プロジェクト実践演習		受講定員	20人	
授業担当者	専任教員2人		開講時期	3年次・第2Q	
実習先	西条市、西予市	移動方法	借上げバス	移動時間	1時間, 1時間 30分

開講回	授業計画 (西予市を例とする)	場所	授業支援者	食事・宿泊先に係わる事項
1	<ul style="list-style-type: none"> ・授業のガイダンス ・プロジェクト基礎演習のふりかえり ・グループメンバーは基礎演習からの継続とする。 	学内	-	
2 ~ 7	<ul style="list-style-type: none"> ・ステークホルダーとともに協働して、地域の課題解決のための取り組みを具体的に実施する (協働生産、協働提供)。 ・フィールドにおける実践の時期については、演習の進行状況および地域の実情をふまえて、柔軟に対応する (フィールドワークは1泊2日程度；移動は借り上げバスを利用)。 ・プロジェクトを進めるにあたっては、一人ひとりが自分の専門分野の知識をプロジェクトに応用していくことで実践的な知識に高めると同時に異なる専門分野であってもプロジェクトに必要なならば、専門知識を積極的に学んでいく。 	学内 ・学外	西予市企画調整課 ジオパーク推進室	宿泊先： ・西予市 (宝泉坊ロッジ) 朝食、昼食、夕食：自炊もしくは弁当 (学生自己負担)
8	<ul style="list-style-type: none"> ・中間発表会 ・学科全体で実施 ・発表会でステークホルダー等から出た意見を検討し、解決策の内容を改善する。 	学内	西予市企画調整課 ジオパーク推進室	
9 ~ 13	解決策案の作成および改善 <ul style="list-style-type: none"> ・解決策の方向性をグループディスカッションを通じて明らかにする。 ・類似した地域の事例を参考にしつつ、地域をよりよくするためにチームとして何ができるのか、解決策を作成する。 ・解決策案をステークホルダーと議論しながら、解決策をより効果的で実現可能性が高い案に改善する。場合によっては、追加調査や方向性の再検討も行う。 	学内		
14 ~ 15	設定課題およびその解決策案のコース内での発表 <ul style="list-style-type: none"> ・解決策案のプレゼンテーションを準備し、地域のステークホルダーも含めたより広い人たちの参加を得て、発表する。この発表会は、地域デザイン・防災コースと共同で行う。 ・他グループのプレゼンテーションの内容に関する妥当性およびその解決策案の実現可能性や効果等、多様な観点から評価する。 ・地域の課題発見から解決策の協働企画に至る報告書を作成する。 	学内	-	

プロジェクト演習実施要領
(環境デザイン学科：環境サステナビリティコース)

授業科目名	プロジェクト応用演習		受講定員	20名	
授業担当者	専任教員2人		開講時期	3年次・第3Q	
実習先	西条市、西予市	移動方法	借上げバス	移動時間	1時間, 1時間 30分

開講回	授業計画 (西予市を例とする)	場所	授業支援者	食事・宿泊先に係わる事項
1	<ul style="list-style-type: none"> ・授業のガイダンス ・プロジェクト基礎演習およびプロジェクト実践演習のふりかえり ・グループメンバーは基礎演習・実践演習からの継続とする。 	学内	-	
2 ～ 13	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり、ことづくり、しくみづくりを実践し、社会に発信していくためにはより広い分野、地域の人々を巻き込んでいく。 ・プロジェクトの実践にあたっては、時と場合に応じて新たな主体との関係を取り持つブリッジ機能を果たしたり、より専門的な事項に対するコンサルティング機能を果たしたり、地域の再生に寄与するように主体的にステークホルダーに働きかける。 ・2年次「フィールド実習」で同じフィールドになった2年次学生のチームと適宜、ディスカッションの機会を設ける。多様な視点からコメントを行うことによって、2年次学生のプロジェクト企画の改善を働きかける。 	学内 ・学外	西予市企画調整課 ジオパーク推進室	宿泊先： ・西予市（宝泉坊ロッジ） 朝食、昼食、夕食：自炊もしくは弁当 （学生自己負担）
14 ～ 15	学科内での発表 <ul style="list-style-type: none"> ・この発表会は、地域デザイン・防災コースと共同で行う。 ・他グループのプレゼンテーションの内容に関する妥当性およびその解決策案の実現可能性や効果等、多様な観点から評価する。 ・地域の課題発見から解決策の協働実施に至る報告書を作成する。 	学内		
16	学内ポスター発表会 <ul style="list-style-type: none"> ・より広いステークホルダーとともに協働して生産、提供された最終成果物をパネルディスカッションにより発表する。発表に際しては他のチームが実践したプロジェクトに対して評価を行う。地域に対する報告会の選抜を兼ねることとする。 	学内	西予市企画調整課 ジオパーク推進室	

プロジェクト演習実施要領
(環境デザイン学科：地域デザイン・防災コース)

授業科目名	プロジェクト基礎演習	受講定員	15人	開講時期	2年次・第3Q
授業担当者	専任教員6人				
実習先	松山市道後地区	移動方法	徒歩・自転車	移動時間	30分

開講回	授業計画	場所	授業支援者	食事・宿泊先に係わる事項
1	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の概要を説明する。(1) ・チーム分けをする(専任教員2人で1チーム6人とする)。 ・ブレインストーミングにてメンバーの地区に対する問題意識や疑問など意見を出し合い、KJ法を用いて構造化する。(1) ・昼食 ・愛媛大学から道後地区へ移動(0.5) ・道後地区にて地区のステーキホルダーと一緒にまちあるきを行う(写真撮影や気づいたことなどをメモする)。(1.5) ・道後地区から愛媛大学へ移動(0.5) ・まちあるきで撮影した写真やメモなどをグループ内で共有する。(1.5) <p>(所定の授業時間以外にも道後地区での打ち合わせやイベントなどに参加し、ステーキホルダーとの関係性を構築する。打ち合わせに参加しながらとったメモをもとにチーム内で問題意識や課題を共有する。)</p>	学内 学外	道後温泉誇れるまちづくり推進協議会 松山市役所道後温泉事務所	
2	<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛大学から道後地区へ移動。(0.5) ・道後公民館にて道後温泉誇れるまちづくり推進協議会、道後温泉旅館協同組合にこれまでの取り組みや問題意識をヒアリング(1.5) ・昼食 ・道後公民館にて松山市役所道後温泉事務所、道後商店街振興組合にこれまでの取り組みや問題意識をヒアリング(1.5) ・道後地区から愛媛大学へ移動(0.5) ・ヒアリングをしながらとったメモをもとにチーム内で問題意識や課題を共有する。(1) 	学外	道後温泉誇れるまちづくり推進協議会 松山市役所道後温泉事務所	
3	<ul style="list-style-type: none"> ・チームの問題意識に関連する地区のステーキホルダーや関連する組織、チーム、個人をピックアップし、それらの主体がどのように想定するプロジェクトに関わってくるかを明らかにする。(2) ・プロジェクトに関連した問題を整理し、それぞれの問題の相互関係を明らかにする。(3) 	学内		

プロジェクト演習実施要領
(環境デザイン学科：地域デザイン・防災コース)

4	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決後の望ましい地区や強みを伸ばした地区を目的として、その手段との関係を整理する。(1) ・自分たちが進めることができる複数のプロジェクト案をさまざまな基準（ニーズ、関係者、優先度、費用、技術的難易度、目的達成可能性等）を用いて比較し、実行するプロジェクト案を絞る。(2) ・プロジェクト案の目標や成果、そのための活動などプロジェクトの概要をまとめて発表資料を作成する。(2) 	学内		
5	<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛大学から道後地区へ移動。(0.5) ・道後地区で地区のステークホルダーの前で発表、ディスカッションを行う。発表の際には、学生相互に発表内容を評価し合うとともにコメントをつける。(2) ・昼食をとりながら地域のステークホルダーと懇談(1)。 ・道後地区から愛媛大学に移動。(0.5) ・チームで中間発表会の振り返りを行う。(1) 	学外 学内	道後温泉誇れるまちづくり推進協議会 松山市役所道後温泉事務所	
6	<ul style="list-style-type: none"> ・企画するプロジェクトを中間発表会を踏まえてさらに絞り込む。(1) ・プロジェクトに関連する道後地区に関する定量的データや定性的データの調査計画を立てる。(1) ・チームの調査対象、項目に応じて、資料調査、観測調査、ヒアリング調査等を行う。(3) 	学内 学外		
7	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトを進めていくうえでの課題や条件、必要な資源（人員、資金、機材等）を明らかにし、実現可能性をあげる。(2) ・自分たちのチームの他、プロジェクトに関わるステークホルダーの役割分担、それぞれの活動計画をたてる。(2) ・道後地区でのプロジェクト企画の発表会のための資料を作成する。(1) 	学内		
8	<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛大学から道後地区に移動。(0.5) ・道後地区で地区のステークホルダーの前でプロジェクト企画を発表、ディスカッションを行う。発表の際には、学生相互に発表内容を評価し合うとともにコメントをつける。(2) ・昼食をとりながら地域のステークホルダーと懇談(1)。 ・道後地区から愛媛大学に移動。(0.5) ・チームで発表会の振り返りを行ったうえで、企画書の修正を行う。(2) 	学外 学内	道後温泉誇れるまちづくり推進協議会 松山市役所道後温泉事務所	発表場所：道後公民館（無料） 昼食（学生負担）
9	<ul style="list-style-type: none"> ・学内にて他のフィールドでのプロジェクト企画案の発表をポスターセッションで行う。ポスターセッションには3年次生も参加し、3年次生の実践事例を次年度の参考とする。 	学内		

※授業計画中の（ ）内の数字は目安の時間。

※第5回の学外実習は、日を分けての開催も可能。

プロジェクト演習実施要領
(環境デザイン学科：地域デザイン・防災コース)

授業科目名	プロジェクト実践演習	受講定員	15人	開講時期	3年次・第2Q
授業担当者	専任教員6人				
実習先	松山市道後地区	移動方法	徒歩・自転車	移動時間	30分

開講回	授業計画	場所	授業支援者	食事・宿泊先に係わる事項
1	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト基礎演習と同じチームで行う（専任教員2人で1チーム6人とする）。 ・プロジェクト基礎演習でたてたプロジェクト企画案の修正の必要性を検討する（社会経済状況が変わっていないか、技術的課題が変わっていないか等）。 (3) ・プロジェクト企画書案を修正し、プロジェクトのステークホルダーとの打ち合わせ資料を作成する。 (2) （所定の授業時間以外にも道後地区での打ち合わせやイベントなどに参加し、ステークホルダーとの関係性を構築する。打ち合わせに参加しながらとったメモをもとにチーム内で問題意識や課題を共有する。） 	学内	—	
2	<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛大学から道後地区へ移動。(0.5) ・道後公民館にてプロジェクトのステークホルダーとプロジェクト企画について打ち合わせを行う(2) ・道後地区から愛媛大学へ移動(0.5) ・ヒアリングをしながらとったメモをもとにチームでプロジェクトを進める担当等を決めてプロジェクトの体制を作る。(2) 	学外	道後温泉誇れるまちづくり推進協議会 松山市役所道後温泉事務所	
3 ～ 7	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトをステークホルダーとともに実践する。 ・週に1回はチームで集まり、進捗状況や成果の達成状況の報告を行い、モニタリングを行う。必要に応じて随時、見直しを行う。 （たとえば、道後の魅力のポッドキャストプロジェクトだとすると、コンテンツの企画、対象へのアポイント、取材、撮影等の報告など） 	学外	道後温泉誇れるまちづくり推進協議会 松山市役所道後温泉事務所	
8	<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛大学から道後地区に移動。(0.5) ・道後地区で地区のステークホルダーの前でプロジェクトの実践状況を発表、ディスカッションを行う。発表の際には、学生相互に発表内容を評価し合うとともにコメントをつける。(2) ・昼食をとりながら地域のステークホルダーと懇談(1)。 ・道後地区から愛媛大学に移動。(0.5) ・チームで発表会の振り返りを行ったうえで、プロジェクトの修正を行う。(2) 	学外	道後温泉誇れるまちづくり推進協議会 松山市役所道後温泉事務所	発表場所：道後公民館（無料） 昼食（学生負担）

※授業計画中の（ ）内の数字は目安の時間。

※第3回の学外実習は、日を分けての開催も可能。

プロジェクト演習実施要領
(環境デザイン学科：地域デザイン・防災コース)

授業科目名	プロジェクト応用演習	受講定員	15人	開講時期	3年次・第3Q
授業担当者	専任教員6人				
実習先	松山市道後地区	移動方法	徒歩・自転車	移動時間	30分

開講回	授業計画	場所	授業支援者	食事・宿泊先に係わる事項
1	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト基礎演習、プロジェクト実践演習と同じチームで行う（専任教員2人で1チーム6人とする）。 ・プロジェクト実践演習で行ってきたプロジェクトをチームでディスカッションし、必要に応じて見直しをする。 （所定の授業時間以外にも道後地区での打ち合わせやイベントなどに参加し、ステークホルダーとの関係性を構築する。打ち合わせに参加しながらとったメモをもとにチーム内で問題意識や課題を共有する。） 	学内	—	
2 ～6	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトをステークホルダーとともに実践する。 ・週に1回はチームで集まり、進捗状況や成果の達成状況の報告を行い、モニタリングを行う。必要に応じて随時、見直しを行う。 ・同じ地区のプロジェクト基礎演習でプロジェクト企画案を検討している2年次生に対して、アドバイスを行う。 	学外		
7	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト成果発表会に向けて、活動内容、活動実績をまとめるとともに、プロジェクトの意義や有効性、インパクト、課題等の観点から発表資料をまとめる。(5) 	学内		
8	<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛大学から道後地区に移動。(0.5) ・道後地区でプロジェクトの成果を地区の人々（オープンな参加）に報告し、ディスカッションを行う。発表の際には、学生相互に発表内容を評価し合うとともにコメントをつける。(2) ・道後地区から愛媛大学に移動。(0.5) 	学外	道後温泉誇れるまちづくり推進協議会 松山市役所道後温泉事務所	発表場所：道後公民館（無料） 昼食（学生負担）
9	<ul style="list-style-type: none"> ・学内にて他のフィールドでのプロジェクト成果の発表をポスターセッションで行う。(2) 	学内		

※授業計画中の（ ）内の数字は目安の時間。
※第2回の学外実習は、日を分けての開催も可能。

プロジェクト演習実施要領

(地域資源マネジメント学科：農山漁村マネジメントコース)

授業科目名	プロジェクト基礎演習	受講定員	15人	開講時期	2年次・第3Q
授業担当者	狩江地区：専任教員1人 高川地区：専任教員1人				
実習先	西予市	移動方法	借上げバス	移動時間	1.5時間

開講回	授業計画	場所	授業支援者	食事・宿泊先に係わる事項
1	<p>(2泊3日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛大学から狩江地区へ移動（借上げバス（マイクロ）1台）(1.5) ・狩江地区でフィールド実習のふりかえり（同年に行ったフィールド実習の結果と提案内容を学生全員と住民が共有する）(2) ・昼食 ・地区の踏査と聞き取り ・高川地区へ移動(1) ・途中昼食（どんぶり館にて適宜） ・高川地区でフィールド実習のふりかえり（同年に行ったフィールド実習の結果と提案内容を学生全員と住民が共有する）(2) ・高川地区から愛媛大学へ移動（借上げバスで移動）(1.5) 	学外	西予市企画調整課（高川地域づくり会）(かりとりもさくの会)、地元住民	宿泊先：狩江地区は狩江小学校(料金未定)、高川地区は緑の交流館(料金未定)または宝泉坊ロッジ(素泊まり 4,000円)。昼食は実費、学生自己負担
2	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の客観的な状況把握（地図、統計資料、文献等を参考に、狩江地区と高川地区の概要を把握する）(3) ・昼食 ・チーム発表(1) 	学内		
3	<ul style="list-style-type: none"> ・グループディスカッション（フィールドワーク実習および状況把握の結果から、解決する地域課題や利用する資源などについて話し合い、テーマを決め、担当チームに分かれる）(1) ・チームディスカッション（テーマに基づく関連事項や住民生活の実態等について、収集すべき情報を明らかにする）(2) ・昼食 ・調査設計（テーマに基づき、現地で実施する調査の設計を行う）(3) 	学内		
4	<ul style="list-style-type: none"> ・調査設計（調査設計に基づき、調査票や結果集約のフォーマットを作成する）(6) ・適宜昼食 	学内		

5	<p>(1泊2日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛大学から狩江地区・高川地区へ移動(4チームが借上げバス(マイクロ)2台に分かれ、それぞれ狩江地区と高川地区へ向かう。)(1.5) ・調査実施(事前に設計した調査を現地で展開する)(6) ・適宜昼食(弁当) ・夕食(自炊) ・調査結果の集約・入力(4) <p>(2日目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝食(自炊) ・調査実施(続き)(6) ・適宜昼食(弁当) ・狩江地区・高川地区から愛媛大学へ移動(借上げバスで移動)(1.5) 	学外	西予市企画調整課(高川地域づくり会)(かりとりもさくの会)、地元住民	<p>宿泊先:狩江地区は狩江小学校(料金未定)、高川地区は緑の交流館(料金未定)または宝泉坊ロッジ(素泊まり4,000円)。 昼食は実費、学生自己負担</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> ・調査結果のとりまとめ(調査結果を分析・とりまとめ、地区への報告書を作成する)(10) ・適宜昼食 	学内		
7	<ul style="list-style-type: none"> ・学内にて他のフィールドでのプロジェクト企画案の発表をポスターセッションで行う。ポスターセッションには3年次生も参加し、3年次生の実践事例を次年度の参考とする。 	学内		

※授業計画中の()内の数字は目安の時間。

※第5回の学外実習は、日を分けての開催も可能。

プロジェクト演習実施要領

(地域資源マネジメント学科：農山漁村マネジメントコース)

授業科目名	プロジェクト実践演習	受講定員	15人	開講時期	3年次・第2Q
授業担当者	狩江地区：専任教員1人 高川地区：専任教員1人				
実習先	西予市	移動方法	借上げバス	移動時間	1.5時間

開講回	授業計画	場所	授業支援者	食事・宿泊先に係わる事項
1	<p>(フィールド実習と同時に実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の概要説明(0.5) ・地域の概要説明(これまでに調べた内容、住民との話し合いの結果、取り組もうとしている実践活動をフィールド実習学生に説明する)(1) ・フィールド実習学生のファシリテート(全体の意見交換、チーム編成、チームディスカッションをリードする)(2.5) ・ディスカッション内容の共有(1) 	学内	-	
2	<p>(1泊2日：ゴールデンウィークもしくは5～6月の土日に、フィールド実習と同時に実施)</p> <p>(1日目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛大学から狩江地区・高川地区へ移動(4チームが借上げバス(マイクロ)2台に分かれ、それぞれ狩江地区と高川地区へ向かう)(1.5) ・住民との活動の調整(狩江地区はかりとりもさくの会、高川地区は高川地域づくり会と協議し、夏休みに実施する活動について詳細を話し合う)(1) ・昼食(弁当) ・フィールドワークのファシリテート(フィールド実習学生の踏査・聞き取りについて、地域住民と一緒に地区の案内・解説を行う)(2) ・夕食(自炊) ・チームディスカッション・チーム発表(フィールドワークの結果と実践活動のすり合せを行い、活動プランを強化させる)(3) <p>(2日目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝食(自炊) ・フィールド実習学生に対する再調査のアドバイス(3) ・昼食(弁当) ・チーム発表(2日目の内容を共有)(2) ・狩江地区・高川地区から愛媛大学へ移動(借上げバスで移動)(1.5) 	学外	西予市企画調整課(高川地域づくり会)(かりとりもさくの会)、地元住民	<p>宿泊先：狩江地区は狩江小学校(料金未定)、高川地区は緑の交流館(料金未定)または宝泉坊ロッジ(素泊まり4,000円)。</p> <p>朝食、昼食、夕食：弁当と自炊(弁当は1食500円、自炊は実費、学生自己負担)</p>

3	<p>(8月上旬に実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛大学から狩江地区・高川地区へ移動(4チームが借上げバス(マイクロ)で狩江地区と高川地区を巡回する)(1.5) ・狩江地区での活動に関する調整(地区住民と夏休みに実践する活動の段取りを行う)(2) ・高川地区へ移動(1) ・途中昼食(どんぶり館にて適宜) ・高川地区での活動に関する調整(地区住民と夏休みに実践する活動の段取りを行う)(2) ・狩江地区・高川地区から愛媛大学へ移動(借上げバスで移動)(1.5) 	学内	西予市企画調整課(高川地域づくり会)(かりとりもさくの会)、地元住民	昼食は実費、学生自己負担
4	<p>(3泊4日:8月後半にフィールド実習と同時に実施)(1日目)</p> <p>愛媛大学から狩江地区・高川地区へ移動(4チームが借上げバス(マイクロ)2台に分かれ、それぞれ狩江地区と高川地区へ向かう)(1.5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動準備(チームごとに、企画した活動に必要な準備を行う)(5) ・適宜昼食(弁当) ・夕食(自炊) ・フィールド実習学生の絵地図作成の指導(3)(2日目) ・朝食(自炊) ・実践活動(プロジェクト実践演習のチームによる活動)(4) ・昼食(自炊) ・地域支援活動(フィールド実習学生と合流)(4) ・夕食(自炊) ・フィールド実習学生の絵地図作成の指導(3)(3日目) ・朝食(自炊) ・地域支援活動(フィールド実習学生とともに活動)(3) ・昼食(自炊) ・地域支援活動(続き)(3) ・夕食(自炊) ・発表会・交流会(フィールド実習学生による発表を監修)(2)(4日目) ・朝食(自炊) ・活動の成果と反省のとりまとめ(一連の実践活動を総括し、さらに進展させるための活動を提案としてまとめる)(3) ・昼食(弁当) ・狩江地区・高川地区から愛媛大学へ移動(借上げバスで移動)(1.5) 	学外	西予市企画調整課(高川地域づくり会)(かりとりもさくの会)、地元住民	<p>宿泊先:狩江地区は狩江小学校(料金未定)、高川地区は緑の交流館(料金未定)または宝泉坊ロッジ(素泊まり4,000円)。</p> <p>朝食、昼食、夕食:弁当と自炊(弁当は1食500円、自炊は実費、学生自己負担)</p>

※授業計画中の()内の数字は目安の時間。
 ※第4回の学外実習は、日を分けての開催も可能。

プロジェクト演習実施要領

(地域資源マネジメント学科：農山漁村マネジメントコース)

授業科目名	プロジェクト応用演習	受講定員	15人	開講時期	3年次・第3Q
授業担当者	狩江地区：専任教員1人 高川地区：専任教員1人				
実習先	西予市	移動方法	借上げバス	移動時間	1.5時間

開講回	授業計画	場所	授業支援者	食事・宿泊先に係わる事項
1	<p>(11月中旬頃に実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛大学から狩江地区・高川地区へ移動(4チームが借上げバス(マイクロ)で狩江地区と高川地区を巡回する)(1.5) ・狩江地区での活動フォロー(夏休みに実施した活動の事後確認と必要な作業を行う)(2) ・高川地区へ移動(1) ・途中昼食(どんぶり館にて適宜) ・高川地区での活動フォロー(夏休みに実施した活動の事後確認と必要な作業を行う)(2) ・狩江地区・高川地区から愛媛大学へ移動(借上げバスで移動)(1.5) 	学内	-	
2	<p>(1泊2日：12月下旬に実施)</p> <p>(1日目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛大学から狩江地区・高川地区へ移動(4チームが借上げバス(マイクロ)2台に分かれ、それぞれ狩江地区と高川地区へ向かう)(1.5) ・地域支援活動の実施(6) ・適宜昼食(弁当) ・夕食(自炊) <p>(2日目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝食(自炊) ・地域支援活動の実施(6) ・適宜昼食(弁当) ・狩江地区・高川地区から愛媛大学へ移動(借上げバスで移動)(1.5) 	学外	西予市企画調整課(高川地域づくり会)(かりとりもさくの会)、地元住民	<p>宿泊先：狩江地区は狩江小学校(料金未定)、高川地区は緑の交流館(料金未定)または宝泉坊ロッジ(素泊まり4,000円)。</p> <p>朝食、昼食、夕食：弁当と自炊(弁当は1食500円、自炊は実費、学生自己負担)</p>

3	<p>(1泊2日：2月中旬に実施)</p> <p>(1日目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛大学から狩江地区・高川地区へ移動(4チームが借上げバス(マイクロ)2台に分かれ、それぞれ狩江地区と高川地区へ向かう)(1.5) ・地域支援活動の実施(6) ・適宜昼食(弁当) ・夕食(自炊) <p>(2日目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝食(自炊) ・地域支援活動の実施(6) ・適宜昼食(弁当) ・狩江地区・高川地区から愛媛大学へ移動(借上げバスで移動)(1.5) 	学外	西予市企画調整課(高川地域づくり会)(かりとりもさくの会)、地元住民	<p>宿泊先:狩江地区は狩江小学校(料金未定)、高川地区は緑の交流館(料金未定)または宝泉坊ロッジ(素泊まり4,000円)。</p> <p>朝食、昼食、夕食:弁当と自炊(弁当は1食500円、自炊は実費、学生自己負担)</p>
4	活動の成果と反省点のとりまとめ(資源活用と課題解決の観点から、プロジェクト基礎演習・実践演習・応用演習で実施した事柄をまとめて報告書を作成する)(8)	学内	—	—
5	学内にて他のフィールドでのプロジェクト成果の発表をポスターセッションで行う。	学内		

※授業計画中の()内の数字は目安の時間。

※第2回・第3回の学外実習は、日を分けての開催も可能。

プロジェクト演習実施要領

(地域資源マネジメント学科：文化資源マネジメントコース)

授業科目名	プロジェクト基礎演習		受講定員	20人	
授業担当者	専任教員6人		開講時期	2年次・第3Q	
実習先	内子町小田地区	移動方法	借上げバス	移動時間	1.5時間

開講回	授業計画	場所	授業支援者	食事・宿泊先に係わる事項
1	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の概要説明(1コマ) ・調査計画の確認とチーム分け(すでに3年生がプロジェクト実践演習で検討した調査計画等について説明を受けた後、その中からとくに興味のあるチームに2年生が入る。1チームあたり、2年生2～3人とする)(2コマ) ・実習時の役割分担の決定や必要物品等の準備(主にチーム単位で、3年生や専任教員の指導を得ながら実施)(2コマ) 	学内	-	
2 ～ 5	<p>(3泊4日) (1日目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛大学から内子町小田地区へ移動(借上げバスで移動。現地での簡単なジェネラルサーベイを含む)(2コマ) ・交友館(内子小田城の台公園)にて対象地域の主な協力者らとの調査内容確認(1コマ) ・昼食 ・調査テーマごとにフィールドワーク(3年生が中心となって調査を行うが、その補助を2年生が積極的にを行い、ノウハウを学ぶ。以下、成果のまとめや発表準備等についても同じ)(2コマ) ・夕食 <p>(2日目および3日目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝食 ・調査テーマごとにフィールドワーク(2コマ) ・昼食 ・調査テーマごとにフィールドワーク(2コマ) ・夕食 ・調査成果のミニ報告会(チームごとに、主に当日の調査成果と翌日の予定について発表するとともに、専任教員らと質疑応答を行う)(1コマ) <p>(4日目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝食 ・調査テーマごとにフィールドワーク(2コマ) ・昼食 ・調査テーマごとにフィールドワーク(1.5コマ) ・内子町小田地区から愛媛大学へ移動(借上げバスで移動)(1.5コマ) 	学外	内子町教育委員会、内子町住民	<p>宿泊先：交友館 (内子小田城の台公園)(1棟あたり約9000円)</p> <p>朝食、昼食、夕食：弁当(学生負担)</p>
6 7	<ul style="list-style-type: none"> ・成果発表会に向けて、調査で得られた内容を整理・分析し、本活動の意義や有用性、インパクト、課題などに関する発表資料をまとめる(5コマ) 	学内		

8	<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛大学から内子町小田地区へ移動（借上げバスで移動）（1.5） ・本活動の成果を地域の人々に報告するとともに、ディスカッションを行う。（3 コマ）（間に昼食休憩を含む） ・内子町小田地区から愛媛大学へ移動（借上げバスで移動）（1.5 コマ） 	学外	内子町教育委員会、内子町住民	発表場所：交友館（内子小田城の台公園） 昼食（学生負担）
9	学内において、他学科とともにプロジェクト演習の活動内容に関する成果発表をポスターセッションにて行う（2 コマ）	学内		

プロジェクト演習実施要領

(地域資源マネジメント学科：文化資源マネジメントコース)

授業科目名	プロジェクト実践演習		受講定員	10人	
授業担当者	専任教員6人		開講時期	3年次・第2Q	
実習先	内子町小田地区	移動方法	借上げバス	移動時間	1.5時間

開講回	授業計画	場所	授業支援者	食事・宿泊先に係わる事項
1	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の概要説明(1コマ) ・対象地域に関するブレインストーミング(学生自身の知識やイメージの抽出を行い、調査計画や調査後の成果等との比較材料とする)(1コマ) ・対象地域に関する概説(対象地域の授業支援者および専任教員による地域の概要説明を行い、その後のチーム分け等に結びつける)(1.5コマ) ・課題選択(1チームあたり、教員1人につき学生3人程度とする。課題内容にある程度の重複があっても可とする)(1コマ) ・課題選択に基づいた、事前学習内容等の設定(専任教員や授業支援者の助言を得ながら、調査計画の設定に向けた今後の活動方針を決める)(0.5コマ) 	学内	内子町教育委員会	
2 3	<ul style="list-style-type: none"> ・対象地域に関する事前学習内容および調査テーマ案の発表(発表に対する専任教員との質疑応答を含む)(2コマ) ・上記の発表と質疑応答をふまえての、追加学習内容の設定と調査テーマに関する検討(専任教員の助言を受けながら、チーム単位で行う)(3コマ) 	学内		
4	<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛大学から内子町小田地区へ移動(借上げバスで移動。調査テーマによって、対象となる地域が複数かつ広範に渡ることが想定されることや、対象地域に関して参加者全員が共通理解を持つことを念頭において、各場所を移動しながら概観するジェネラルサーベイを行う。)(往復や対象地域内での移動などを含めて(4コマ) ・昼食 ・対象地域に関する追加説明(主に授業支援者が実施する。場所は交友館(内子小田城の台公園)(1コマ) 	学外	内子町教育委員会、内子町住民	昼食(学生負担)
5 6	<ul style="list-style-type: none"> ・対象地域でのジェネラルサーベイなどをふまえての、調査計画案の発表(発表に対する専任教員との質疑応答を含む)(2コマ) ・上記の発表と質疑応答をふまえての、追加学習内容の設定と調査計画に関する検討(専任教員の助言を受けながら、チーム単位で行う)(3コマ) 	学内		

7	<ul style="list-style-type: none"> ・調査計画の最終発表(これまでの検討をふまえて、調査対象・調査依頼候補・調査日程および想定される成果と調査上の課題などを、学生が具体的に発表する。発表に対する専任教員および授業支援者との質疑応答を含む)(4 コマ) ・上記の発表と質疑応答をふまえての、調査計画に関する検討(1 コマ) 	学内	内子町教育委員会	
8	<ul style="list-style-type: none"> ・調査計画の最終検討(チーム単位で、専任教員と学生が議論し、計画を確定させる)(2 コマ) ・調査計画書の作成・提出(2 コマ) ・調査に向けた全体調整とまとめ(1 コマ) 	学内		

プロジェクト演習実施要領

(地域資源マネジメント学科：文化資源マネジメントコース)

授業科目名	プロジェクト応用演習	受講定員	10人		
授業担当者	専任教員6人	開講時期	3年次・第3Q		
実習先	内子町小田地区	移動方法	借上げバス	移動時間	1.5時間

開講回	授業計画	場所	授業支援者	食事・宿泊先に係わる事項
1	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の概要説明(1コマ) ・調査計画の確認とチーム分け(2年生(プロジェクト基礎演習受講生)を対象としたもの)(2コマ) ・実習時の役割分担の決定や必要物品等の準備(主にチーム単位で、専任教員の指導を得ながら実施)(2コマ) 	学内		
2 ～ 5	<p>(3泊4日) (1日目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛大学から内子町小田地区へ移動(借上げバスで移動。現地での簡単なジェネラルサーベイを含む)(2コマ) ・交友館(内子小田城の台公園)にて対象地域の主な協力者らとの調査内容確認(1コマ) ・昼食 ・調査テーマごとにフィールドワーク(2コマ) ・夕食 <p>(2日目および3日目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝食 ・調査テーマごとにフィールドワーク(2コマ) ・昼食 ・調査テーマごとにフィールドワーク(2コマ) ・夕食 ・調査成果のミニ報告会(チームごとに、主に当日の調査成果と翌日の予定について発表するとともに、専任教員らと質疑応答を行う)(1コマ) <p>(4日目)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝食 ・調査テーマごとにフィールドワーク(2コマ) ・昼食 ・調査テーマごとにフィールドワーク(1.5コマ) ・内子町小田地区から愛媛大学へ移動(借上げバスで移動)(1.5コマ) 	学外	内子町教育委員会、内子町住民	<p>宿泊先:交友館(内子小田城の台公園)(1棟あたり約9000円)</p> <p>朝食、昼食、夕食:弁当(学生負担)</p>
6 7	<ul style="list-style-type: none"> ・成果発表会に向けて、調査で得られた内容を整理・分析し、本活動の意義や有用性、インパクト、課題などに関する発表資料をまとめる(5) 	学内		

8	<ul style="list-style-type: none"> ・愛媛大学から内子町小田地区へ移動（借上げバスで移動）（1.5 コマ） ・本活動の成果を地域の人々に報告するとともに、ディスカッションを行う。（3 コマ）（間に昼食休憩を含む） ・内子町小田地区から愛媛大学へ移動（借上げバスで移動）（1.5 コマ） 	学外	内子町教育委員会、内子町住民	発表場所:交友館（内子小田城の台公園） 昼食（学生負担）
9	学内において、他学科とともにプロジェクト演習の活動内容に関する成果発表をポスターセッションにて行う（2 コマ）	学内		

プロジェクト演習実施要領

(地域資源マネジメント学科：スポーツ健康マネジメントコース)

授業科目名	プロジェクト基礎演習		受講定員	20人	
授業担当者	専任教員7人		開講時期	2年次・第3Q	
実習先	総合型地域スポーツクラブ（松山市文京地区、松山市道後地区）	移動方法	徒歩・自転車	移動時間	10分

開講回	授業計画	場所	授業支援者	食事・宿泊先に係わる事項
1	<p>地域課題であるコミュニティの再生に向けてスポーツ資源を活用し、持続可能な地域の発展を考えていく上で、基礎演習では、プロジェクト立案のためのプロジェクトの「種」を得るため、ブレインストーミングと指導の基礎力育成を行う。そのためには地域のコミュニティ再生に貢献した実績のあるステークホルダーと協働し、コミュニティの再生に向けてのその基礎力を育成することが必要であり、本演習は基礎力育成期間と位置づけ、地域コミュニティと深く関わってきた総合型地域スポーツクラブ（以下ESC）において運営業務ならびに教室の運動指導の基礎的実習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本プロジェクト演習に関するガイダンス及びグループ分け ・ESCのスポーツ教室の開催目的、活動内容（対象者、開催日程、指導プログラム等々）等に関する説明会に参加する。 	学内	愛媛大学総合型地域スポーツクラブ	
	<ul style="list-style-type: none"> ・説明会の内容を受けて、地域課題とスポーツの関連性について受講生は2つのグループに分かれディスカッションする。 ・受講学生の希望に応じて参加するスポーツ教室毎にグループ分けを行う。 ・各教室で受入可能な人数を考慮し、その人数を上回った場合は、教員とステークホルダーが面談を行い、第2希望のスポーツ教室に参加するための指導を行う。 ・参加教室毎に集合し、自己紹介等を行い、学生、教員、ステークホルダーとの親睦を深め、受講生相互の特性を共有する。 ・教室を主に指導している担当者及び教員により当該教室に関する詳細な説明を行う。 <p><u>プロジェクト基礎演習を修了した3年生は、教室運営、運動指導を通じた学びを2年生にアドバイスをする。(1.5h)</u></p>			

プロジェクト演習実施要領

(地域資源マネジメント学科：スポーツ健康マネジメントコース)

2 ～ 4	<p>開催される各教室において、事前に分担された役割と教室運営をサポートする。</p> <p><開催場所、開催教室ならびに受講生の活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛大学体育館（徒歩、自転車）10分 キッズバスケットボール教室週1回2h×3、成人スポーツ教室週1回2h×3、フィットネス教室週1回2h×3、バレーボール&学習塾週1回2h×3、ダンス教室ゼロポイント週1回2h×3 ・山越グラウンド（徒歩、自転車）20分 キッズサッカー教室週1回2h×3 ・松山市内コース(集合愛媛大学、徒歩、自転車10分) アクティブウォーキング教室週1回2h×3、ビギナーマラソン教室週1回2h×3 ・愛媛県身体障害者センター（徒歩、自転車）20分 愛ぱれっと週1回2h×3 <p>各教室では教員、教室指導者の指導を受け、必要に応じて教室の事前準備(1h)から終了(2h)まで教室運営と指導の補佐、安全管理に務め、教室後事後の指導(0.5h)を受ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室運営、指導内容等に関して、活動記録を作成する。 <p><u>3年生は、プロジェクト基礎演習で教室運営、運動指導を通じた学びを活かし2年生にアドバイザーとして協力し関わっていく。</u></p>	学内 学外		
5	<ul style="list-style-type: none"> ・教室参加に関する振り返りを行う。 ・教員の指導の下で、受講生全員が教室に集合し、各教室の開催状況と自己の活動状況について報告（教室及び個人の課題・改善点・特記事項等）を行う。その後、これらの報告事項についての討論を行う。 ・後半からまとめまでの課題を想定し対応について、受講生毎に確認を行う。(1.5h×2) 	学内		
6 ～ 7	<p><開催場所、開催教室ならびに受講生の活動内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛大学体育館（徒歩、自転車）10分 キッズバスケットボール教室週1回2h×2、成人スポーツ教室週1回2h×2、フィットネス教室週1回2h×2、バレーボール&学習塾週1回2h×2、ダンス教室ゼロポイント週1回2h×2 ・山越グラウンド（徒歩、自転車）20分 キッズサッカー教室週1回2h×2 ・松山市内コース(集合愛媛大学、徒歩、自転車10分) アクティブウォーキング教室週1回2h×2、ビギナーマラソン教室週1回2h×2 ・愛媛県身体障害者センター（徒歩、自転車）20分 愛ぱれっと週1回2h×2 <p>各教室では必要に応じて教員、教室指導者の指導を受け、教室の事前準備(1h)から終了(1h)まで教室運営と指導の補佐、安全管理に務め、教室後事後の</p>	学内 学外		

プロジェクト演習実施要領

(地域資源マネジメント学科：スポーツ健康マネジメントコース)

	<p>指導(0.5h)を受ける。教室運営，指導内容等に関して，活動記録を作成する。</p> <p>・3年生は、プロジェクト基礎演習で教室運営、運動指導を通じた学びを活かし2年生にアドバイザーとして協力し関わっていく。</p>			
8	<p>・地域課題の解決、コミュニティの再生に向けてスポーツ資源をいかに活用していくかについてディスカッションを行う。振り返り・まとめに先だって、本演習で経験した教室の開催と運営に関して、レポートを作成する。また参加教室毎にプレゼン用のスライドを作成する。</p> <p>・受講生全員が集合し，教員の指導の下で，教室での活動について，各自の課題に対する対応なども含めてステークホルダーを交え報告を行う。</p> <p>・さらに本演習に関して予め作成したレポートとスライドを元に，3年生およびステークホルダーの参加するプレゼンテーションをグループ毎に行う。</p> <p>・プレゼンテーション後，ステークホルダー担当者と教員により本演習のまとめを行う。次段階のプロジェクト実践演習に向けて地域課題とスポーツへの関係性とスポーツ資源活用の現状と課題、活用していくと描かれる未来のビジョンについて意見交換し合う中で、地域課題、コミュニティの再生につながるスポーツ資源の活用に関するプロジェクトの「種」をできるだけ多く見つけ出す。(1.5h×2)</p>	学内	愛媛大学総合型地域スポーツクラブ	
9	<p>・学内にて他のフィールドでのプロジェクト企画案の発表をポスターセッションで行う。ポスターセッションには3年次生も参加し、3年次生の実践事例を次年度の参考とする。</p>	学内		

プロジェクト演習実施要領

(地域資源マネジメント学科：スポーツ健康マネジメントコース)

授業科目名	プロジェクト実践演習		受講定員	20人	
授業担当者	専任教員6人		開講時期	3年次・第2Q	
実習先	松山市	移動方法	徒歩、自転車 公共交通機関 (JR, 私鉄, バス)	移動時間	30~40分

開講回	授業計画	場所	授業支援者	食事・宿泊先に係わる事項
1	<p>本プロジェクト演習に関するガイダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業概要の説明 ・基礎演習で見つけ出したプロジェクトの「種」について意見・情報を交換し、地域課題の解決、コミュニティの再生に向けてスポーツ資源を活用し、持続可能な地域の未来について、ステークホルダーと協働してプロジェクトを行う目的を説明する。 ・当該ステークホルダーに関する説明及びステークホルダー毎に開催されるスポーツ教室の開催目的、活動内容(対象者、開催日程、指導プログラム等々)等に関する説明を行う。 <p>グループワークでプロジェクト基礎演習での学びをフードバックする。(1.5h)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の解決、コミュニティの再生に向けてスポーツ資源をいかに活用していくかを大きなプロジェクトの目的に、受講学生の希望に応じて参加するステークホルダー毎にグループ分けを行う。専任教員1人、1チーム4人から8人とする。 ・各ステークホルダーの受入可能な人数を考慮し、教員が面談を行い、適正人数を振り分ける。ステークホルダー職員と受講生で自己紹介、当該ステークホルダーの活動状況、地域の課題等の情報を共有する。ステークホルダーの活動に対して、ステークホルダー、職員と受講生で意見交換を行い、受講生が担う役割について話し合いを行う。 ・上記のように決定された役割に応じて、事業開催前の活動を行う(指導で使用する物品の準備・確認、参加者名簿の作成、会場準備等のシミュレーション、ステークホルダーへのヒアリング、質疑応答をし、関係性を深める)。(1.5h) <p><u>4年生はプロジェクト実践演習、応用演習での学びを3年生にアドバイスをする。</u></p>	学内	各プロジェクトに関連するステークホルダー専任職員1名	

プロジェクト演習実施要領

(地域資源マネジメント学科：スポーツ健康マネジメントコース)

2 ～ 4	<p>チームに分かれ実習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公益財団松山市文化・スポーツ振興財団健康運動教室 松山市コミュニティセンター（徒歩・自転車20分）3h×3 ・ 株式会社愛媛FC ニンジニアスタジアム（公共交通機関50分）3h×3 ・ 愛媛県民球団株式会社 愛媛マンダリンパイレーツ 坊っちゃんスタジアム（自転車、公共交通機関30分）3h×3 ・ 愛媛県社会福祉事業団（徒歩・自転車20分）3h×3 <p><活動内容> 専任教員1人、1チーム（人数の目安は4人から8人とする）。各ステークホルダーが実施するイベント、市民対象の地域事業において、ステークホルダーと教員の協議によって受講生の関わり方について実施案を作成、受講生は運営、役割、事業運営に参加しサポート的活動、ステークホルダーへのヒアリング（3h×3）を行う。プロジェクト提案作成ための課題や条件、必要な人的ならびに物的資源や環境について1回終了ごとにチームミーティングを行い問題意識や課題を共有する。事業運営、事業対象者の応答等に関して、活動記録をメモしていく（1h×3）</p>	学外	各プロジェクトに関連するステークホルダー専任職員1名	
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全受講生が集合し、教員の指導の下で、各事業の実施状況と自己の活動状況等についての報告をグループ毎に行う。 ・ ステークホルダーや関連する組織、個人をピックアップしプロジェクトに関連した問題を整理し、それぞれの問題の相互関係を明らかにする。 ・ 後半への取り組みの仮説としてのプロジェクト案作成と問題解決についてグループディスカッションする。（1.5h） ・ ステークホルダーを取り巻く環境、地域の状況、地域課題、事業自体の課題・改善点・特記事項等について、各ステークホルダー職員を交えて行う。 ・ 今後の事業展開に対する受講生からの要望を各ステークホルダー職員と意見交換し、実施可能な事案について検討を行う。（1.5h） 	学内	各プロジェクトに関連するステークホルダー専任職員1名	

プロジェクト演習実施要領

(地域資源マネジメント学科：スポーツ健康マネジメントコース)

<p>6 ～ 7</p>	<p>意見交換と検討をもとに、各ステークホルダーが実施するイベント、市民対象の地域事業に継続参加し、ステークホルダーとの協働プロジェクトのためのレジネスとなる活動を行い、地域課題の解決、コミュニティの再生を目的にステークホルダーと協働して行うことができる仮説的なプロジェクト案をより実現可能な事案に近づける</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公益財団松山市文化・スポーツ振興財団健康運動教室 松山市コミュニティセンター（徒歩・自転車 20分）3h×2 ・株式会社愛媛 FC ニンジニアスタジアム（公共交通機関 50分）3h×2 ・愛媛県民球団株式会社 愛媛マンダリンパイレーツ 坊っちゃんスタジアム（自転車、公共交通機関 30分）3h×2 ・愛媛県社会福祉事業団（徒歩・自転車 20分）3h×7 <p>各ステークホルダーが実施するイベント、市民対象の教室、地域事業において、ステークホルダーと教員の協議によって受講生の関わり方について実施案を作成、受講生は運営、役割、事業運営に参加しサポート的活動、ステークホルダーへのヒアリング（3h×2）を行う。プロジェクト提案作成のための課題や条件、必要な資源について1回終了ごとにチームミーティングを行い問題意識や課題を共有する。事業運営、事業対象者の応答等に関して、活動記録をメモしていく（1h×2）</p>	<p>学外</p>	<p>各プロジェクトに関連するステークホルダー専任職員1名</p>	
<p>8</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本演習期間中を通じての自己の取組、改善点、今後の課題についてレポートを作成する。コース全体で情報共有できるように公開報告会（1年次から4年時までの学生縦断的に参加）を行う。中間での仮説プロジェクト案について目的や成果およびそのために必要な活動などプロジェクトの概要をまとめる。活動を行ったステークホルダーの状況、改善点及び今後の取り組むべき課題等について、討論し、ステークホルダーと協働して行う受講生のプロジェクトに関する意見を汲んだ事案になるよう支援を行う。専任教員は概要のまとめと受講生のプロジェクトに関する案の実現性を評価する。（1.5×2） 	<p>学内</p>	<p>各プロジェクトに関連するステークホルダー専任職員1名</p>	

プロジェクト演習実施要領

(地域資源マネジメント学科：スポーツ健康マネジメントコース)

授業科目名	プロジェクト応用演習		受講定員	20人	
授業担当者	専任教員6人		開講時期	3年次・第3Q	
実習先	松山市（公益財団松山市文化・スポーツ振興財団，株式会社愛媛FC、愛媛県社会福祉事業団）	移動方法	徒歩、自転車 公共交通機関（JR、私鉄、バス）	移動時間	30～40分

開講回	授業計画	場所	授業支援者	食事・宿泊先に係わる事項
1	プロジェクト実践演習と同じチームで、プロジェクト実践演習で検討したプロジェクトをディスカッションし、具体化して実施要領を作成し、シュミレーションを行う。ニーズ、関係者、優先度、費用、技術的難易度、目的達成可能性等を慎重に検討し、必要に応じて見直しをする。ステークホルダーとの連絡、報告、相談を一層密にして問題意識や課題を共有し関係性を構築する。(1.5h×2)	学内		
2～6	<ul style="list-style-type: none"> ・ステークホルダーとの協働でプロジェクトを実践する。 ・週に1回はチームで集まり、進捗状況や成果の達成状況の報告を行い、モニタリングを行う。必要に応じて随時、見直しを図るとともに別プロジェクトを担当しているチームとも相互にアドバイスを行う。(4年生はプロジェクト実践演習、応用演習での学びを3年生にアドバイスをする。) ・公益財団松山市文化・スポーツ振興財団健康運動教室 松山市コミュニティセンター（徒歩・自転車20分）3h×5 ・株式会社愛媛FC ニンジニアスタジアム（公共交通機関50分）3h×5 ・愛媛県民球団株式会社 愛媛マンダリンパイレーツ 坊っちゃんスタジアム（自転車、公共交通機関30分）3h×5 ・愛媛県社会福祉事業団（徒歩・自転車20分）3h×5 <p>この期間、教員はプロジェクトの進捗を受講生ならびにステークホルダーと連絡と報告を取り合い、必要に応じて適切な支援を行う。</p>	学外	公益財団松山市文化・スポーツ振興財団，株式会社愛媛FC、愛媛県社会福祉事業団	
7	地域の活性化、コミュニティの再生に向けて未来を考えるプロジェクトの成果発表会に向けて、活動内容、活動実績をまとめるとともに、プロジェクトの意義や有効性、インパクト、課題等の観点から発表資料をまとめる。(1.5h×2)	学内		

プロジェクト演習実施要領

(地域資源マネジメント学科：スポーツ健康マネジメントコース)

8	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト成果発表会。 地域の活性化、コミュニティの再生に向けての未来を考える上での手掛かりとして、プロジェクト成果、活動を行ったステークホルダーの状況、改善点及び今後の取り組むべき課題等について、公開プロジェクト成果発表会＋パネルディスカッションを開催する。パネラーとして、各プロジェクトに関連するステークホルダー専門職員、学科他コース（文化資源、農山漁村）教員1名に参加していただく。 ・プロジェクト成果発表会は大学ホール（南加記念ホール）など公開施設を活用し学部・学科の学生、一般に参加を広く呼びかける。 ・専任教員は受講生の意見を汲んだ取組についての結果報告とその評価について討論する。（1.5h×2） 	学内	公益財団松山市文化・スポーツ振興財団、株式会社愛媛FC、愛媛県社会福祉事業団 文化資源と農山漁村マネジメントコース教員各1名	
9	<ul style="list-style-type: none"> ・学内にて他のフィールドでのプロジェクト成果の発表をポスターセッションで行う。 	学内		

インターンシップ科目の概要

資料29

インターシッパ科目の概要

地域の産業に基礎を持ちながら地域社会の内外さらにはグローバルに活躍する職業人としてのキャリア意識を形成すると共に、社会の要請の実現のために大学において身に付けるべき幅広い教養と専門知識・スキルの意識を認識し、将来の自己の就業イメージを醸成することを目的とする。

海外インターシッパ (2単位)

海外企業における就業意識・異文化に対する理解を深める
 多様な国際経験を通じてグローバルな視野を涵養することによって、今後各地域に到来するいわゆる「グローバル化の波」の中で地域の課題を解決する就業意識・判断力・創造力・行動力・危機管理能力を身に着けた地域社会で役立つ人材を育成する。

実習先

- バンヤーンピワット産官大学 (タイ)
- 井関農機(株) PT インドネシア製造所
- 福助工業(株) PT インドネシア工場
- 三浦工業(株) PT MIURA INTERNATIONAL
- ハナニシツク ヘルズケア インドネシア(株)
- 大玉製紙(株) PT エリエール
- 日本植物燃料(株) イターネーションナルトレイディングインドネシア

- ### プログラム内容
- 事前ミーティング
参加者が自己の課題・目標を設定する。
 - 事前文献調査
訪問する企業・大学に関する知識や情報を文献等を用いて収集する。
 - 現地インターシッパ
現地の企業・大学と共同で作成したプログラムで2~3週間体験型ワークを展開する。
 - 事後ミーティング・公開セミナー
実習を振り返り、目標に対する達成度や課題について討議を行う。

2・3年次 選択

インターシッパ実践・応用 (各2単位)

適性や自己実現の方向性を明確にし、スムーズな選考決定につなげる
 ※履修形態は学科・コースにより異なる。

各学科・コースの教育研究に関連のある地域ステークホルダーを主な実習先とし、学生の専門性に即した将来のキャリアに直結する、より実践的・発展的なインターシッパプログラムを実施する。

主な実習候補先

- 産業マネジメントコース、事業創造コース**
 ・「大学コンソーシアムえひめインターシッパプログラム」が提供する自治体・企業・団体等
 海洋生産科学コース、紙産業コース、ものづくりコース
民間企業(株)ユタカ、(株)アテックス、(株)松山機型工業、マルマストリグ(株)、シブヤ精機(株)、サンタ(株)、浅川造船(株)、(株)新来島とづく、(株)ヒカリ、(株)いろは等、自治体、公設試験場(愛媛県産業技術研究所)、NPO法人等
環境サステナビリティコース、地域デザイン・防災コース
 ・地方自治体(松山市、西予市、西条市等)、NPO・NGO法人(西条自然学、全国重度障害者相談支援協会等)、環境関連企業(オオノ開発(株)、建設コンサルタンツ(株)、地域コミュニティ等)
農山漁村マネジメントコース
 ・農林漁業及び農山漁村振興に関する各種企業、JA、森林組合、漁業協同組合、県、市役所、町村役場、農業生産法人、NPO法人等
文化資源マネジメントコース
 ・愛媛県内の市役所・町役場・教育委員会・公共施設(主に文化・観光、まちづくり、地域振興など)に関する部署、文化・観光・観光・まちづくりに関する各種企業等
スポーツ健康マネジメントコース
 ・財団法人松山文化・スポーツ振興財団、NPO法人今治しまなみスポーツクラブ、株式会社愛媛FC等

自分の能力を最大限に 発揮できる理想の就職先へ

インターシッパ入門 (2単位)

職業・就労に対する意識を向上させる
 企業、団体、NPO、地域コミュニティなどの就労現場を体感し、マネジメント層から若手社員・スタッフまでの多様な社会人と接することを通じて、企業などの特徴や課題を把握・整理する。
 さらに課題解決のために必要な知識・技術、協調性、思考力などの重要性を学ぶとともに、産業や組織における様々な立場や役割を理解する。

ジョブシャドウイング型インターシッパ

(地域の企業・NPO・コミュニティあるいは実際の現場に参加し多様な主体の就労や活動を疑似体験する)

- 第3段階**
実習先の担当者の指導を受けながら、実習・インタビュー・調査結果等を整理した結果をレポートにまとめて、報告を行う。
- 第2段階**
実習先へのインタビュー・調査を行う
業務体験を行うほか、マネジメント層から若手までの幅広い層を対象にインタビュー・調査し、組織の運営戦略から現場業務まで広く把握する。
- 第1段階**
企業・NPO等の会合に参加する
定期的に参加される会合に参加し、多様な企業・NPO等の存在を理解する。

専門性の深化!

社会で求められる能力の必要性を実感すると同時に、不足している能力を自覚する!

多様な企業・NPO等に対する理解が深まり、就労に対する意識が醸成され、自分の適性や自己実現の方向性が見つかる!

実習を終えらるど

1年次 (社会力入門、フィールドワーク入門、フィールド基礎実習等)

共通教育キャリア教育科目やフィールドワーク等の多くの実践的科目を履修し、社会へ対する視野や実践力を培う。

2年次後学期以降の専門教育や多様な実践的教育・演習などと対する意欲が高まり、将来を見据えた効果的な履修を展開する!

大学コンソーシアムえひめ インターシッパ (2単位)

他大学との合同実施により、多様な価値観や考え方に触れて自身を見つめ直す
 大学コンソーシアムえひめインターシッパとは?
 愛媛大学、松山大学、松山東雲女子大学、松山短期大学及び聖カタリナ大学が窓口を一
 本化して、主として愛媛県内の企業、自治体、団体等にインターシッパ学生の受入を働きかけ、
 受入先と5大学の学生が参加する合同説明会を開催し双方のマッチングを図るとともに、統一した
 ルールのもとでスムーズにインターシッパ活動ができるように工夫されたプログラムを実施する。

- ※2014年度実績
- 受入企業・団体数: 110事業所**
参加学生数:
 愛媛大学 (146名) 松山大学 (185名) 松山東雲女子大学 (26名)
 松山短期大学 (22名) 聖カタリナ大学 (14名)

2年次 夏季休業以降

※自己予ザイン科目の卒業要件単位数として扱う。

インターンシップ^o実習先一覧

資料30

インターンシップ実習先一覧

「インターンシップ入門」受入先

資料30

実習先	住所	受入人数 (人)	対応学科
松山市市民参画まちづくり課 (まつやまNP0サポートセンター)	愛媛県松山市三番町6丁目4-20 コ ムズ内	80	-
松山商会議所	愛媛県松山市大手町2丁目5番地7	20	産業マネジメント学科
一般社団法人えひめ若年人材育成推 進機構	愛媛県松山市湊町三丁目4番地6	20	産業マネジメント学科
愛媛県中小企業家同友会	愛媛県松山市大可賀2-1-28アイテム えひめ	18	産業マネジメント学科
生活協同組合コープえひめ	愛媛県松山市朝生田町3丁目1-12	18	産業マネジメント学科
パートナーシップ経営塾	愛媛県伊予郡松前町北黒田628	6	産業マネジメント学科
佐伯公認会計士事務所	愛媛県松山市二番町4-4-2NOSA1えひ め2F	6	産業マネジメント学科
千代田商事(有)	愛媛県松山市宮西3丁目1-12	12	産業マネジメント学科
ギノ一みそ(株)	愛媛県伊予郡松前町永田345-1	5	産業マネジメント学科
まるく株式会社	愛媛県松山市吉藤3丁目4-6ソーシャ ルビル	18	産業マネジメント学科
(株)美寿	愛媛県四国中央市下柏町750-1	6	産業マネジメント学科
(株)平野	愛媛県今治市北至来町2丁目2-22	18	産業マネジメント学科
(株)フェローステム	愛媛県松山市中一万町7-8	18	産業マネジメント学科
テクノロジープログラック	愛媛県松山市空港通1-8-22石尾ビル 2F	6	産業マネジメント学科
(株)こもだ寝袋	愛媛県四国中央市下柏町589-1	6	産業マネジメント学科
株式会社清水屋	愛媛県松山市竹原3-13-11	6	産業マネジメント学科
(株)ナカフーアドサービス	愛媛県松山市大可賀2丁目2-1-2	18	産業マネジメント学科
株式会社GOOD FIELD	愛媛県松山市平和通4-1-6	18	産業マネジメント学科
(有) 矢野商事	愛媛県松山市花園町2番地3	12	産業イノベーション学科
アイネット株式会社	愛媛県四国中央市金生町山田井2150 番地11	12	産業イノベーション学科
サト一産業株式会社	愛媛県四国中央市三島宮川丁目10- 19	5	産業イノベーション学科
(株)ユタカ	愛媛県松山市西垣生町822-2	1	産業イノベーション学科
株式会社松山機型工業	愛媛県松山市堀江町163番地	1	産業イノベーション学科
マルマストリグ(株)松山本社	愛媛県松山市問屋町3-6	2	産業イノベーション学科
サンタ株式会社	愛媛県伊予郡松前町大字北川原宇塩 屋西1205-1	3	産業イノベーション学科
(株)新来島どっく 大西工場	愛媛県今治市大西町新町045番地	1	産業イノベーション学科

実習先	住所	受入人数 (人)	対応学科
27 摂陽明正(株)	愛媛県伊予郡郡部町八倉108-1	2	産業イノベーション学科
28 浅川造船株式会社	愛媛県今治市小浦町2丁目4番39号	2	産業イノベーション学科
29 愛媛大学00C企画運営部	愛媛県松山市文京町3番	6	環境デザイン学科
30 (株)エスデザイン企画設計	愛媛県松山市来住町1433	12	環境デザイン学科
31 藤岡萬建設(有)	愛媛県東温市田窪332-1	12	環境デザイン学科
32 NP0法人いよコロザシ大学	愛媛県松山市三番町6-1-8 アポロビル 2F	2	環境デザイン学科
33 NP0法人えひめリソースセンター	愛媛県松山市三番町6-1-8 アポロビル 2F	2	環境デザイン学科
34 NP0法人えひめグローバルネットワーク	愛媛県松山市東雲町5-6	8	環境デザイン学科
35 高川地域づくり会	愛媛県西予市城川町高野子75-1	15	地域資源マネジメント学科
36 松山市総合政策部文化・スポーツ振興 課	愛媛県松山市湊町3丁目7番地12	2	地域資源マネジメント学科
37 松山市産業経済部競輪事務所	愛媛県松山市市坪西町796-6	3	地域資源マネジメント学科
38 社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団	愛媛県松山市道後町2-12-11	10	地域資源マネジメント学科
39 ほほえみ工房ぱれっと道後	愛媛県松山市道後町2-12-10	10	地域資源マネジメント学科
40 愛媛県企画振興部地域振興局文化・ス ポーツ振興課	愛媛県松山市一番町4-4-2	10	地域資源マネジメント学科
41 愛媛大学総合型地域スポーツクラブ	愛媛県松山市文京町3番	20	地域資源マネジメント学科
42 公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財 団	愛媛県松山市湊町7丁目5番地	20	地域資源マネジメント学科
43 NP0法人今治しまなみスポーツクラブ	愛媛県今治市松本町一丁目1番地9 MIビ ル3F	6	地域資源マネジメント学科
44 公益社団法人松山シルバーク人材セン ター	愛媛県松山市若草町8番地3	20	地域資源マネジメント学科
45 NP0法人おおずスポーツクラブ	愛媛県大洲市常盤町70番地	6	地域資源マネジメント学科
46 愛媛県民球団株式会社(愛媛マンダリ ンハイレーズ)	愛媛県松山市東石井6-12-36	6	地域資源マネジメント学科
47 有限会社ユアーズ・ケア	愛媛県松山市東方町甲1811番地4	18	地域資源マネジメント学科
48 高齢者総合福祉施設 梅本の里	愛媛県松山市北梅本1624-1	18	地域資源マネジメント学科
49 NP0法人レジェント松山	愛媛県松山市南江戸4丁目5-6ARS-M-1- 100号室	5	地域資源マネジメント学科
50 NP0法人家族支援フォオラム	愛媛県松山市姫原2丁目3-21	18	地域資源マネジメント学科
51 NP0法人子育てネットワークえひめ	愛媛県松山市衣山1丁目221-1	5	地域資源マネジメント学科
合 計			430

インターンシップ実習先一覧

「インターンシップ実践・応用」等受入先

No.	実習先	住所	受入承諾書に記載される人数(人)				担当学科(コース)
			インターンシップ実践	インターンシップ応用	農山漁村自治体実習	農山漁村法人団体実習	
1	松山商工会議所	愛媛県松山市大手町2丁目5番地7	—	—	—	—	産業マネジメント学科
2	一般社団法人えひめ若年人材育成推進機構	愛媛県松山市湊町三丁目4番地6	—	—	—	—	
3	愛媛県農林水産研究所水産研究センター	愛媛県宇和島市下波5516	5	5	—	—	
4	愛南町海洋資源開発センター	愛媛県南宇和郡愛南町城辺甲2420番地	5	5	—	—	
5	愛媛県産業技術研究所紙産業技術センター	愛媛県南宇和郡愛南町家串1268番地2	5	5	—	—	
6	愛媛県産業技術研究所(技術開発部・食品産業技術センター)	愛媛県四国中央市妻鳥町乙127	5	5	—	—	
7	(株)ユタカ	愛媛県松山市久米窪田町487-2	5	5	—	—	
8	株式会社松山機工工業	愛媛県松山市西垣生町822-2	1	—	—	—	
9	マルマストリグ(株)松山本社	愛媛県松山市堀江町163番地	1	—	—	—	
10	サンタ株式会社	愛媛県松山市問屋町3-6	2	—	—	—	
11	(株)新菜島どっく 大西工場	愛媛県伊予郡松前町大字北川原宇塩屋西1205-1	3	—	—	—	
12	榎陽明正(株)	愛媛県今治市大西町新町甲945番地	1	—	—	—	
13	浅川造船株式会社	愛媛県伊予郡砥部町八倉108-1	2	—	—	—	
14	才オノ開発(株)	愛媛県今治市小浦町2丁目4番39号	2	—	—	—	
15	(特非)西条自然学校	愛媛県松山市北梅本町甲184番地	—	—	—	—	
16	愛媛県農林水産研究所林業研究センター	愛媛県西条市中奥1号25番地1	—	—	—	—	
17	西予市	愛媛県上浮穴郡久万高原町菅生二番耕地280-38	2	2	—	—	
18	松山市農業協同組合	愛媛県西予市宇和町卯之町三丁目434番地1	15	15	15	15	
19	東宇和農業協同組合	愛媛県松山市三番町八丁目325番1	3	3	3	3	
20	愛媛たいき農業協同組合	愛媛県西予市宇和町卯之町二丁目462番地	3	3	3	3	
21	東予園芸農業協同組合	愛媛県大洲市東大洲198番地	3	3	3	3	
22	西条市農業協同組合	愛媛県西条市丹原町今井431番地	3	3	3	3	
23	周桑農業協同組合	愛媛県西条市神拝甲478番地の1	3	3	3	3	
24	越智今治農業協同組合	愛媛県西条市丹原町池田1701-1	3	3	3	3	
25	うま農業協同組合	愛媛県今治市北宝来町1丁目1-5	3	3	3	3	
26	えひめ南農業協同組合	愛媛県四国中央市三島金子2丁目4番23号	3	3	3	3	
27	農事組合法人無茶々園	愛媛県宇和島市采町港3丁目303	3	3	3	3	
28	松山市総合政策部文化・スポーツ振興課	愛媛県西予市明浜町狩浜3番耕地256番地	15	15	15	15	
29	松山市産業経済部競輪事務所	愛媛県松山市湊町3丁目7番地12	2	—	—	—	
30	社会福祉法人愛媛県社会福祉事業団	愛媛県松山市坪西町796-6	3	—	—	—	
31	ほほえみ工房ぱれっと道後	愛媛県松山市道後町2-12-11	10	—	—	—	
32	愛媛県企画振興部地域振興局文化・スポーツ振興課	愛媛県松山市道後町2-12-10	10	—	—	—	
33	愛媛県企画振興部地域振興局文化・スポーツ振興課	愛媛県松山市一番町4-4-2	6	—	—	—	
34	公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団	愛媛県松山市文京町3番	20	—	—	—	
35	NP0法人今治しまなみスポーツクラブ	愛媛県松山市湊町7丁目5番地	20	—	—	—	
36	公益社団法人松山シルバー人材センター	愛媛県今治市松本町一丁目1番地9 MIビル3E	6	—	—	—	
37	NP0法人おおずスポーツクラブ	愛媛県松山市若草町8番地3	20	—	—	—	
38	愛媛県民球団株式会社(愛媛マングリンパンライーツ)	愛媛県大洲市常磐町70番地	6	—	—	—	
		愛媛県松山市東石井6-12-36	6	—	—	—	